臺灣日日新報 夕刊
七月十七日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 [illegible] 臺北市 [illegible]
東京支局　大阪支局　花蓮港支局　臺南支局　臺中支局　基隆支局

# 政府が聲明せねば適當に行動する
## 林陸相の言明
## 政界の注目を惹く
### 國體明徵につき政友委員と會見

【東京十七日發】政友會の國體明徵實行委員山本（悌）、狩野、毛、中谷、竹内、牧野、河上の諸氏は十六日午後陸相官邸に林陸相を訪問、左の如き質疑應答を重ねたが席上林陸相は「政府が國體明徵に關して何等か聲明しなければ適當に行動する」と言明し極めて注目を惹いて居る

竹内氏　陸相は内閣に重大進言を致したといふがその内容如何

陸相　進言はしたが内容は云へない、尚吾々努力中である

竹内氏　陸相は首相に對して機關説は國體の本義に反するものであるといふ事を聲明させる意思はないか

陸相　私は前から機關説は國體の本義に反するものであると信じてゐる、從つて若し内閣で聲明する見込みがない場合には私は適當に行動する考へである

中谷氏　政府をして聲明させるのは機關説は國體の本義に反するとの聲明か

陸相　その通りである

# 陸軍定期異動
## 來る二十日内奏
## 八月一日發令

【東京十七日發】陸軍定期異動は大體目鼻が附いたが教育總監更迭のため陸相は更めて渡邊新總監に示して同意を求めた上、來る二十日葉山御用邸に伺候し天皇陛下に拜謁仰付けられ内奏、豫定通り八月一日附發令することとなつた

# 軍の統制を強化
## 陸相、新教育總監と協議
## 意見完全に一致す

【東京十七日發】林陸相の招電に依り十七日朝中國方面の旅行先より急遽歸京した渡邊新教育總監は直ちに陸相官邸に赴き林陸相と會見、就任に就いての挨拶を述べた後、林陸相より教育總監更迭の事情に就き詳細説明を受け、殊に部内の統制強化に關しては萬難を排して之を行ふ方針であるとの決意を披瀝したるに對し、渡邊總監もその方針に全幅の贊意を表し兩者間に完全なる意見の一致を見、更に陸軍定期異動を始め諸種の問題に關しても重要協議を遂げ會見を終つた

## 統制を紊れば斷乎處置
### 林陸相の決意

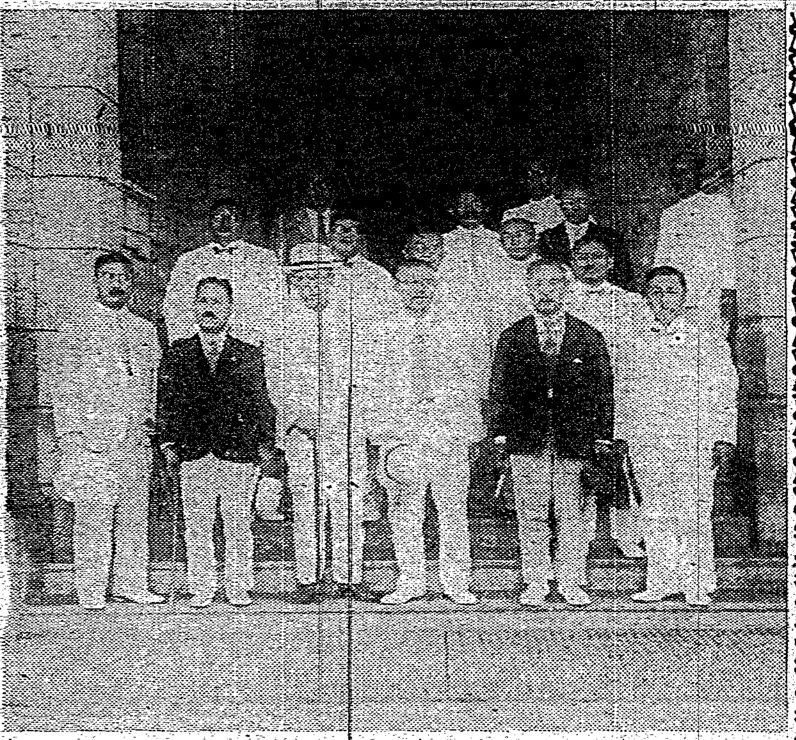
【東京十七日發】教育總監の更迭に伴ひ種々の進言が行はれてゐるがこれが第一步の統制を紊る事に至る場合は林陸相は斷乎たる處置を執るべく堅き決意の下にこれが成行に深甚の注意を拂つてゐる

## 參議官をも勇退か
### 陸相と對立の眞崎大將

【東京十七日發】眞崎大將の教育總監辭任は林陸相との間に八月の定期異動に關し意見の相違を來し陸相が強硬手段を執つて辭任を求めるに至つたに因るものであるが陸相が斯る強硬手段を執るに至つたのは全く陸軍部内の情勢から軍の徹底的肅正を行ひ統制の強化を必要と認めたからである

斯る部内の重大問題に關し眞崎大將は林陸相と全く相反した意見を抱懷し依然軍事參議官の要職に踏み留まる事は今後の軍の結束上重大問題であり、殊に眞崎大將に對しては從來から兎角の非難が行はれてゐたものが遂に表面化したものであるから、眞崎大將としても武人の名譽として依然軍事參議官に踏み留まる事は體面上到底至難の事であらうとされ眞崎大將は近く決意して陸相の許に勇退を申出づるに至るだらうと部内有力方面にて觀られ其の進退は注目されてゐる

而して眞崎大將の勇退が實現せば林陸相としては今後人事問題に關し自由に手腕を揮ひ各方面の要望する肅軍の大目的を達成し得べく多大の期待がかけられてゐる



けふ著北した衆議院視察團の一行（總督官邸にて）

# 『時局・非常に重大―大いに御奉公する』
## 渡邊新教育總監語る
### 歸京の車中

【東京十七日發】林陸相の招電に依り十七日午前八時東京驛着急遽旅行先から歸京した渡邊新教育總監は車中大の如く語つた

全く寢耳に水だ、あの溫厚な林大臣としては餘程の事があつたのだらう、この點非常に重大な局面に立ち至つたものだ、併し傳へられるやうに林陸相と眞崎大將が人事異動に關して衝突した結果からなつたと云ふ點については私の立場としてどうしても全然其の事實なしと云ひたい、それは軍としてあつてはならぬ事だが事實問題として何やら派が出來てゐるやうに一般に取られて了つてゐると云ふより外に仕方がない、今度の更迭の結果について殘念と云ふより外に仕方がない種々重大な影響もある事だらう

が眞崎大將を中心とする方面の事については何れ[illegible]ない大命があればどんな困難な仕事でも欣然やるよ、林陸相とは士官學校から一緒だ、陸相の氣持はすつかり判つてゐるから仕事をするに都合が宜しい、考へてはあるが未だ元氣だからね

大いに御奉公するよ

# 帝國海の第一線の近況を見て來た
## 衆議院議員の南洋視察團
## けさ基隆に入港語る

【基隆電話】大阪商船南支航路廣東丸は十七日未明基隆に入港したが船客五百三十一名、同船で衆議院議員の南洋視察團一行十四名がその歸途來臺した、團長谷本武助氏は語る

◇…南洋統治領からメナド、ダヴアオ、マニラを經て香港、汕頭と巡つて來た、南洋諸島領有問題は聯盟脫退の效力發生後も何等云つて來ない、云つて來た所で日本政府領有の事實は絕對動かすことが出來ぬ、同諸島の人口は約八萬五千でこの中日本人が五萬人ゐる、南洋興發が中心となり產業と製糖業とをやつてゐるが製糖にとつて相當影響する所が大きいだらう、この外官營として燐鑛の採取をやつてゐるが國防上の見地からはいざ知らず產業上大した價値は認められない、より以上發展しようと思へば蘭領ニューギニヤ方面に進出しなければ駄目だ、要するに南洋諸島は日本の海の第一線と見るべきである

◇…ヒリッピンの獨立問題も來議會で條件を附してゐるがこれに對する島民の要望は非常に熱烈で本年内には何等かの形を以つて實現されるのではないか、又邦人には非常に好意を持ち議會も大いに[illegible]を歡迎してくれた

◇…南支の狀態も不穩である、汕頭では我々一行の立つた十五日汕頭領事館から邦人に全部引揚げぬと危險に曝される慮れがあると通告して來た、右は上海の不敬事件の餘分に憤慨してゐる連中が何をするか分らぬと云ふにあつたが領事館では[illegible]と協力警戒したので何等不穩な行動はなかつた

◇…臺灣は一週間視察し更に北支に赴いて内地に歸る豫定である

## 總督官邸で衆議院の一行招待宴

衆議院の代議士一行を平塚總督代理が十七日午後六時から總督官邸に招いて晚餐會を催す

# 蔣介石氏がやつと日本の眞意を諒解
## 蔣大使と黄氏の説明で

【上海十六日發電通】成都發支那側某政府機關への入電によれば去る十三日四川入りした蔣作賓、黄郛兩氏は十四、五兩日に亙り成都において蔣介石氏と會見し蔣大使より日本の軍部、外務、政界、財界、經濟各方面の實情に就き詳細報告し

日本朝野上下は支那に對して領土慾も征服慾も抱いてはゐない、唯東亞の安定勢力として極東平和維持のため積極的日支提携工作に進んでゐる、この際日本の力に信賴して日支兩國の親善を計るのが支那としては唯一の生きる途である

と介石を取卷く一部反日派及び國民黨の指導して反日工作を續けつゝある要人等の對日意識の誤謬を指摘し提携工作促進の急務なるを力説した、又黄氏は過般の南京及び上海における日支協議の經過を報告したが右に對し蔣介石氏は日本政府特に軍部の情勢につき質問し蔣大使より日本軍中央部の意向、黄氏よりは國民黨、陳儀兩氏と磯谷少將との會見顛末を説明し詳細に亙り懇々説明した結果蔣介石氏も兩氏の説明に依り漸く完全なる對日認識を把握せるものの如く兩氏に對し

自分の對日方針は既に決定してゐるが今や確信を得るに至つた日支提携の實行期に入つたと信ずる兩氏においては今後とも日本側と連絡して意思の疏通に充分努力されたい

と述べ更に對日和親、日支提携の具體案を含む重大訓令を兩氏に授けた、依つて兩氏は右訓令を携へ十七日成都發南京に歸り國民政府當局に訓令を傳達することとなつた

# 失業者が減少
## 卅六萬餘（六月一日現在）

【東京十八日發】内務省社會局で十八日發表した本年度六月一日現在における我國失業狀況の統計によれば最近の景氣の好轉と政府の失業救濟事業の緊密化により失業者數が著しく減少してゐることが明く、即ち本年六月一日における給料生活者、勞働者の總數は七百三十九萬九千六百六十八人、失業者は三十六萬七千五百四十二人失業率四パーセント八四であり、之を昨年三月一日における就業者三百九十二萬九千七百三十六人失業者三十八萬五千三百四十三人失業率五パーセント一七に比すれば失業者の減少したことが明白に看取される

# 樞府本會議

【東京十七日發】樞密院本會議は十七日午前十時より開會

一、外交官及び領事官官制中改正の件

一、明治二十九年勅令第百八十二號領事官を外交官に任用するの件改正の件

一、關東局官制中改正の件

一、朝鮮總督府官制中改正の件

に就き審議し原案可決、午前十時三十分散會

# 外蒙側回答

【新京十六日發】七月四日滿洲里會談の際に於て滿洲國代表部より外蒙政府に提出されたハイラステンゴール事件に關する正式抗議に對し外蒙政府の回答は十五日到着したが右は九月の外蒙側の申出を繰返したのみで今後國境方面紛爭處理のため新に委員會を設置し該紛爭を解決し今後の國境問題を決定したき旨回答したものである

# 公債消化力不安なし
## 深井日銀總裁談

【東京十七日發】最近公債消化力の問題に關し大藏當局初め財界一般において種々論議され中には極めて悲觀的見解を抱く向きもあるが之に關し深井日銀總裁は少くとも現狀に關する限り當分悲觀の要なしと左の如く語つた

最近の公債發行は極めて順調なる歩調を辿つてゐるし今後も續くものと思はれ近き將來において憂慮すべき事態の發生は豫想されない、最近の公債發行高の膨脹は日銀手持公債の增加に依るものではなくて寧ろ金保有高の增加、政府貸上金の增加と最近經濟界の大勢發展がそれだけの公債券を必要とする事情に基くものと考へる、從つて將來への無限的な餘裕は考へられないが當面の問題としては何等悲觀すべきではないと思ふ云々

# 出淵親善使節
## 神戸で語る

【神戸十七日發】日米親善特派使節出淵大使一行はプレジデント・ウイルソン號に乘船十七日午前十一時神戸に向つたが大使は語る

比島ではマーフイ總督、ケーソン上院議長やワシントン時代の親友スミス陸軍司令官等と會つて獨立準備に急がしい比島政界の現狀を知りたいと思つてゐる、米國では政府當局を始め民間有力者と會つて凡ゆる機會を利用して大いに親善の實を擧げたい、日米間の貿易は將來伸る可能性があると思ふ、米國との通商關係は支那問題等に劣らず重要性ある譯で友好增進に努力する旨である、又日米間の無線電話に就てもこの際是非實現するやうに盡力する積りである

## 米日爲替保合

【ニューヨーク十六日發】本日の當地における米日爲替は二十九弗二十二仙と保合つた

## 人事

▲楢田正英氏（臺灣電力營業部長）十七日來北

▲杉田茂右衛門氏（新興製糖農務係長）十六日來北

## その日その日

○やつと日本の眞意が解つて來たとは何ぞその遲さや、だが日支關係の正常化もコレで緒がある

○大使になつたせいでもあるまいが、蔣作賓氏の御土産は相當なものらしい

○所謂國體明徵を飽く迄貫徹する實行力を持つエライ大臣が臨時内閣にも存在してる

○エチオピヤに武器を持つた隣人が押しかけるさうだ、武器觀光團

○臺灣なんて隨分移らしいナ

○カナダに對して報復、その次ぎはソ聯に對する報復等々國際關係に角が立つ、かくも是非なし

○新竹州下に復も强震、倒れさうなもの總て倒れ盡してゐた後だが、全然死者が相當數

○少し無理すぎる、天災もツーマツチだ、震れる大地に脅える民心の上を察しられる

○救恤の配給が商店の手を經るよりもお役所の手をわづらはした方が早いとはアベコベな現象

松下井知夫

## 無絃琴

この前に中京すると、其の留守中である五月の二十一日夜、督府廳舍西翼の火事、今度も復た入京後日もなくして新竹州下の再强震、總督も東京で腰がびつくりしてゐる樣子▲この前の總督府の火事は、總督が入京した直後のことで、此ニユースが東京に大きく傳へられて誤解されたものらしく『直ぐ歸らねばならぬか』との質問も出た程だつたさうだ▲今度の强震も内地では號外などまで出した程で大きく傳へられた樣子、現地を離れてるだけに恐怖の度も大きかつたらう▲四月二十一日の大地震以來十七日の强震で入臺に死傷者を出したのは今度で二度目だが少々執拗な震災である▲尤も今度のは震央が多少北へ移つたが新竹や臺北での震れ方は丁度四月二十一日朝の初震と殆ど同じ位の程度であつた、アレが普通なら非常な災害を及ぼす筈だつたのに、震れさうな土角屋には入らせぬ樣にしてゐるので家は大抵毀されてをり、又危險家屋には入らせぬ樣にしてゐるのでアノ際一度の死傷で濟んだ、のださうだ。

# 朗らかな人生 (97)
光明靜夫作　田中比左良畫

### 嬉しや心は晴天（七）

「ええ、大變でしたよ」

牧野君は慇懃な口振りで屆を懸らせた。

「本當に濟みませんでしたわ、栗山さん！ちつともお見えにならないでしたのね。」

「はつ、身體が惡るかつたもんですから」

「嘘言へ、身體の惡るい者が昨晩カフエーなんか行くものかつて。」

牧野君は反駁した。

「あらつ、カフエーなんておいでになつたの。」

「ええ、行つてぐでんぐでんに醉つて來たらしいんです。」

「まあ凄いわねい、栗山さんのやうな堅人君子がカフエーなんて所へ出入するなんて。」

「失戀の結果ですよ。」

「誰に？」

「さあ、誰ですかねい、僕には解りませんが女でせう？」

「ハヽヽ……。女の事は解つてるてよ。」

「その女の人も案外近くにゐらしやる場合もありますよ。」

「でも私には解りませんわ、栗山さん、本當に失戀したの？」

「……」

「さあ！みんなで今日一日面白く遊びませうよ、兄さん、貴男のお友達ぢやないの？うんと御馳走して頂戴よ。」

「御馳走ならしてあるよ。」

佐々木は仕大に照れ臭さを見せながら元氣で言つた。

「ええツ、貴女の兄さん？」

栗山君は喫驚して訊いた。

「ええ、さうよ、貴男なんだと思つて、君のラブアさんだと思つて喫驚してゐらつしたんでせう。」

「ハヽヽ……」

「ハヽヽ……」

此の場合、栗山君は穴があれば入りたいほど恥かしかつた。

「僕の妹の所へ獨身黨々と求婚して來た馬鹿があつたと云ふ話は訊いてゐるんだよ。僕等はその男を栗山小僧と呼んでゐるんだ。だが、その栗山小僧がまさか君であるとは思はんかつたよ。昨日牧野君から訊いて喫驚しちやつた次第さ」

佐々木君は頭を掻いて微苦笑した。

「僕も今が今まで擾さんが君の妹さんだつたといふ事は知らんかつた、擾さんに兄さんがあつて僕の愚役に居る事は知つてゐたんだがまさか君だとは思はんかつたよ」

栗山君は今が今とは打つて變つて朗かに答へた。

「矢張り因緣だよ、擾さんの心境もさうだらうが、僕から初め、お二人か兄妹だとは思はんかつたよ」

「さうよ、牧野さんの仰言る因緣だと私も思ふわ、本當に偶然だつたわ、でも私普さんとお友達になれたんですもの、嬉しわ」

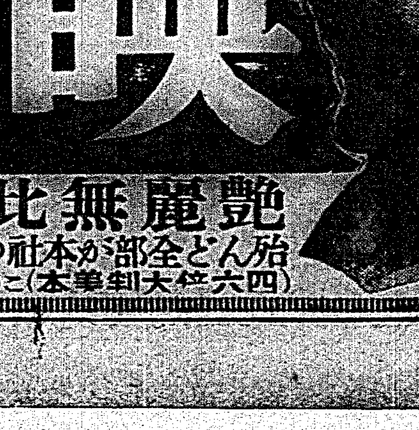
「擾さん！お察し致しますよ。失戀の相手は此處ら邊りで窓んでゐらつしやる人らしいと僕は想像しますよ」

「ホホホホホ牧野さんの意地惡。でもお酒なんか飲む人大嫌ひよ私もう一切お酒なんか飲む人の所へはお嫁さんに行かないの」

「では貴女の兄さんも、僕等二人も落第の口ですね、ああ可哀想に、栗山君は泣きべそをかいてゐますよ」

「ハヽヽヽ」

牧野君は高笑ひをして手を叩いた。


日の出八月特大號の大別冊附録物凄い賣行
映畫「レビユー」大寫眞帖
艷麗無比！各社スター七百貳十餘人收録
殆んど全部が本社の特別撮影になる苦心の大寫眞帖・全卷色刷・グラビヤ高級印刷
（四六倍大判美本）この一冊は値打にしたら二三圓・これが僅かに十錢上値で提供す
（附）映畫レビユー全俳優住所録（住所、年齡、趣味、生國、其他詳細）
特價六十錢　新潮社發行

# 今曉新竹に地震

## 主人一人助かり 一家九名が壓死

### 危險家屋を取り壞さず 軒下に寢て慘死

【新竹電話】十七日午前零時二十分頃發現した強震で竹南郡後龍庄公司寮では十九名の死者を出し、後龍庄の保正黃英方では土角家屋全壞の爲め一家十名中黃英一人殘り九名壓死した、又後龍庄では去る四月の地震で危險家屋の取壞しを強制し、住居を禁じてゐたにも拘らず軒下に寢てゐた爲め土角が崩れ落ち一家三名全滅したものもあつた

### 當局の言を聽き容れず 危險家屋に住んで死傷

【新竹電話】今回の震源地は後龍溪域が中心であるが去る四月の地震で苦い經驗を嘗めてゐることとて一般に警戒することなく官憲も罹災民も[illegible]ある行動を執つてゐる、殊に先般の地震復舊の爲め警察當局は危險家屋の取壞し方を強制し[illegible]てゐたものであるが、今回の地震で死傷者を出したのは多くは當局の言を容れず危險家屋に住んでゐたものである事が判明した、新竹州保安課では之に鑑みて今後危險家屋は強制的に取壞させる方針を執る意向であると

## 後龍底は潰滅の慘狀

### 一搖れで死傷六十名

【後龍にて松井特派員發】縱貫道路を挾んで左右に小部落を形成してゐる竹南郡後龍庄字後龍底は十七日の地震で全部落七十戶中僅かに數戶を殘し一瞬にして潰滅した、即死者十九名、負傷四十名を出し今回の地震中最も被害甚大の部落である、同地保正黃英氏の一家が保正を殘し九名即死した事は別項の如くであるが更に同地劉[illegible]の一家は長男の妻女以下四名枕をならべて土塊の下敷となり見るも悲慘な最期をとげてゐる[illegible]氏は逸早く同地に赴き罹災者全部に對し夫々手當を加へてゐる、後龍は去る四月の地震の際に大した被害なく[illegible]程度であつた爲め住民は無關心で[illegible]家の修理を行ひつつあつた時この災害に遭遇したものである

△公司寮後龍間線路六個所陥下△大山淡水湖間第一若寄溪溝の前後、及第二若寄溪溝の前後線路外に三ケ所十數間陥下の被害があり一時列車不通となつたが下り夜行は後龍驛にて四時間、上り夜行は公司寮に二時間何れも遅發して午前四時四十五分開通した

## 柔道四段の猛者 新妻を庇ひ重傷

### 警察官宿舍不足の爲めに 本島人家屋に住んで奇禍

【新竹電話】十七日の地震で最も氣の毒とされてゐるのは苗栗郡警察課勤務小野原廣巡査であらう、同巡査は柔道四段の猛者で、此の程結婚し、つひ二ケ月程前新竹郡より苗栗郡へ柔道教師として轉勤したばかりで警察官宿舍が不足の爲め一時本島人土角家屋を借り上げ生活してゐたものであり、十七日の地震と共に壁が崩れ落ちたので同巡査は素早く夫人を庇ひ背に土塊を受け夫妻共生埋となつてゐたのを救助されたが、同巡査は背骨を折り身體を動かすことが出來ず、苗栗郡役所構內で手當中であるが重態である、夫人は輕傷を負つたのみで助かり新竹醫院で手當中である

## 死者は四十四名 重輕傷百五十七名

### 十七日午前十一時の現在被害

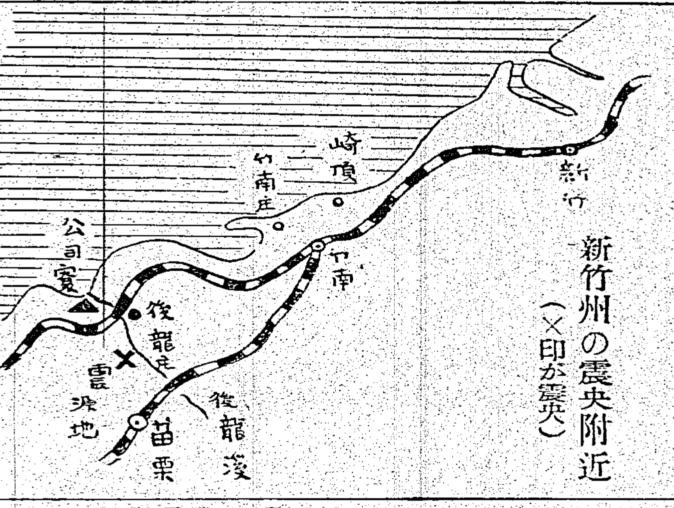
【新竹電話】十七日午前十一時現在の新竹州下被害情況左の如し

| | 竹南郡 | 苗栗郡 | 大湖郡 | 新竹署 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 死亡 | 三二 | 一二 | 〇 | 〇 | 四四 |
| 重傷 | 三七 | 二八 | 〇 | 〇 | 六五 |
| 輕傷 | 四一 | 五一 | 〇 | 〇 | 九二 |
| 住家全壞 | 五六 | 九七 | 七 | 〇 | 一六〇 |
| 同半壞 | 七六 | 三九 | 一 | 〇 | 一一六 |
| 同大破 | 三八 | 九七 | 六 | 一 | 一四二 |

## 後龍溪橋梁の橋脚に龜裂を生ず

### 各所に線路沈下 鐵道の被害

縱貫鐵道山線北勢、苗栗間の後龍溪橋梁第七橋脚は縱に龜裂を生じて列車の通過不能となつた、又、竹南、苗栗間十六哩[illegible]には六ケ所延長一千[illegible]に亙つて線路約三十糎沈下し、地震と同時に[illegible]列車不通となり十六分、[illegible]復舊作業中であるが[illegible]



新竹州の震央附近（×印が震央）

## 基礎工作も軌道に乘つた

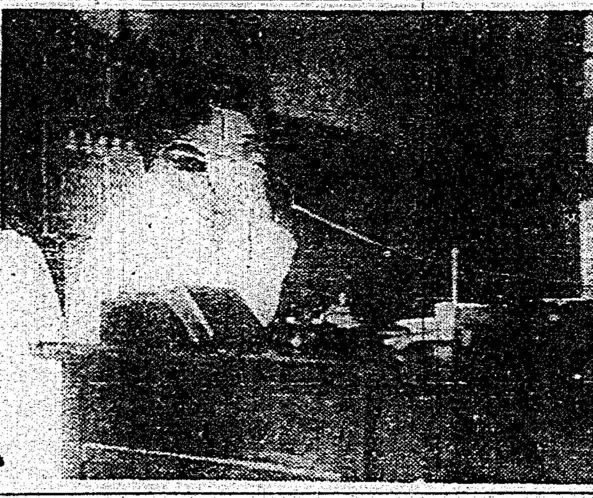
### 殘る問題はただ"金"だ

### 復興ぶり視察記（五）

もつとも震災地を素通りに[illegible]した人は罹災部落の[illegible]家屋や道路が整然にとり片づけられてゐるのをみて如何にも復興が着々實現されてゐるかの如く考へたかもしれない。が、これは[illegible]の何ものでもない。[illegible]片づけが速いことは[illegible]の[illegible]から[illegible]なことに違ひないが[illegible]市街計畫[illegible]のためには[illegible]した土角を[illegible]まに[illegible]するために[illegible]片づけを[illegible]要と[illegible]してゐるところもある。[illegible]承、石岡、內埔、[illegible]等もすつかり[illegible]片づけの出來るのに多分今月末であるが、[illegible]震災地は新竹州とか[illegible]られてゐる[illegible]も大きいし、[illegible]片づけに[illegible]ことを[illegible]に入れねばならぬ。[illegible]つて、復興[illegible]することは、[illegible]

[illegible]ねばならぬ。復興[illegible]計畫、それに伴ふ[illegible]が急務であつた今その市區計畫[illegible]出來上つたのだ。[illegible]る[illegible]は[illegible]である。[illegible]

だから所謂復興事業は[illegible]鐵道の上に乘つたと謂ふべきであらう。[illegible]復興事業は着々實現しつつあると[illegible]者が[illegible]した所以である。然し、今までの復興事業は、[illegible]ばその下[illegible]に過ぎない。[illegible]が出來上つただけであつて、[illegible]復興はこれからだ。[illegible]市區計畫といつても、單に紙上の市區計畫では不可ない。その土地の生産力、民[illegible]を[illegible]しなければならぬし[illegible]家一[illegible]するにしても、[illegible]られる。そこには、必然的に[illegible]と、[illegible]者との[illegible]ることを[illegible]しなければならぬ。[illegible]已にその[illegible]が[illegible]れてゐるのだ[illegible]（完）（五・[illegible]）


總督に電話報告中の森田課長

## 內臺電話で 總督に報告

### 森田警務課長から

新竹州下の震災に際し警務局では田警務課長より內臺電話で總督に新竹州警務部よりの報告を逐次在京中の中川總督、[illegible]拓務管理局長宛に打電し更に午前十時半頃森[illegible]八時半現在の被害狀況及公司寮を中心とする主なる災害地の[illegible]狀況等に關し詳細報告した

## 困つた事だ

### 中川總督驚いて語る

【東京十七日發】上京中の中川總督は臺灣震災の報を耳にし驚いて語る

又地震があつた相だが未だ何等手許に報告は來てゐないので、早速出張所に調査を命じたが、臺北觀測所並に警務局保安課の發表であれば間違ひないであらう、過般拘留があつて漸やく復興の途に就いた許りであるのに困つた事である、歸任の豫定は二十五日にしてゐるが日程を變更するかどうかは突然の事で即答はし兼ねる

## 大きな餘震

### 今後もこの程度のものがないとは斷言出來ません

### 本多地震係技師談

【東京十七日發】去る四月二十一日の臺灣大地震後[illegible]地震係本多技師に語る

今日の震災の地震はこの前の大地震の餘震であつて、あれから四、五回も地震の生ずるそうだ[illegible]餘震がありましたが、今日の餘震はその中でも最大なものです何しろ[illegible]地方の[illegible]は相當大きかつたなる[illegible]の[illegible]は[illegible]でありませうと想像されます、今後もこの程度の餘震がないとは斷言出來ません

## 特派員を急派

### 松井記者と有富寫眞班員

### 竹南公司寮に向ふ

十七日未明、新竹州下の強震に入るや[illegible]本社では直ちに[illegible]した、依て[illegible]より自動車にて出發、震災地の[illegible]松井特派員と有富寫眞班員[illegible]竹南郡公司寮方面へ向つたと[illegible]同州下に[illegible]する[illegible]と

## 森田警務課長 震災地へ

### 情況視察の爲

[illegible]森田警務課長は十七日午後一時[illegible]、苗栗、竹南[illegible]の第一線[illegible]地へ向つた

## 大岩石が崩落

【新竹電話】竹南、苗栗間[illegible]第一隧道[illegible]の間一ケ所、[illegible]大岩石が落[illegible]し[illegible]、大湖間の[illegible]となつた

ことと[illegible]した

## 大湖の被害

【新竹電話】十七日の地震で[illegible]通の爲めその[illegible]せられてゐた新竹州大湖地方は同日午前十時に至り[illegible]り午前十一時[illegible]保安課に達した被害狀況は住家全壞七、同半壞一、同大破六にて人畜には被害なし[illegible]

## 各地の地震

基隆 【基隆電話】基隆地方にては十七日午前零時二十分頃可成り強烈に感ずる地震あり、家によつては時計の止つた所もあつた

澎湖 【馬公十七日發】[illegible]澎湖[illegible]地震があつた

## 現在の復興豫算を適宜に振り當てる

### 應急救護は頗る敏速

公司寮を中心とする震災地に對する應急救護は先般の災害の際の[illegible]その他[illegible]なる[illegible]め[illegible]の手も良く、災害地の救助は非常に迅速に行はれ[illegible]限られた地方は[illegible]、保甲等が[illegible]當つてゐる、[illegible]災害そのものは甚大であるが、先般の震災により復興途上にある事とて特別に本震災の追加豫算は行はず現在の復興豫算を適宜振り當てる模樣で

現在來着の先般の震災義捐金[illegible]國・內地一部、府縣のもの約[illegible]萬圓はこれを今回の[illegible]救災費の一部に振り當る模樣である

## 內海知事臺北から急遽歸任

【新竹電話】內海新竹州知事は震災復興委員として出府中であつたが十七日の地震を知り午前六時臺北發同八時[illegible]歸任した

## 「十圓出せ」「一圓にまけろ」

### 賊と家人が押問答

十六日午後十時半頃、臺北市八甲町二の二〇田中吉平方に一見ルンペン風の賊が裏口より忍び込んだ、家人は外出中で、主人は唯一人階上に休息、十一時頃戶締りをせうと階下に降り來つた際、六疊の間の片隅に白き物が蠢め、近寄つて[illegible]れて見ると人間だつたのでビックリ「お前は泥棒か、[illegible]」と尋ねるや「十圓出せ」と答へるのを、[illegible]「一圓にまけろ」と答へたので、[illegible]家に[illegible]一圓を持つて來て賊に與へた所、賊はそのまま裏口より逃走した[illegible]

## 鐵道團敗る

本社編輯局とのテニス試合は十六日午後三時半から北投新北投[illegible]コートで擧行左の如く鐵道[illegible]した

| 鐵道 | | 臺日 |
|---|---|---|
| 丸岡、堀田 | 〇−三 | 上田、岩田 |
| 戶水、東 | 〇−三 | 岩村、[illegible] |
| 松尾、速水 | 一−三 | 湖倉、中島 |
| 澁谷、栗谷 | 三−一 | 中曾根、森岡 |
| 松浦、堀田 | 一−三 | 湯川、永井 |
| 青木、丸岡 | 〇−三 | 湖倉、岩田 |
| 戶水、松浦 | 一−三 | 上田、伊藤 |
| 栗谷、澁谷 | 一−三 | 岩村、森岡 |

## 時も殆ど同じ 內地にも地震

【東京十七日發本社特電】中央氣象臺發表、十七日午前零時[illegible]分頃中國地方の西部、四國の北西部及九州の北部に亙り地震を感じた、下關、福岡、佐賀、熊本では[illegible]震、[illegible]、松山では[illegible]震、震央は[illegible]

## 鳥山警部の上告審

### 判決は廿四日

元[illegible]行政主任の地位を利用してカフエー、料理屋の營業許可に[illegible]金品を收賄、公金を橫領して[illegible]界の[illegible]として[illegible]となつた[illegible]鳥山警部[illegible]かる上告審が十七日午前九時から高等法院第二法廷に於て竹內裁判長係、伊藤檢察官關與、山下、田中兩辯護士立合の下に開廷された[illegible]一審で懲役一年、追徵金千四百三十八圓に處せられたが、[illegible]去る五月[illegible]覆審法院[illegible]懲役一年の[illegible]に對し[illegible]は[illegible]一年四ケ月[illegible]追徵金八百五十五圓の[illegible]をなしたものであるが、[illegible]上告した[illegible]のである、[illegible]上告に[illegible]山下、田中兩辯護士は[illegible]夫々[illegible]、[illegible]て閉廷した、判決は二十四日である

## 號外發行

十七日[illegible]新竹州下[illegible]震災の號外を發行して[illegible]

## あすの天氣

臺北地方 [illegible]

## 潮汐（十八日）

| | 滿 | 干 |
|---|---|---|
| 基隆 | 前[illegible] 後[illegible] | 前[illegible] 後[illegible] |
| 淡水 | 前[illegible] 後[illegible] | 前[illegible] 後[illegible] |

## 各地氣溫（十七日午前十一時）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 恒春 | 三二 | 臺中 | 三二 | |
| 臺東 | 三〇 | 臺北 | 三二 | |
| 高雄 | 三二 | 基隆 | 三二 | |
| 臺南 | 三二 | 新竹 | 三〇 | |
| 澎湖 | 三二 | 宜蘭 | 二九 | |
| 阿里山 | 一九 | 長崎 | 二八 | |
| 花蓮港 | 三一 | 石垣島 | 三一 | |

## 臺日案內


書籍 新刊 常用語辭典 定價一圓 臺北市榮町一丁目 新高堂書店
月刊 時見書店 臺北市本町 文化教育會
料理屋 生そば 辨金 京町店
壽し 生そば丼物 まる金 末廣町
さつき 元[illegible]
內地土產 パイナップル 桐田
桐田の冷し西瓜 臺北榮町
名物 芭蕉煎餅 下江商店
寫眞 オリエンタル
八ミリ活動寫眞機 臺北榮町二 フタバ寫眞機部
ルビ蓄音器 タイヘイレコード店へ
時計眼鏡 眼鏡は金光堂へ
ラヂオ器械 ラヂオ 臺北市本町四 中川ラヂオ店
治療所 りん病ちくのう 基隆市入船町三丁目 モリ灸[illegible]
藥種商 外用 百草根 臺北新起町
雜件 文部省認定 日本精神 臺北市末廣町一丁目
特許 弁理士 岸喜鑑 龍口町
消火器は足立商會 臺北大和町
貸電話と賣買 
胃腸にエリー

專賣特許 東京あまさけ

のめば たちまち はれやか
¥0.30 ¥0.50 ¥1.00

寫眞 譲る 各國[illegible]

鐵道 受驗 就職 國有鐵道從業員一萬人募集 東京市[illegible] 東洋鐵道學會

# 俺の藥局は臺所にある

## 病人を活かす！專賣特許の食物粉末テルニ

「俺の藥局は臺所にある」とプレーメルが宣言した通り、病氣を征服するには食物から十分の榮養を攝取して强い體力を造らねばならぬ。[illegible]

# 親鸞聖人 (267)

吉川英治作　山村耕花畫

## 女人篇

### 春信佳便(一)

他人が遠ざければ遠ざかるほど、それを睨めて、おのれの快味に供へるのが、天城四郎の性格である。

ましてや。

月輪殿へ押しかけて行つて見ると、吾形を睨めた彼は、それへ報いるに、あだを以つて酬ずにはゐない。

あの事があつて間もなく、巷には、誰が云ひ出すともなく、月輪殿に対して甚だ好ましくない風説がさかんに凡下兵に取沙汰されて、今や九條のその館は、市人の興味の的になつてゐる。

どんな事かと云ふに、いづれも取るにたらない中傷に過ぎないのであるが、衆口は金をも溶かすたとへに洩れず、それが如何にも秘密らしく、又、眞をなして語りつたへられてゐるから怖ろしい。

月輪殿の人格へ。

末姫の玉日姫へ。

その家族へ。

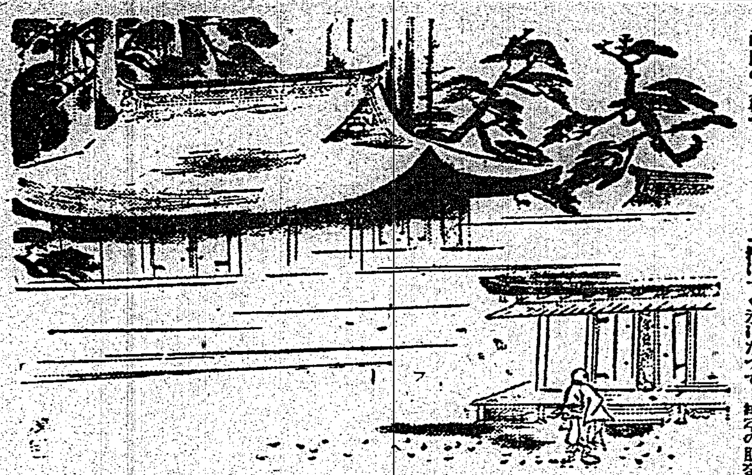
あらゆる嘘を飛ばして中傷の泥を塗るのであつた。無論、その出どころは、四郎だつた。

年を越えても念蛇は殺として衆口の暴威をふるつてゐた。建仁三年の一月の朝である。

綽空は、その朝——まだ暗いうちに岡崎の草庵を出て、白河のほとりを、いつもならば西へ下るのに、叡山のはうへ眞向きに歩いてゐた。

雲母坂へかかつても、また夜は明けなかつた。

「……」



撫然として、彼はそこに立つてゐた。見覺えのある樹、見覺えのある石、この邊りの草は、曾つて、吉野の姫の涙でぬれたことがある、善信の臓の下に敷かれたことがある。

晩闇の空で、大きく鴉が啼く。

——綽空は又、無言で山へかかつた。

力のある足どりである。この山坂を九十九夜通ひつづけてゐた頃のあの逃びを追つてゐる足ではない。

びつしよりと、満身が汗になる。白い息を吐きながら、彼は、根本中堂の前に立つた。その頃、やつと峯は、菫いろの海と化して、ほのかに、今日の太陽を生みかけてゐる。

「……まだお寝みか」

綽空は一つの僧房の扉に立つて閉ざされてある戸をながめた。そこは、座主の寝所である。

やがて、中堂の鐘が大きく鳴る。汗はすぐ氷になつて、綽空の肌を撓むやうに凍へさせた、然し、綽空は、凝然として佇立してゐた。何氣なく、彼の眼の前の戸をあけた僧は、そこに立つてゐる人影を見て、びつくりしたやうに答へた。

「あツ、どなたでございますか」

「綽空にございます。座主お眼ざめなれば、お取次ぎくださいまし」

「お、綽空どのか」

僧は、思ひ出して、愈々いぶかしい面持をしながら、あわてて奥へかくれた。

すぐ戻つて来て、

「お通りください」

と、云ふ。

すでに慈圓は、一室に坐つてゐた。慈圓僧正は昨年から二度目の座主の地位についてこの山にあるのであつた

「綽空か」

「はい……」

久しく仰がなかつたこの聖の慈容を、綽空は下げてゐる頭の上に浴びて、暫らくは顔も上げ得なかつた。

---

## 公開欄

### 警保團に望む

曹嬰

◇臺北北署保甲が呱々の聲をあげたのは昨秋の漢民族特種の祭典を前に控へたる五月中旬頃であつた。當時の署長たりし岩田此一氏、恐盟楽翁、郭廷俊氏、陳清波氏を始め大稻埕の有力者並びに各保保正等臨場の下に盛大なる結團式が舉行せられたのである。而して式後團員は岩田署長始め北署の幹部、團長許氏引率の許に徒歩にて團旗を先頭にして隊伍整々と臺灣神社に祈願參拜をなしたのであつた

◇爾來曉鐘の中に團の内容充實を圖りつゝあるうち防空大演習が實施されたので團員は在郷軍人、青年團、壯丁團に伍して目覺しき活動を爲した、其の甲斐々々しき振舞は致く吾人の感佩に値ひするもので家庭を離れ自己の業務を他所に彼の寢食を忘れての奮鬪振りは今更乍ら茲に喋々する必要はないのである

◇然るに演習後久しく平靜を保ちたる我が島都にも最近に至りて頻に祝融の神に見舞はれる災目に遭はされた。過般の三井製茶、總督府等たは盜回の赤十字火事何れも我等と稱する國都を恭く灰燼と化さしめた。其の都度公の警在る警保團員は無意義の火災を目の邊りに眺め乍らも一定の制限或ひは規定なき為め彼を賊して警戒線内に立ち入つて助力する能はず不本意乍らも火災をみすゝく拱手傍觀の已むなき現狀に於ては返へすぐくも遺憾の極みである

◇追想するに結團當初岩田署長の申されたる如く本團設立に関して一部理解を缺く人士から種々なる臆測ありたるにも拘はらず斯様に多数なるインテリが自發的に本團の趣旨を贊同して參加せられました事は北署の爲め慶賀の至りに存ずると共に斯くの如き有力なる自治團體は恐らく本島に於ては本團を以て嚆矢とする所であると思料する云々との懇談的挨拶の演説を思ひ浮べ往時の意気込みと現在の萎れたる實否とを對照して若察し来らば吾人は甚だ失望を禁ぜざるを得ない

◇茶者は我が臺保甲を委するが故に否ー國家社會を委するが故に不才を省みず敢へて拙文を弄して本公の長論を披瀝し以て江湖の有志諸君に訴へたる次第である。賢くは是れを嗣近取り下さるれ積極的に捉進の資本講せられたならば幸甚の限りである

▲本欄は讀者の自由論壇中傷は不可▲行數は十五字六十行以内▲匿名可、住所氏名は明記

---

## 名家敗退將棋(一九)

(志澤氏四回勝五回目)

香落　六段　△石井秀吉
　　　四段　▲志澤春吉

△石井氏(持駒)なし

▲志澤氏(持駒)なし (第一六四手迄の局面)

△三四歩▲七六歩△四四歩▲二六歩△三三銀▲二五歩△三三角▲一六歩△四二飛▲四八銀△六二玉▲一五歩△七二玉

△石井六段曰く　三三銀の立ちは三五歩と突く手もあつたが此一手を省略して變化を試みる前からの讃防でした

▲志澤四段曰く　一六歩は敵が三五歩と位を張つてないので四八銀の方が本手でせう所謂云ふ細かい注意を時に位の上に警きます

△石井六段曰く　四二飛は善意で一四歩と香の銀を緩和する手もあつたその押方は手遅れとなるか辛らい

▲志澤四段曰く　四八銀は一五歩では形が充分でないと思ひました上手から四五歩と飛先を突出されさうな氣がするので四筋を厚くした

△石井六段曰く　六二玉は三五歩と突けば流通の駒組となりますが前に言つた積極化を求める含みに一先づ玉を越して敵の應手を見ると三五歩と位を張るかどうかと考へます

◇大崎八段講評　石井君の三三銀の立ちは斉むべきではないが三五歩と位を張るが飛角の働きが稀くなるので本筋であらう志澤君の一五歩は敵が四五歩と突起しを狙つてゐるので急ぐ必要はない六八玉と防備を厚くするが確かである尤も上手から四五歩と攻付けられるは大した危險ではないのを見切つた指方か知れぬ

---

## 雜誌紹介

▲科學知識(七月號)　粉末食品の進步(小山榮一)昔と著燕と現茶(小野臣一)南アルプスの王座(田中薫)(塚本閣治)大北航路(谷一年)高氣壓人機械の話(佐藤昌一)海流の機構(佐藤耀一)其の他グラフ、隨筆等、本號は夏季特大號である(定價六十錢、東京市麴町區丸の内二の六大北航社)

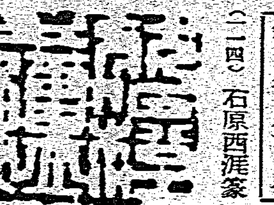
▲港灣(六月號)　橋爾十佐夫編輯の短歌同人雜誌(定價二十錢、高雄市榮町一の五港社)

▲千鳥(七月號)　俳句雜誌、小内兜商子、秋山去談、秋山觀山寺、駒田冬山、吉阪南村、秋朱之介、外數氏の俳句、隨筆あり、久我が掲載されて居る(東京市牛込區矢來町三の四共益商社)

---

## 赤壁賦

(二一四)　石原西涯篆



文日　狀似松之鶴

---

## 森靜子主演　現代劇　民衆の太陽

十八日から芳乃館上映

原作…桂川龍二　脚色…西　義平　監督…上野眞嗣

**梗概**　圓タク運轉手平本金造は止宿先の紅葉館の娘君子との結婚資金を作る為思はぬ罪を犯し警察へひかれた既に身重になつてゐた君子は悲觀と絶望の末家出をした、それから六年の月日が流れた其間に一度出獄した金造は再び罪を重ねて服役してゐたが君子は六つになる愛子を抱へ生活苦と闘ひ乍ら金造の出獄を待つてゐた

しかし日毎に迫る生活の逼迫に彼女自身も罪を犯さうとした時六年前自分の家に下宿して居た大學生今は巡査となつてゐる新城に救はれやつと平穏な月日を迎へる事が出来る様になつた、間もなく歳月を経へて出獄して家へ戻つた金造は君子から新城巡査の厚意をきかされたが今の金造はそれを感謝する程ひねくれた人間となつて居た　その上六年も離れてゐたから愛子を自分の眞の子と思つてくれない許りかスツカリ自棄的になりその夜強盗殺人の罪を犯して君子の家にかくれた直ちに警察當局の必死の捜査は展開されたが犯人は杳として不明だつた

特別捜査班に編入して犯人逮捕に不休の努力を捧げて居た新城巡査はそれが六年前同じ屋根の下に生活した平本である事を探知し、しかも防犯協會の幹事早坂氏と新城巡査に救はれ更生した不良青年伍見修二の發告に從つて金造が君子の家に匿まはれてゐる事を知つて愕然とした、寸刻を移さず金造逮捕の一隊は君子の家を襲うて犯人に迫る市民の不安は遂に一掃された終始同情な君子に同情をよせてゐる新城であつたが君子の犯人藏匿の科は私情によつて如何ともし來得ぬ苦しさがあつた

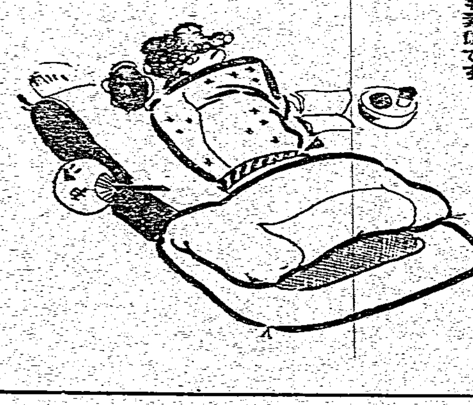
△キャスト▽　新城巡査…田中春男、桑本圭長…荒木忍、修二の父…大野三郎、平本金造…大矢秀治、早坂氏…嵐長喜兵、刑事部長…磯田教造、志賀巡査…清水二造、菅平司法主任…日向先、八つさん…上田寛、留三A…ジョー・オヘラ、君子…森靜子、ヨ子…江川たけみ

---

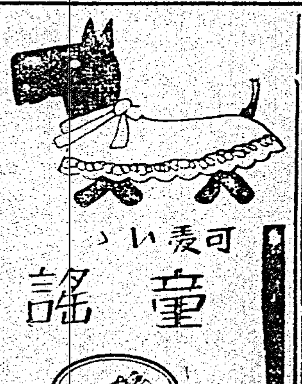

仁丹

寢冷に
食中りが
一番多い時です
仁丹で健康を増進して
抵抗力をつける事です

ねる前に、ちよつと數粒を口にして床についてごらん、身體全體がひやりと氣持ちよく、すぐ安眠が出來て、翌の胃腸の工合も素敵です



頭痛にノーシン

可愛い童謠

水きり小きり　山野菊枝
ころころ団子
をどれチンドン屋　平山美代子
のぞき眼鏡　平山・中山
獨木舟　平山美代子
誰が持つ　中山梶子
あめふり
砂山　平井英子
お猿の芝居
日和傘　平山美代子
流行ソング
ミツキーのペンキ屋　古川・平井
ベティブープの御料理番　平井英子
ビクターレコード

腹を冷やすな！寢冷えさすな！
腹痛タミン
はらいた・食あたりにヨクキク

別に「ごうつ」には(タミン)あり
大阪北濱　天豊堂株式會社

あやめの唄
流行歌　異色盤
宮田浩吉の「太平洋出世小唄」
唄　小林重四郎
B面　富士の白雪
ポリドールレコード

頭痛に
はれやか

淋疾
最新內服藥
京都帝國大學化學研究所創製
メキオール
最新藥化學界唯一の發明コロイド銀サンタル油の內服藥にして急性、慢性淋疾、女子淋疾、子宮內膜炎、膀胱カタル、急性慢性尿道炎、睾丸炎、副睾炎、前立腺炎、子宮內膜炎等の特效を的確に示現す

胃を丈夫にする飲みもの
ビーザン
召しませ此一杯
涼味萬斛！
胃腸の働きを助長し食慾増進疑ひなし
ソノアルコリック
全國有名食料品店、百貨店に有り
宅商會

一番ヨクキク
金鳥の渦巻かとりせん香
キンチョーの棒形も渦巻も
効力！火持！他に比類なく一番徳用です
こんなに蚊が強くなると蚊取はキンチョーに限る！
大日本除虫菊株式會社　大阪土佐堀三

タバコのみの
スモカ歯磨
凡そ物は釣合だ
車の両輪だ
あなたとわたしだ
タバコとスモカだ！

壽屋化粧品　藥店ニアリ　定價十五錢
736

強力
男性ホルモン
アンドロスチン

＝潑剌たる生氣＝
精力を旺盛とし精神力を強め倦怠を去り作業能力を増進し早老を防ぐ・又性的神經衰弱・身心の衰退に伴ふ諸障碍に適用さる。
本劑は新鮮なる雄性生殖腺の全有効成分(水溶性及脂溶性ホルモン類)を含み生物學的檢定の下に効力を一定せり。世界各國の醫藥界に賞用せらる。
◎注射液・錠劑◎
內服用錠劑にても顯著に其効力を發揮す
文献は大阪市東區瓦町三和ビル內瑞西バーゼル化學工業會社日本學術部より郵呈
日本總代理店發賣元株式會社武田長兵衞商店
特約店　東京小西新・鳥居・三共

# 十七日午前零時二十分 新竹州下復起大地震
## 震源後龍溪中流苗栗附近

十七日午前零時二十分。新竹州下。再起強震。除本島南端外。全島人身有感覺。震災地方。頗有相當被害。據臺北測候所檢震結果如左。

發震時十七日零時十九分十三秒二。初期微動繼續時間十一秒五。初動北東之上。最大震幅約四耗五。週期二秒。總震動時間。約三十分。震度。弱震。性質稍急。

又各地震度。新竹。臺中。臺南。澎湖強震。花蓮港弱震之弱。

由此等以考究其震央。當在後龍溪中流苗栗附近其被害頗巨也(十七日午前一時半發表)

## 竹南苗栗兩郡被害 死亡四十九名 重傷者五十八名

(新竹電話)十七日午前零時二十分。新竹州下。復起強震。至午前八時。新竹州保安課所接州下被害情況如左。

死亡者。竹南郡四十名。苗栗郡九名。計四十九名。

重傷者。竹南郡二十九名。苗栗郡二十九名。計五十八名。

輕傷者。竹南二十八名。苗栗四十八名計七十六名。

住家倒壞。竹南三十一。苗栗四十九計八十。

同半壞。竹南五十三。苗栗六。計五十九。

同大破。新竹署一。竹南三十三。苗栗十四計四十八。

## 南下急行 停駛四時

苗栗街日本石油臺灣鑛業所之石油櫃破壞。因應急措置。方得無事。被害最巨地方。在竹南郡公司寮方面。大湖郡爲電信電話不通。被害不明。又山線苗栗北勢間線路有故障。擬于十七日中開通。又十七日午前零時二十五分新竹驛發南下急行列車。在竹南郡崎頂驛停駛。遲發四時間。于午前四時四十五分出發。

## 新竹州當局 救援待機

新竹州對各郡交涉前往救援。而回答爲不必要。乃中止救援。但已準備何時俱得出動。一面急派下村衛生課長赴竹南部。木下警部赴竹南苗栗兩郡下。

## 北上急行 連絡出帆船

北上夜行(第四列車)在公司寮。停駛二時間。于九時三分抵基隆驛。連絡吉野丸。又臺北六時二十五分。特發定刻列車。以便趁客。又出帆最終連絡列車。

## 臺中弱震 殆無被害

(臺中電話)十七日深夜。又起地震。然臺中地方。爲弱震程度。殆無被害云。

## 臺博事務局 募女看守 報名七月末日

臺灣博覽會事務局。依左記要項。欲募女看守約三百名。蓋欲使其在會場內陳列場。看守出品物其他事務。

一、年齡。十五歲以上三十歲以下。要具有畢業小公學校以上學力者。

二、身元確實。要適當保證人。

三、品行方正。身體強健志操堅固者。

四、若本島人。須解國語者

右採用期間。自十月初。至十一月末。待遇日給一圓左右。希望者可以隨意樣式之申入書。明記保證人之原籍。現住所。職業及被保證人之家族關係報名。期限至本月末日。由博覽會出品部銓衡後決定採否。通知本人云。

## 亂軍統制者 斷然處置 陸相決意堅

東京十七日電。教育總監更迭。有種種逆宣傳。萬一有亂軍之統制。林陸相斷然處置。決意極堅。正深注意其成行云。

## 陸相求同意 二十日內奏 八月一日發令

東京十七日電。陸軍定期異動。大體已有目鼻。教育總監既易。林陸相。更示之渡邊新總監。求其同意。訂來二十日。伺候葉山行宮。調聖內奏。照所豫定。八月一日發令云。

## 產米改善 決定標準粟

桃園郡自數年來。欲期產米品位向上。厲行檢查粟種。克舉相當成績。更於昨年二期作。凡各街庄擇要地。開農事改良實行小組合員並米農者懇談會。關於稗及異品種除去。早刈防止。乾燥調製。並管下產米現狀改善對策。與米穀檢查所及米穀改善合提攜。俾其主旨徹底。結局稻叢成有。有相當效果。然欲更期其徹底。制定標準粟。買賣價格。附以格差。厲行等級別買賣。以上販賣買賣交易改善。移出檢查三等合格。致有八成三分。收穫期以上效果。本年檢米制度改正。更痛感其必要。一面欲期破壯防止法之斃乾普及徹底。開發乾品評會。聲明六百餘。品質必見其向上。卽最近登市檢查結果。三等合格半數。最近登市旺盛。宜及早決定標準粟。去十四日午前十時。於桃園街役場上。總督府元山技手。各街庄長。實行小組合長其他出席投票。決定左記郡下標準粟。

▲臺中六五號(上)蘆竹庄南崁內厝產(中)龜山庄產(下)蘆竹庄大竹圍產

▲旭種(上)八塊庄八塊產(中)大園庄產(下)龜山庄產

▲愛國種(上)大園庄產(中)蘆竹庄南崁內厝庄產(下)桃園大樹林產

## 買收黃麻 依品質有差

臺南州勸業課。去十六朝十時。集州下產務關係各係長。主任等。開礎商會協定。臺州下黃麻。來月中旬。將欲登市。而各農產物販賣組合。應行購買之價格。客年度定百斤十二圓五角採收。不論其優劣。均買一價格。本年則不然。將欲依品質。而定等級。價格各差。不如是恐乏優劣之分。故該會意見一致。而該課森安處。爲查內地各顧客之意見。會社一遍意向。定二十日。出差大阪。神戶。九州各地云。

## 對臺灣博覽者 船車賃內定減折

臺灣博覽會礎商會。去十五日開會。有各種意見之交換。一般觀衆。及接客業者其他。可得參考者良多。其大要如左。

▲船車賃減折。臺灣鐵道之減折。個人若五十杆以上。可得一成至二成。有效期間五十日間。若團體區別爲二十人。五十人。百人。二百人。應其距離減折二成至五成。內地鐵道。一個人減折。現尚不明。但依鐵道省發行之周遊票。可觀光臺博。現交涉中。由大連。上海。天津方面觀客。若利用東亞週遊券。較爲得策。就南洋籍民之渡航券。府保安課。亦爲攻究中。臺灣俱樂部。諸事較便也。若加入于此次發會之旅行俱樂部。諸事較便也。

▲觀覽者宿泊。臺北旅館組合。現在一日宿泊者。僅得收容五千人。宿泊之斡旋。爲協贊會。開此。希與協贊會礎商。就學校其他特殊團體宿泊。協贊會。對諸團體。先行照會。

▲博覽會案內所。協贊會在臺北市內重要處。要設案內所。各驛案內所。因豫算關係上。現在專門者僅基隆。嘉義。臺北三驛。其他各驛。則使驛員辦理。

▲交通。市乘合車。局營乘合車。其連轉系統。非得臨時變更。唯希車數。隨時增配。臺北。草山間巴乘合自動車。現在十一臺。將車爲十六臺。一日按可運搬千八百五十人。而小公學校兒童其他特別團體則集地方乘合自動車十七臺。一臺使乘二十四人。乃至三十人。自朝七時起運轉。一日運搬約二千人。待客車。運搬能力一日有五千人。合計一日九千人。可得搬送于草山而草山。臺北間乘合車賃貸切一臺十四圓(每一人往復七十錢)。個人延得安旅。就待客車。會期中。州保安課。流走待客車。一切禁止。營車營待客車務使改換新車。特別留車場。第一會場三四處。第二處。南方館附近。亦要設一處。又市內待客車運賃。現在五十錢。因其區域狹隘。乃擴張之。至臺灣神社邊。使含在五十錢中。人力車。本體屬重檢查。務使裝飾新車。市內約設一千臺。御成町。與北門二處陸橋。門配緩和。設在道路兩側。希鐵道部考慮

▲運輸。臺灣鐵道輸送能力。全體四十五萬人。一日平均一萬人。日曜。祭日。或特殊振興日。臨可得運搬一萬八千人。又宜闢。或纔貫線。以臨時列車。自勿待言。汽車若乘客一時擁到。殊爲不便。故協贊會。爲避混雜。對團體旅行者。務先礎商期日

▲郵便局。第一會場。雖必要設。其他會場。亦希設置云。

## 公債消化力 別無不安 深井日銀總裁談

東京十七日電。最近公債消化力問題所關。大藏當局。實財界一般。種々論議。有抱悲觀見解。深井日銀總裁。則有暫不須悲觀之語如左。

最近公債實行。穩健順調。今後想能繼續。近將來或不發生枝節。最近兌換券發行額之膨脹。不在日銀所存公債之增加。而在金保有額之增加。及政府貸上金之增加。最近經濟界大發展即爲兌換券必要之事情將來無限的餘裕。固不料想。然當面問題。何

## 日濠親善使節 出淵大使一行 自神赴濠

神戶十七日電。日濠親善特派使節出淵大使一行。十七日午前十一時。乘外國便船。望濠洲發。大使有語如左。

他日到比島。欲會馬尼總督。爲遜上院議長。及華府時代親友斯美斯陸軍司令官等。審知其獨立急需之比島政界現。其於濠洲。勿論欲會政府當局。及民間有力者。利用一切機會大舉親善之實。日濠間之貿易。將來有伸張可能性。蓋與濠洲通商關係。不啻於中華滿洲等至爲重要。自當力致友誼。又日濠間無線電話此際必欲實現之也。

## 高雄驛敷地 陳情當局

高雄實業振興會。及實業協會合同協議會。決定促進高雄驛敷地問題。兩會共同。擬對交通局。州市當局陳情。一面喚起輿論開市民大會。又事前欲與商工會幹部會見。交換意見云。

## 高州理蕃課 運搬物資 購入宮古馬

高雄州理蕃課。爲運搬蕃產物。及耕作用。購入粗食。堪勞動。及從順之孩洲產馬二頭。並宮古馬三頭。在屛東郡蕃地埔姜溪產業指導所。努飼繁殖。按將來州下蕃地。普及同種之馬。又宮古馬三頭。十六日經已配到云。

## 花蓮港方面強風中 瑞穗區火警二則 燒死小兒二負傷者四

花蓮港地方。此三。四日來。非常酷暑。且風強十二三米。至十五日。突告火警二件。卽瑞穗區大和百七十番戶。江天新之家午後六時半。突然發火。住家二棟十九戶。非住家四棟。全部燒失。兒童死二名。負傷者四名。又花蓮支廳末番四十三番地蔡有方家。午前十一時發火。燒失一棟。原因爲灶火不慎云。

## 國體明徵 政友實行委員與陸相問答

東京十七日電。政友會國體明徵實行委員山本悌二郎氏外六氏。十六日午後三時半。在官邸與林陸相會談。同四時半辭去。其內容如左。

陸相。余信機關說。有遠國體本義。內閣如或無所爲。覺悟妥爲行動。

中谷氏。使政府聲明否。謂機關說。有遠國體本義之聲明與。

陸相。然。

中谷氏。吾人因陸相之言明。唯期待其結果耳。

## 蔣帥對日認識 更以親日提攜案 授蔣作賓黃紹雄兩氏

上海十六日電。據成都發致華方某政府機關電。去十三日入川蔣作賓。黃紹雄兩氏。十四。五兩日。在成都會蔣介石氏。蔣大使。將日本軍務。外務。政界。財界。朝野各方面實情。詳細報告。尤遣言如左。

卽指摘一部反日派。及指導者誤解日本上下對中華。別無領土慾。征服慾。爲東亞安定勢力。維持極東平和。積極而進日華提攜工作。此際信賴日本之力。以謀調整兩國關係。爲中華唯一更生之途也。

黨之總裁行反日工作。諸妥人。對日意識有誤謬。力說提攜工作促進之急務。黃氏亦將日前南京。及上海巨頭會議之經過。一番報告。蔣介石氏。因詢日本政府。特軍部情勢。蔣大使將日本軍中央部意向黃氏將張群。陳儀兩氏。所與磯谷少將會見顚末。各爲說明。而後種々交換意見。結果蔣介石氏。因兩氏說明。似稍把握完全對日認識者。更告兩氏如左。余對日方針。既已決定今也。更得確信。信日華提攜。已入實行期。願兩君元後。力與日方連絡。疎通意思。言畢。以對日和親。日華提攜具體案。所含重大訓令案。授之兩氏。兩氏攜之訂十七日發。成都歸南京。傳達國民政府當局云。

## 設委員會 決定拉致地點 外蒙回答來

新京十六日電。七月四日關東軍司令部。並滿洲國外交部。對外蒙政府。關貝拉斯與鼎事件。正式抗議。外蒙政府回答。十五日到。其內容不過再聲九日外蒙所言。今後欲解國境方面紛爭。兩國開設委員會。以解決拉致地點歸屬問題云々。

## 臺灣神職會 通常總會 開于阿里山上

臺灣神職會。昭和十年通常總會。訂來八月十三日開于阿里山山林間學校。其行事如左。正式參拜阿里山神社。續舉神職慰靈祭。同午前八時半。開總會。報告九年度決算。及十年度豫算。諮問事項答申次乃門會。該礎商事項。關神宮大麻頒布之件外六件。諸問事項。關國體觀念明徵。爲神職者所執方策如何等云。

## 淡水郡街庄 事務監查日程

淡水郡役所。此次對管內各街庄。決定依左記日程實施事務監查。八里庄役場。七月十八日。十九日。淡水街役場。七月二十九日。三十日。三十一日。石門庄役場。八月七日。八日。三芝庄役場。八月九日。十日。

## 移出突破二百萬袋 契約米五分四配出 移出餘力有五百萬袋

一期蓬萊米。至十六朝六時現在。兩港移出已達百九十八萬六千餘袋。合同日移出之分。已逾二百萬袋。契約米未移出者。僅五六十萬袋而已。據農務課前日所發表蓬萊米收穫豫想。當有七百五十萬袋以上。如是則移出餘力。尚有五百餘萬袋。去十六日。各地期米雖昂。大阪先限三十一圓八錢。視月初低價。已起百四丁。而蓬萊米當限。仍是九圓六十錢內外。此期米低廉當時。殆無配價。蓋政府拂下米。不得爲請算市場援護。而價低廉。所迫蓬萊米。臺灣產地新竹高唱致貨於內地之蓬萊米二十錢。爲此期米雖昂。蓬萊米全不追隨。十七朝期米仍保合。大阪先限三十圓九十錢臺。蓬萊米場外當限九圓五十六七錢。現米亦然。正米市場現在取組十六日當限雖有二百七十六車。然同日午後相當整理。日下只存百餘車。而基隆在庫米多至十五六萬袋。當限米之授受。已無問題。諒無如過去六月五日限。六月二十日限。七月五日限各限之紛騰。想必平凡化。內地之買氣不振。八月五日限。或有相當局米壓迫行情。亦未可知云。

## 墜橋溺死

竹東郡橫山庄八十份八番地謝阿盛。年三十一。去十五日午後四時。步至自宅前約三丁之沙湖溪小橋失足墜落。因豪雨溪水汎濫。竟被漂流。同郡警察接報。急往搜査。死體尚未發見云。

## 彰化郡農會 肥料代金 逐年增加

彰化郡農會取扱肥料代金乃農村唯一經濟施肥。數年來漸增其額。不下五十萬圓。每屆納期。未肯滯納。本年度前期分。各街庄調定額如左。納期八月十日。而郡當局。與各街庄連絡。欲使屆期完納。日下善備督勵各種方法。

| 街庄名 | 調定額(圓) | 納入額(千圓) |
|---|---|---|
| 鳥□街 | 一〇七、八四六、九九 | 一、三三四 |
| 福興庄 | 一二九、二〇八、一八 | 一、二九一 |
| 秀水庄 | 九九、八七三、三一 | 一、一〇五 |
| 線西庄 | 九八、〇八二、一六 | [illegible] |
| 花壇庄 | 三二、九五〇、五九 | [illegible] |
| 和美庄 | 四八、一九〇、四三 | [illegible] |
| 芬園庄 | 一六、七七二、二〇 | [illegible] |

## 八卦山山地之開發 由彰化市尹郡守發起 廿日邀關係官民開礎商會

彰化八卦山。一帶山地之開發。乃係多年懸案。曩由彰化市。與彰化郡兩當局。種々計畫。者番略得成案。卽以佐藤市尹及拔井郡守二氏。出爲發起。訂月二十日午前九時。招請員林南投兩郡守。及一市三郡街庄長。州市街庄協議會員等。在彰化郡衙樓上會議室。開礎商會。開山地面積。官有地六百甲。民有地二千五百甲云。

## 賭徒一串五名

彰化市南門一九四番地。外葉蔡氏潤。年四十一。外四名。去十四日午後三時頃。在前記葉氏樓上。賭四色牌。被西門派出所勤務川淵巡査發見。當場一網打盡。押入署內。由小形司法主任。處罰科料云。

## 婦人輕生 躍池自殺

臺北市下奎府町四丁目六二林鄭氏吹。年三十六。去十六日午後九時半。躍入蓬萊町二九五番地前水池自殺。迨附近人發見後救起時。已見絕息。當路接報。北署脇元警部。偕開業醫謝江西氏。同到現場檢證。自殺原因調査中。

## 等級低下 土礱間叫苦 四等格差過多

昭和八年以前。全島檢查米成績。三等占大部分。五等及等外米絕少。昨年來漸劣。三等少數。如昨年二期閩糯。四等不得交付市場。而三等米極少。致今春來糯價狂騰。本年一期蓬萊米。北部目下狀況。三等米不及二十分一。四五等占多。往々落爲等外米。不得爲移出米。土礱間受檢。一袋損失約四十錢。而其米又賤價。四等米視三等。初退價約二十錢。茲因四等以下占多。漸擴大至三十錢。五等比四等又貶二十五錢。土礱間十分叫苦。穩粟必以四五等爲標準云。

## 掘土角壁合族遭難 長男死四名重輕傷

豐原街大湳人詹德意。爲震災被害。欲將土角壁折毀。同族五人。共同工作中。去十三日午後三時頃。土角壁倒下。五人被埋沒。發掘後。其長男詹河。年十七。既已絕息。餘各負重輕傷云。

## 死因可疑 死體解剖

基隆市七堵庄瑪陵坑人劉木之次男劉呆。年二十二。夙患喘息之病。去十五日午後十一時半。服毒自殺。檢視結果。因無服毒形跡。乃決死體解剖云。

## 埔心設旗亭 庄民反對

虎尾郡西螺街埔心。此次由西螺街王某。欲建築旗亭于庄。現提出許可願。庄民以爲敗壞庄風。絕對反對。庄民有志者。近將至郡衙對郡守陳情云。

## 大溪 農生加工

既報大溪街。農產加工講習會。因便宜上。變更于之十五日午前十時。於烏篷該事改良小組合集會所。舉該開式。講習生十餘名。來賓有郡庶務課長中田太一郎。街助役黃宗寬。及產業關係者諸氏臨席。又新竹州專門技師。亦臨場指導。講習期間一週間。

## 海人草紛爭 形勢不穩 警官隊出動

既報高雄海人草組合所屬船主對漁夫間紛爭問題。依州勸業課之政治的斡旋。漁夫一邊不肯。遂見決裂。而漁夫一邊。將所採來之海人草。全部留于船內。不交船主。雙方激昂。空氣不穩。岸壁一帶。或至惹起流血慘事。爲是州高等課。爲防萬一。卽派警官十餘名。在岸壁一帶警戒中云。

## 東石自動車 待合工事入札

東石郡。朴子街。東石自動車株式會社。欲建嘉義線待合所。風擇地在嘉義市電氣活動寫眞館之當面空地。買收凡二百四十坪。價金八千餘圓。此間再投下資金一萬三千圓。去十七日付之入札。進行工事云。

## 被精米機捲去 生命危篤

東石郡太保庄。公學校三年生楊容。年十三。去十三日午後二時頃。與其父楊水蟬同作。運粟到同庄崙子頂林金木製米工場。容獨入工場。見精米機械心棄。恍惚若失。誤觸廻轉中之機械皮帶。被捲入機械中。右手及兩脚。對大腿部。被其切斷。左手背折。一時鮮血淋漓。其父等急爲救出。現生命危篤云。

## 野球比賽

大溪街野球同好者。有少年團。青年團。警察團。職員團。每日練習。開整六團青年團。對抗比賽。按來二十一日。於同地公學校運動場舉行云。

## 豐原 部振日程

豐原街。去十四日午後二時。招集敎化委員。區委員。部落振興會長等。於役場樓上。會議開催部落振興會區時期。其日程及場所。決定如左。

| 月日 | 區別 | 場所 |
|---|---|---|
| 七月十六日 | 豐原八部落 | 於部落公 |
| 十七日 | 翁子全部 | 於翁子公會所 |
| 十九日 | 圳好全部 | 於下圳好 |
| 二十一日 | 鎌子坑口區 | 於渠會所 |
| 二十二日 | 朴子口區 | 於張瑞臣宅 |
| 二十四日 | 上南坑全部 | 於廟內 |
| 二十六日 | 兩勞全部 | 於保倉所 |
| 二十七日 | 車路墘區 皮廍區 | 於車路墘區委員宅 |
| 二十九日 | 烏牛欄區 | 於林祚溪宅 |
| 三十日 | 大湳全部 | 於廟內 |
| 八月一日 | 下南坑全部 | 於陳發宅 |

以上開會時刻。皆於午後八時至十時。郡守課長街庄主任。俱欲分頭臨席。訓示及講話云。

## 公醫後任

豐原郡公醫辻貫造。因老病辭退。至今月餘。未見發表後任開業醫。有二三極力暗中運動云。

## 廟祝不正

豐原街慈濟宮媽祖廟內陳榮爾。每見香客。入廟參拜時。供藉言欲更新媽祖神袍。強要寄附金三五圓小等。閣其數達二百八十餘圓。俱被其費消。事入警官之耳。豐原郡現調查中云。

## 會事

▲既報海山郡板橋慈惠宮姑婆會祭典問題。爾後派下林桂淸氏。經對高中元氏。二次受取金五十八圓。訂來七月二十日舉行祭典。是夜願開派下全員大會。協議善後策云。

▲元臺南第二公學校卒業生。第十九回同窓會。訂來二十一日。午後六時。開於西門町寶美樓支店。現由白金町龍記商行承辦。港町和公司郭炳輝。本町松泰號余在根。涂蘭四氏。準備一切。限至來十八日。聲明參加云。

## 人事

▲淡水街株式會社施合發商行常務取締役廣阿山氏。爲之內地。經上海福州。去十三日歸淡。

▲新營街入王春木氏之長男顯縣君。此回與稍營庄人劉福氏之長女阿梅成婚禮。去一日結婚。訂二十六日迎娶。去二十七日。再在新營公會堂。開新婚披露宴。招待新營方面諸友。

## 商況(十七日)

### 米況 正米市況前場

[illegible]

### 期米 大阪期米前場

[illegible]

### 東京期米前場

[illegible]

### 神戶期米前場

[illegible]

### 株式 大阪短期前場

[illegible]

### 大阪長期前場

[illegible]

### 東京短期前場

[illegible]

### 東京長期前場

[illegible]

### 公債 東京國債

[illegible]

### 東京銀行實株

[illegible]

### 紐育株式

[illegible]

### 爲替 外國爲替相場

[illegible]

### 神戶對外爲替

[illegible]

### 穀肥 シカゴ小麥

[illegible]

### 神戶豆粕

[illegible]

### 砂糖 玖馬 爪哇

[illegible]

### 大阪現物

[illegible]

### 大阪淸算

[illegible]

### 銀塊

[illegible]

### 絲況

[illegible]

臺日案內 旅館 東南ホテル 臺北永樂町正米市場前

臺灣日日新報
本日夕刊共二十頁
編輯兼發行人 臺北市榮町 臺灣日日新報社


# 大日本讀史地圖

## 久しく絶版のところ 大改訂版出づ

文學博士 吉田東伍 著
蘆田伊人 修補

凡ソ歴史ガコノ地上ニ起ツタ事件ノ連鎖デアル限リ、地人相關ノ理ヲ沒却シテ正確ナル歴史ノ解決ヲ期スルコトハ不可能デアル。地理殊ニ地名・地勢ノ古今變遷ヲ知ラズシテ歴史ノ十分ナル理解ヲ求ムルコトハ無謀トイツテモ過言デハアルマイ。本社ハ早ク正確ナル歴史地圖ノ必要ヲ痛感シ明治二十八年『日本讀史地圖』ヲ卒先斯界ニ提供シ、大正六年更ニ『新編日本讀史地圖』ヲ修補刊行シタ。

今ヤ國史研究ノ精神一世ヲ覆フ時、本書ヲ世ニ送ル事ハ本社ノ私カニ誇トスル所デアル。本書ハ著者獨創ノ研究ニ基キコレヲ舊書ニ比スレバ全圖面全ク一新セラレ新著トモイフベク、ソノ内容ハ倍加シ、從來ノ諸書、解説長キニ失スルノ弊ヲ矯メ、又地名・地形、古今ノ變遷ハ必ズ併記シ、圖面ニヨレバ一目瞭然理解シ得ベキハ最モソノ特長トスベク、殊ニ第四十七圖海外發展・第五十九圖北方問題要圖ノ如キハ著者ノ最大苦心ヲミルベク、從來未ダソノ例ヲ見ザル所、故ニ本地圖ノ序ヲ追ウテ披閲一番、ヨク我國古今ノ變遷一見シテコレヲ知リ得ルト確信スル。近來最モ意義アル一大好著トシテ薦メルモノデアル。

特價五圓五十錢 定價七圓 送料内・三四

### 東洋讀史地圖

文學博士 箭内亙 編 訂正增補版 七圓・送料内・三三

唯一の支那東洋諸邦の讀史地圖として學界定評の本書の前版を時代に應じ其圖版、解説を全然新にし前版のもつ價値をより光輝あらしめた訂正增補版。地圖三十、解説凡例六十餘頁。

### 現代日本史

大森金五郎 著 大日本全史續編 三圓五十錢・送料内・三三

史學の權威大森先生による前古に比類なき光輝ある明治時代黎明期における變轉極まりなき全貌とその深く秘められた眞相についての最も權威あり正鵠を得た文獻―萬人に薦く好讀物。

### 江戸と大阪

文學博士 幸田成友 著 定價二圓五十錢 送料内地十三錢

江戸と大阪の市街の發展・市制・市内の交通・兩市間の交通・金融・御用金・米・油・株仲間等兩市の比較・關係を論究した肩の凝らない興味豊かな經濟史―貴重な文獻。菊判三〇〇頁。

### 西洋史新講

文學博士 大類伸 著 定價四圓五十錢 送料内地十三錢

史學の泰斗大類博士の近業。本書により古い西洋史知識を清算して文化國民としての新な知識を把握せられよ。エジプト文化より最近のアメリカ政情・滿洲帝國成立等迄清新な西洋全史

高橋俊乘著 國民日本歴史 增訂版 定價一圓 送料内二錢
村上秀一著 國民東洋歴史 定價一圓 送料内二錢
柴田親雄著 國民西洋歴史 定價一圓 送料内二錢

昭和十年度圖書目錄進呈 東京神田 振替東京五〇一番
冨山房



# 雄辯 八月號

面白い話 不思議な話 珍しい話 恐しい話

「人」話特ダネ集

初めて公開された、此の人のこの特ダネ!

## 夏の特輯

▲喫烟競争綺談 石黒敬七
▲高橋お傳を斬つた男 篠田鑛造
▲支那の「海賊船」 新居格
▲ラヂオ幽靈の正體 木村毅
▲奇抜極る嘘天下 名川侃市
▲涙にかすむ十二階 佐藤節
▲世界珍王國めぐり 久野豐彦

太平洋上に於ける英米露と日本 鶴見祐輔
▲神と偕に生く（雄辯) 加藤咄堂
學界の至寶十大人物論 黒川勝男
◇牧野英一 ◇木梅太郎 ◇瀧田廣重 ◇黒板勝美 ◇長岡半太郎 ◇西田幾多郎 ◇本多光太郎 ◇大河内正敏 ◇長與又郎 ◇小泉信三
▲主客問答 文士雄辯漫談 武野藤介
▲新たに發見した南米の新天地 服部敬一
▲菊池・久米・谷崎 千葉龜雄
▲「支援せよエチオピアを」の叫びを聽く 記者
▲大思想家エマーソンを語る 文學博士 谷本富
チャンスを掴んだ話・逃した話

## 大特輯
◆蚕と日本外史 ◆成り損ねた話 ◆つた電燈株 ◆安値で買ふ ◆百萬圓の豚肉 ◆世界的名歌手に會ふ ◆鄭孝胥の書

## 小説欄
社會小説 その流域 賀川豐彦
現代小説 街の天使 諏訪三郎
探偵小説 不運なる果報者 山本周五郎
時代小説 孤島 濱本浩
現代小説 都會の虹
小説 東の先驅者 古崎
人物小説 前垂將軍 竹田敏彦

一高級友リレー物語（大特輯）
支那の秘密結社は躍る
彼が今日を築くまで
◆式辭挨拶卓上演説模範例
◆誌上公開演説大會
◆初對面の挨拶の仕方

名界名士短時間演説集 定價五十錢
語る人 語られる人
◆渡邊錠藏 ◆鶴見祐輔 ◆戸川政治 ◆尾上登太郎 ◆岩永裕吉 ◆川越丈雄 ◆内田孝藏 ◆松坂廣政 ◆中野武二
發行所 東京小石川 大日本雄辯會講談社

# 森永ミルク

新鮮だから おなかをこわさない
効果・發育・日本一
森永煉乳株式會社

# 胃腸に タカヂアスターゼ

消化を催進し、食慾を增し、榮養を佳良ならしむ

消化障碍を呈する凡ての場合に、本品が斷然一般ヂアスターゼの追隨を許さゞる著效を奏するは主として次の特色による。

(1) 澱粉は勿論蛋白脂肪其他二十餘種に上る消化酵素を含有し、消化酵素中壓倒的優位にあり。
(2) 茶、コーヒー等により效力障碍せられず、食塩醤油は反つて之を增進せしむ。
(3) 胃腸内に於ける抵抗力强大にして完全に其效力を發揮す。

SANKYO 三共

錠劑、粉末、各種
詳細說明書あり 御申越次第送呈

三共の薬 の定價と簡單なる說明とを載せたる冊子「三共の藥品」あり御入用の方は此新聞名御記入御申越下さい贈呈致します。

東京・室町 三共株式會社


## 第貳期決算報告
（昭和十年五月三十一日現在）

| 資產之部 | 金額 |
|---|---|
| 未拂込資本 | [illegible] |
| 土地 | [illegible] |
| 建物及諸設備 | [illegible] |
| 機械器具 | [illegible] |
| 登錄權 | [illegible] |
| 有價證券 | [illegible] |
| 現金及預金 | [illegible] |
| 原料及製品 | [illegible] |
| 容器及材料 | [illegible] |
| 工業所得意先 | [illegible] |
| 得意先 | [illegible] |
| 出張所勘定 | [illegible] |
| 受取手形 | [illegible] |
| 保證金及立替金 | [illegible] |
| 未收金 | [illegible] |
| 計 | [illegible] |

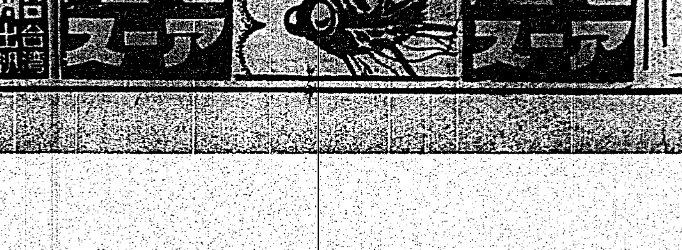
| 負債之部 | 金額 |
|---|---|
| 資本金 | 二〇〇,〇〇〇・〇〇 |
| 諸積立金 | [illegible] |
| 株主配當金 | [illegible] |
| 假受及未保證金 | [illegible] |
| 預り金 | [illegible] |
| 未拂金 | [illegible] |
| 支拂手形及仕入先 | [illegible] |
| 前期繰越金 | [illegible] |
| 當期純益金 | [illegible] |
| 計 | [illegible] |

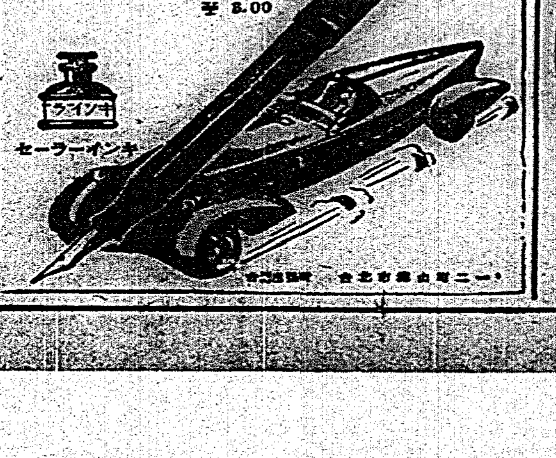
東光株式會社

## 商業登記公告

●株式會社設立（支店）商號 高砂香料株式會社 本店東京市蒲田區新宿町九拾四番地 支店臺北市大安字龍安坡拾番地 目的 人造香料ノ製造販賣、天然香料ノ加工及販賣、藥品醫藥・賣藥部外品、化粧品ノ製造及販賣、前各項ニ附帶スル業務 設立ノ年月日 大正九年貳月五日 資本ノ總額 金壹百萬圓 一株ノ金額 金五拾圓 各株ニ付拂込ミタル株金額 金貳拾五圓 公告ヲ爲ス方法 東京市ニ於テ發行スル時事新報ヲ以テ之ヲ爲ス 取締役ノ氏名住所 臺北市龍口町參丁目拾番地 岸喜三郎 ……
●國際通運株式會社變更（支店）昭和拾年七月五日社債總額金參百貳拾五萬圓（昭和四年五月七日登記）ノ全部ヲ償還ス
右昭和拾年七月拾五日登記
臺北地方法院


大阪商船 基隆出帆
近海郵船 基隆出帆
辰馬汽船 出帆
大連汽船 基隆出帆
代理店 山下 丸一組



## 大地は震ふものと思へ 眞の耐震工作は此認識から

一

この頃の樣に內地と臺灣との別なく地震が頻々として起り、大小の災禍を釀し出すことになると、大地に對する吾等の考へ方を今後は變へねばならぬであらう。即ち大地はガッチリと盤石の樣に固く不動であるとの通念は勢ひ改められ「大地は震ふもの」との常識を得ねばならぬ。臺灣には大きな地震らしい地震などは殆ど無いものと考へられてゐたが、その後本島の地下にも異狀を見、地塊運動に基づく相當大きな地震が頻發し、殊に四月二十一日の新竹、臺中兩州下に於ける地震は狀外の慘禍を來し、全壞家屋一萬七千八百、死者のみにて三千二百といふ痛ましい記錄を作つた。

二

內地に於ても大正十二年の關東大地震以來、妙に地震癖が付き、十三年には丹澤山附近の地震、十四年には丹後地方の大地震、十五年には但馬峰附近や金華山附近等同年中に有感地震以上のもの七回もあり、昭和に入つても殆ど毎年起き、最近は去る七月十一日の靜岡地方の大地震となり、全く際限の無い程である。臺灣に於ても亦、三ヶ月前の兩州下の強震このかた、餘震頻々として起り、中には餘震の領分を超えた程の大きなものもあり、殊に十七日午前零時十九分に起つた新竹州下の强震の如きは、改めて相當數の全壞家屋を出し、死者も當日中に判明せるもののみで四十餘名を出し、震害の及ぶところ殆ど限りなしの感を懷かしめる。

三

是等の餘震、或は地震の連續が震災地や其附近に於ける住民の精神に與へる打擊は殆ど想像以上であり、安心して日夜を我家に過し得ぬといふ危惧の念さへ懷かしめ眞に同情に堪へず、民心安堵の點についても深憂を禁じ得ない。人間の生活は、何を措いても安住の生といふ事が何より必要であるが、斯ういふ具合に度々大地が揺れて慘害を及ぼすことになると、大地に對する人間の考へ方を勢ひ變更せねばならぬではないか、これは議論を超越した實際の問題であり現實の事實であつて、殊に日本の樣な世界にも有名な地震國に於ては「大地は揺ぐものだ」との確たる認識の上に今後の諸施設を行はねばならぬであらう。

四

今までの內地、特に臺灣などの考へ方は、大地は動かぬものとの通念の前提の下で、住家等を建築して來た。取りわけ臺灣の土壞造りの家屋などは、單に土塊を積上げたのみであつて、地震が時々つて揺れ動くなどといふ考へは殆ど持合はしてゐない事を立證してゐる。殊に科學的な諸方策で天災や地變に備へようといふ樣な生活樣式に慣れてゐない地方民にあつては、在來の樣な考へ方を根本から改めさせ、大地は動くものとの通念の下に住居の諸設備を再檢討させねばならぬであらう。單に耐震耐火と言つても、この基礎觀念から考へるのでなければ、日本の樣な地震國に於いての諸施設は到底完全を期し得ないであらう。

五

目下總督府では、兩州下の震災救護について案を練り歩を進めてゐるといふが、救護には過去の災害に對する應急的のものの外に、將來に起ることあるべき天災地變に對し、之を豫め防衛する方法も亦併せ考へられねばならぬ。その爲めには最近の臺灣の樣に妙な地震癖がついた以上、地殼の變化に對する一般の知識を普及させ、地塊はその運動のために不時に變動を停へ、地上にある家屋や公共營造物等を時に大破し、人畜にも慘害を與へるものであるとの認識を深めさせねばならぬ。言ひ換へると大地は揺れ動くものとの常識の下に今後の有ゆる地上施設は營まれねばならぬのである。吾人は此通念の徹底こそ「心の耐震工作」として最も根本的のものであることを斷言したい。

## 新竹州下の震害を 首、拓、宮三相に報告

### きのふ中川總督が訪問して 長官には遺憾なき樣に打電

【東京十七日發】臺灣新竹州下の地震の報告に接した中川總督は十七日午後兒玉拓相、岡田首相、湯淺宮相等を夫々訪問して情況を報告したが平塚總務長官に對しては災害地に於ける救護其他に就き遺憾なきを期し民心の安定を圖られたき旨の電報を發した

【東京十七日發】東京滯在中の中川臺灣總督は十七日午後一時三十分永田町首相官邸に岡田首相を訪問し十七日朝臺灣新竹州下の地震被害狀況に就き報告する所あつた

## 追加支出を要すれば 督府剩餘金から支出

【東京十七日發電通】新竹臺中兩州下の大震災の災害對策に關し政府は既に臺灣總督府第一豫備金並に剩餘金より一百四十五萬七千圓の支出を決定したが今回第二回の災害に依り更に追加支出を要する場合は同總督府の剩餘金より支出する筈である、尙十一年度以降の災害對策に就ては一百八十二萬三千圓を明年度豫算に計上し又預金部より低資融通を受くべき分は六百十二萬圓を本月下旬預金部資金運用委員會の議を經て決定する筈

## 五時間に亙り 軍事參議官會議

### 誤解を招くを惧れて 會議內容を發表

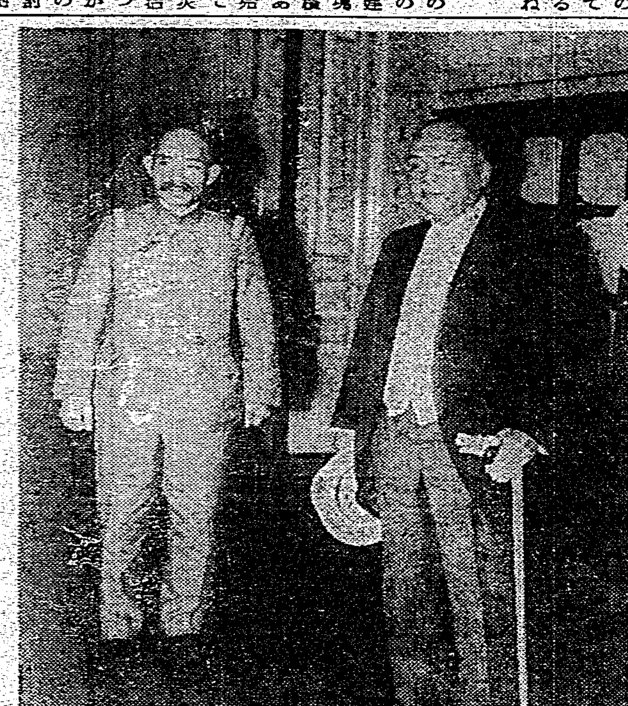
【東京十七日發】陸軍では十七日午後一時より省內大臣室において定例軍事參議官會議を開催、各軍事參議官、林陸相、橋本次官等出席、新教育總監に就き挨拶あり次で林陸相より教育總監更迭に關する經緯に就き說明する所あり部內情勢に關しても各自意見の開陳懇談する所あつた

【東京十七日發】十七日の陸軍軍事參議官會同は午後一時より五時間に亙り行はれたが散會後陸軍より左の如く發表された

陸軍省公表、今日の參議官會同は例會として先づ參謀次長より陸軍軍の情況を、次で大臣より軍事監査の件に就き說明あり終つて教育總監の更迭に就き大臣及び新教育總監より挨拶を述べられ且つ前總監の拂はれたる努力に對し參列各員より感謝の意を表され次で將來の國軍指導に關し各參議官より腹藏なき意見交換あり充分の懇談を遂げ散會した

### 更迭事由を質し 異常に緊張

【東京十七日發】陸軍省は十七日午後一時から省內大臣室において非公式軍事參議官會議を開き林陸相、渡邊新教育總監を始め菱刈、眞崎、阿部、荒木、松井、川島の各軍事參議官參集先づ林陸相より教育總監更迭事情に就いて詳細なる說明を爲した後眞崎、渡邊新教育總監から挨拶を述べ、次いで各參議官から更迭事由に關して相當突込んだ質問を行ひ、陸相之に答へ、異常な緊張場面を展した



### 宇垣總督が陸相を訪問

宇垣朝鮮總督は十七日午前八時半陸相官邸に林陸相を訪問、挨拶を述べ重要會談を遂げ更らに兒玉拓相を訪問、午後に廣田外相と會見した、寫眞は陸相官邸の宇垣總督(右)と林陸相

## 職記を傳達

【東京十七日發】新教育總監渡邊錠太郎大將は十七日午前八時東京驛着旅行先より歸京直ちに陸相官邸に到り林陸相より職記の傳達を受けた後部內情勢に就き種々意見を交換し今後の部內統制方針を協議した結果今回の教育總監交迭に基因して部內不統制を來すが如き事態を惹起する場合は斷乎として之を抑壓することに意見の一致を見八時半散會した

## 眞崎派が憤激― 抗爭熾烈ならん

### 陸相の決意も堅し

【東京十七日發】林陸相の一大決斷に依り部內統制强化のため眞崎大將を退陣せしめたことは陸軍部內に一大センセーションを起してゐるが、然し部內外のものは好感をもつてこれを迎へてゐる。尙眞崎大將に與する一派が將來何等かの策動に出るかも知れないとしてゐるが、この場合には部內統制强化の目的を貫くまで邁進するため何れに對しても斷乎たる處分をなす決心であると言はれ林陸相の態度の性格はこの機會に一層强く發揮されるものと觀測され、今後陸軍部內の動向は興味をもつて見られてゐる、然して陸相の本斷然に伏せられた眞崎大將一派の憤激は甚だしく眞崎大將自身も亦自己の面目上此際現役を退かんとするの意ありとまで傳へられてゐるがこれに對しては切に慰留するものもあり未だ決定はされてゐない樣である、而してこれらに依り部內に於ける林陸相と眞崎大將との抗爭は熾烈ならしむるものと見られるが林陸相は飽く迄所信を通す計畫であり、橋本次官、今井人事局長も陸相を扶け部內統制强化の目的を貫徹せんとの意氣込でありこれに共鳴するものが多いから多少の動搖はあるとしても陸相は斷乎として難關を乘切つてしまふだらうと見られてゐる

## 關東軍でも 嚴重抗議

【新京十七日發】ハイラステンゴール問題に關する外蒙側の正式回答は不誠意極まるものなので關東軍でも事態を重視し滿洲國外交部とは別個に一兩日中に更に嚴重なる抗議を發することとなつた、而して此上若し外蒙側で不誠意なる態度に出づる場合は相當の決意をもつて臨むものと見られ成行注目されてゐる

## 外蒙の回答に 更に抗議

### 滿洲國から

【新京十六日發】滿洲國外交部では十五日着せるハイラステンゴール問題に對する不誠意極まる外蒙側の正式回答に對し極度に憤慨し一兩日中に更に强硬なる抗議を提出することとなつた

## 汪精衛氏青島に著く

【青島十七日發聯合】行政院長兼外交部長汪精衛氏は十六日青島に到著した、汪氏は當地で靜養三、四週間後に歸京の見込みである

## 北鐵從業員の 滿洲在留强制

【新京十六日發聯合】ソ聯政府は北鐵從業員に對し本國歸還を希望するものに對し入國許可證を交付するが如く稱しながら之等從業員の希望を無視して滿洲國在留を强硬に强いてゐる事が最近暴露したソ聯政府は何故に滿洲國在留を强制するであらうかと在留從業員多數に上れば滿洲國政府は之等による赤化防止に腐心してゐる

## 駐在武官を招集し 關東軍が重大會議

### 今後の北支根本對策に 對支方策の再吟味

【新京十七日發】北支治安の回復とともに北支第二段の根本對策及び北支を中心とする根本策確立のため關東軍は十六日以來北支駐在武官を緊急招集し協議に東大將を開催した、即ち會議は十七日午前十時より關東軍司令部會議室において開かれ同日後に八時間の長きに亙り行はれ六時散會した、右會議は第二次大連會議とも言ふべきもので

一、今後の北支根本對策

一、對支方策の再吟味とその根本方針確立

に向つて現地軍部の臨機手腕の態度を決定せんとするものである、尙出席者は土肥原奉天、儀我山海關各特務機關長、酒井天津軍參謀長、花谷濟南、高橋北平各駐在武官、關東軍よりは板垣參謀副長以下關係部員に各參謀である

## 政友會總務會 きのふ本部に開く

【東京十七日發】政友會は十七日午後二時半より本部に總務會を開き先づ松野幹事長より第三議會委員會の經過報告あつた後竹內顧問より總務會の經過を說明し岡田首相以下各閣僚訪問の顚末を報告した上本問題に對する黨の態度を天下に闡明するため直ちに東京において臨時大會を開くべしと要望し、これに對しては來る十九日更めて臨時總務會を開き協議することとして午後五時散會した

## ノールウエー政府 聯盟脫退を暗示

### 外相が勞働黨大會で演說

【オスロー十六日發電通】最近聯盟の權威失墜が痛感されてゐる折柄十六日當地の勞働黨大會でコート外相が述べた演說は遠からざる將來におけるノールウエー政府の聯盟脫退の可能性を暗示し聯盟の權威に對する新しき爆彈として各方面の注目を惹いた演說要旨左の如し

聯盟は聯盟規約違反國に對し軍事的經濟的制裁を加へる權能を有し右目的のためノールウエー政府の參加を求め來ることもあり得るが斯くの如きはノールウエーに取りて甚だ危險なる事態と言ふべく我國は制裁規定に關する我國の立場を速かに是正することを要する即ち何等強制的に各國の政治的利害を制限する方なく將來聯盟の仕事は經濟的方面に限定さるべきものであらう

## 海運制覇を目指す 英の活動に悲鳴

### 我が社外船救濟を求む

【東京十七日發】英國皇帝陛下臨御の下に行はれたクイン・メリー號の工事再着手にも窺はれる如く最近英國海運の積極的活動は顯著であり覇權を目指す英國海運の確立に努力である、而して英國八百萬磅の補助金制度を採用したが、更に從來の自國植民地と本國間の貿易或は植民地の港間の船舶差別制度を取るに至つた、この結果英國及び英國植民地間の小麥、シンガポールより濠洲沿岸への石炭の輸送に從事してゐた我が社外船は英國船主等採用の警告となる事例に乘々と遭遇し大いにその活動を阻害さるるに至つた、茲において山下汽船外社外船主は事情を外務省に訴へ救濟を求めてゐるが通商局の態度及び國際貿易の見地から我が當局の態度は注目されてゐる

## 佛の財政安定法令成立す

【パリ十六日發電通】去る六月八日ラヴアル內閣の要請に依り成立せる財政全權法に依り政府に與へられたる權能に基きラヴアル首相の起草せる財政安定法令二十三ヶ條は十六日閣議に上程され十二時間に亙り極秘裡に審議を進めたが閣僚間にも種々異論あり午後十一時三十分に至り漸く原案通り全閣僚の贊成を得た、ラヴアル首相は深夜にも拘らず大統領官邸にルブラン大統領を訪問し大統領は直ちにこれに署名を與へ同法令は茲に成立を見るに至つた

### 安定法令內容

【パリ十七日發電通】ルブラン大統領の署名裁可を得た財政安定法令の內容左の如し

一、年收八萬フラン以上の收入に對し五種の附加稅を課す

一、商業工業利潤に對する特別稅を增額し一割五分とす

一、在鄕軍人恩給の一割を削減す

一、國債及び鐵道公債に依る收入一割を控收す

一、公債、證券類の取引に際し賦課する取引稅現行一割七分を增率し一割四分とす

一、本法令は即時之を公布實施す

## 訓電による 訪問でない

### 外務省で非公式に語る

【東京十七日發】イタリー政府は十六日杉村駐伊大使がベネチア宮にムッソリーニ首相を訪問し日本は伊エ紛爭に介入する意思なきことを正式表明したと公表してゐるが外務當局は右に關し十七日非公式に左の如く語つた

伊エ紛爭問題に關し外務省より杉村大使に訓電を發しムッソリーニ首相を訪問せしめたるが如き事實はない、他の問題に關し訪問した際にエチオピア問題に就ても言及したかも知れぬが何等公電に接せぬ

而してイタリー政府が本國政府の訓令に基くが如く公表したのは日本の不介入態度を政治的に利用せんとする魂膽と見られ外務當局は

## エ國に政治的關心は持たぬ

### 杉村大使、ム伊首相に强調

【ローマ十六日發聯合】ローマ駐剳杉村大使は十六日ヴェネチア宮にムッソリーニ首相を訪問、帝國政府がエチオピア問題に對する方針なるかに傳へられてゐるが斯る報道は凡て事實無根なる旨を指摘、帝國政府としてエチ

## 伊エ紛爭に關し 英米で外交交渉

### 黑人の打倒伊國熱を輕視出來ぬために

【ロンドン十六日發電通】伊エ紛爭が愈々重大化するに伴ひアメリカ國內數百萬の黑人に打倒イタリーを叫び同紛爭はアメリカの國內問題として輕視出來ない事態を發生するに至つたが確聞するにロンドンとワシントンとの間に最近伊エ紛爭に關する外交交渉が進行中の由である、アメリカが從來の孤立的態度を放棄して英國と協力を求むるに至つたのは同紛爭が對岸の火災視し得ざる國內的情勢が發生したためと見られ消極的にせよアメリカが一歩乘出したことは注目さる

## 衆議院議員一行 總督府を訪ふ

### 一時間餘に亙つて 平塚長官らと歡談

南洋視察の衆議院派遣團の一行は先月十七日橫濱を出て丁度一ヶ月振りに對岸經由で來臺した、當日は臺北に著くと直ぐ臺灣神社に參拜して午前十一時總督府を訪問した、總督府では平塚長官以下局長も列席し先づ長官より歡迎の挨拶がありて、これに岩本團長答辭を述べ約一時間にわたりて主客歡談を交へた、一行は十二名で其內政友が絕對多數の七名を占め民政三名、無所屬一名、國同一名と云ふ割であるが旅行中は黨派關係なぞ一切解消されて愉快な旅行が續けられたらしく衆議院としては今回の企では第二回目で豫想外の效果を收め比律賓では朝野の非常なる歡迎を受け一行大滿悅の態であつた、岩本團長の話

丁度臨時議會が閉會中であつたからこれを利用したところ私を議長のすぐ樞に坐らせ各派代表議員の歡迎演說があつたので、これに對し、日本は比島に對して領土的野心は持つてゐないが經濟的には益々親密を計りたいと云ふ意味の答辯を述べたところ、その翌日の新聞には日本は率直だと褒めそやし親日氣分が橫溢してゐたマニラは僅か二日の滯在であつたが朝野の名士が揃つて盛大なる歡迎宴を張つて與たりして社交的にも相當の效果を收めた

併し南洋を經て比島對岸を經て臺灣へやつて來ると內地へ歸つて來たやうな氣持がすると、まんざら御世辭でもないらしい感想を語つてゐた 尙一行は十七日午後六時より總督官邸に於ける歡迎宴に臨み八時からは梅屋敷に於ける電力會社の招宴に應じ十八日午後八時半の下り急行で南下する筈である

## けさ臺北發南下

### 視察日程變更

十七日基隆入港の廣東丸にて來臺した衆議院議員團一行は同日臺北市內の視察を行ひ十八日午前八時半臺北驛發下り急行にて視察の途に就くが日程は既報のもの變更され左の如く決定した

衆議院議員團一行視察日程

△一八(木)前八・三〇臺北發(急行車中食)一二・五九臺中著(自動車、途中震災地視察)(沙鹿神岡)後二・〇〇臺中著(州廳訪問、西瓜檢査所視察)同六・四〇臺中驛發(汽車)同三・一〇嘉義驛著(青柳旅館泊)

△一九(金)前八・〇五嘉義發(汽車中晝食)後二・二五阿里山驛著(集材、伐木作業視察新高展望)

△二十(土)前九・四〇同發(汽車中晝食)後三・一六嘉義驛著(製材工場、農事試驗支所視察)同四・四六同發(汽車)同五・二六番子田驛著發(自動車)同六・〇一烏山頭著(貯水池視察)同七・一六同發(自動車)同八・一〇臺南著(東旅館泊)

△二十一(日)前九・四〇臺南驛發(出發前臺南神社、開山神社參拜安平視察)同一〇・五二高雄驛著(壽の峠、築港、合同水產會社視察)後一・四五同發(車中晝食)同五・五六二水驛著(乘換)同六・二〇同發同七・三〇水裡坑驛著發同八・三〇水社著(涵碧樓泊)

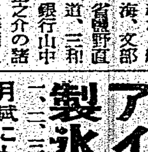
△二十二(月)前一〇・五三水社發(出發前日月潭視察)同一一・五三水裡坑著發(汽車)後〇・五三二水驛著(車中晝食)同一・二三同發後七・四〇臺北驛著(草山溫泉巴旅館泊)

△二十三 火草山滯在(鐵道ホテル泊)

△二十四(水)八・二六臺北驛發同九・一五基隆驛著同一〇・〇〇基隆發(瑞穗丸)

## 淸水氏は來月五日發赴任

今回經濟駐在官となり赴任することとなつた殖產局の淸水酒課長は來る八月五日基隆出帆の便船で出發九月十二日橫濱解纜の淺間丸に乘船することに內定した、同事務引繼ぎ後三輪駐在官は歐洲を廻り一月下旬歸朝の豫定である



大和丸より (來航) 平穩なる航海、文部省國野直道、三和銀行山中佐太郎、三五公司小林正之介の諸氏其他、歸省學生多數、三等滿員皆元氣、十八日午後一時半岸壁著の豫定(十七日著無電)

### 人事

▲平山貢次郎氏(臺灣製糖專務)十七日吉野丸にて上京

▲市京海軍中佐(馬公要港部參謀)十七日來北(吾妻)

▲岩本武助氏(衆議院議院の南洋視察團長)外十三氏十七日來臺(鐵道ホテル)十八日午前の急行にて南部へ、一行の內三土英雄、高田寅雄の兩氏は二十日內地へ


六箇月月賦販賣
文化生活必需品
分解式 山葉洋服タンス
折疊式 山葉文化椅子卓子
積重式 山葉セクショナル書架
折疊式 山葉デッキチエア
臺北京町(電話...)
日本樂器臺灣出張所木工部

耳鼻咽喉科 入院室完備 臺北市京町二丁目 宮島醫院 電話二六六四番

眼科 內科 臺北市新起町三ノ五五 電話三三八六(勝友醫院跡) 森醫院 森三郎

アイスキャンデー 製氷・冷藏用小型冷凍機
一、二、三馬力至特別製造御照會を乞ふ
月賦にも應ず ▲實演場 臺北宮前町新公園入口
臺北市本町三丁目 株式會社 長谷川鐵工所

本日休業仕候 菊元

優先配當年八分附新株募集
一、現在資本額 金拾萬圓
一、株數 貳千株
一、壹株ノ額面金額 金五拾圓(全額拂込濟)
▲增資後ノ資本及株數
一、增資資本額 金拾萬圓
一、株數 貳千株
一、新株壹株ノ額面金額 金五拾圓
一、壹株ノ拂込金額 金拾貳圓五拾錢(四分ノ一)
一、此拂込金額 金貳萬五千圓(但シ一株ニ對シ優先配當年八分附トス)
一、合計資本額 金貳拾萬圓
一、總株數 四千株(舊株貳千株新株貳千株)
一、申込株數單位 壹株
一、申込期間 昭和十年七月十三日ヨリ同年七月三十一日迄トス
一、申込證據金 壹株ニ付金貳圓
一、株金拂込期日 昭和拾年八月三十日
一、募入方法
一、申込場所
北投窯業株式會社 電話北投...番

感謝廣告
陳友添

八公業文宗社派下總會招集通知
昭和十年七月十八日
公業文宗社派下 黃禮帆 黃金火 黃傳鐘
派下各位

# 下期財界の展望（七）

## 下期金融は依然緩慢の見込

日銀副總裁　清水賢一郎氏談

【東京發電話】上期若は米穀資金で幾分大きな平穏に終つたが新木金融が平穏だからと云つて下期の金融状勢が甚だしく緩慢化し、金利が急激に低落するとは考へられぬ、恐らく日銀手持公債の賣行が活潑となつて遊資が吸收されて行くと共に

**起債市場**　方面も好轉するであらうから此方面の資金移動も行はれ遊資は漸次吸收され順調に推移するものと見られる、何分政府が公債を日銀引受のもとに發行して巨額の資金を撒布して行く限り金融の大勢が緩慢となり、金利も漸次低下して行くことは免れぬ所であるから下期に於ても金融の趨勢は緩慢状態を辿るものと見ればなるまい、目先に金利の昂騰すべき理由はなく、金融の大勢は巨額の政府撒布金を中心に緩慢化して行くのだから之の順調な足取りには何等逆らう樣な對策を講ずる必要はなく、大勢順應主義で行くだけのことである。恐らく下期になれば日銀の手持公債の賣行は旺盛になり

**各銀行は**　出來る丈け手許を切り詰めて有利な運用に向ける樣に努力するであらう、一旦に銀行が苦しくなれば預金利下げと言はれるがさう簡單に斷行出來るものではない、預金利子も現在では大分低くなつたので今後預金利子を引下げるとすれば、預金が逃避する懸念がある、之が投機に向ふ危險性も考へられ、國民の貯蓄心を阻害する一方郵便貯金との振合ひもあるし殊に株主配當を維持して預金利子のみ引下げることは先づ困難としても重大な事でかう考へて來ると既る重要な問題である、又金融の實情に即して見ても現在の状勢としては下期に預金利下げ實現の可能性も殆ど聽取されない、要するに下期の金融界は大勢は緩慢を持續し依然平穏順調に經過して行くであらう

# 島内に於ける火災保險の實績

## 昨年は支拂保險が激增す

火災保險會社が島内に於て競爭に競爭を重ねて料率を採算外の低率にセり下げ、昨年來大火の續出に遭うて支拂保險金の增加に苦しみ遂に立行かない状態に陷り過般各社間に協定成立の運びとなつたことは既報の如くであるが、試に昨九年の

**實績**　をみるに島内の收入保險料總額六十二萬四千百一圓、支拂填補金三十七萬八千二百九十一圓、差引二十四萬五千八百十圓から營業費二十一萬八千四百三十五圓を差引き正味利益二萬七千三百七十五圓、三十社で之を割れば一社當り平均九百十二圓五十錢となる、今最近四ヶ年の收入保險料と支拂保險金を示せば

| | 收入保險料 | 支拂保險金 |
|---|---|---|
| 六年度 | 五四〇、六六〇圓 | 八二、七〇三圓 |
| 七年度 | 五〇四、七〇三 | 一九〇、五〇三 |
| 八年度 | 五四九、五九八 | 二九〇、八〇七 |
| 九年度 | 六二四、一〇一 | 三七八、二九一 |

［備考］九年度の支拂保險料は神戸海上未報告の爲め之を除き三七八、二九〇圓となつてゐるが同社を加へて實際支拂額四五六、〇〇〇圓の多きに上つてゐる、次にロスレートと千圓に對する

**料率**　を示せば年により消長あるも八年以來支拂保險金の歩合が激增し九年には六九・四%となり料率は年々低下し九年には一圓七十一錢にて昭和三年の三圓四十三錢に比し半分となつてゐる、即ち

| | 收入保險料に對する支拂保險金の歩合 | 千圓に對する料率 |
|---|---|---|
| 昭和二年 | 三〇・七% | 三・〇四圓 |
| 三年 | 三〇・一 | 三・四三 |
| 四年 | 二八・六 | 二・九六 |
| 五年 | 四〇・一 | 二・八五 |
| 六年 | 一五・七 | 二・三三 |
| 七年 | 三六・四 | 二・二六 |
| 八年 | 五三・九 | 二・二八 |
| 九年 | 六九・四 | 一・七一 |

［備考］九年の收入保險料に對する支拂保險金の歩合は未報告の神戸海上其他を除き六〇・六%となるも之を加へ六九・四%となりレコード破りの高率を示してゐる

次に昭和二年以來の正味損益と一社當り平均損益を示せば（一は損失）

| | 正味損益 | 一社當り平均損益 |
|---|---|---|
| 昭和二年 | （一）五八、八八八 | （一）三、五〇三 |
| 三年 | 三〇、〇三〇 | 一、〇〇〇 |
| 四年 | （一）八〇、八六〇 | （一）二、六九五 |
| 五年 | 九一、九一二 | （一）三、〇六四 |
| 六年 | （一）六六、二五六 | （一）一、八〇七 |
| 七年 | 六六、六九〇 | 二、三三〇 |
| 八年 | 二七、三七五 | 九一二 |
| 九年 | 〔illegible〕 | 〔illegible〕 |

即ち九年の一社當り利益九一二圓

以上の如く保險會社の經營困難となりたる事は六年以後の料率低下が最大原因と見られ、之を採算の取れる料率に引上げるため協定を結んだもので、正味は二千圓を下らぬものとみられて

**赤字**　となる、而もそれらの計算は臺灣だけの營業費を見て内地本社の營業費を見てないのでそれを加算すれば一社當り平均損失一千圓を下らぬものとみられてゐる、因に臺灣火災保險協會の實行委員中東京火災の合田憲留氏と三井物產の保險係森誠氏とは二十二日出發上京し既に上京中の大成火災支配人池上嘉氏と共に島内火保協定につき内地本社側の承認を求むることになつてゐる

# 製糖會社の增配を大藏省が强制

## 實現は困難か

【東京十七日發本社特電】糖業界は依然活況を續けてゐるところから最近各社の增配機運が濃厚化し殊に臺灣製糖の如き今期は創立三十五周年に當るので記念配當二分程度を行ひ、以後之を繼續したき意向を有すると共に、明治製糖も明年三十周年になる機會をとらへ之に追隨せんとの意向を有してゐるが、右に對し大藏省の增配抑制方針は不動で社内留保を增加して内容の充實を圖る事を極力干渉してゐる即ち

一、大藏省は砂糖會社の監督官廳ではないが大體相談を受けることになつてをり、大藏省として强制する機能はないけれ共增配取止めを希望してゐる

一、糖業界の好況は全く會社の努力よりも四圍の情勢に基くものであつて現在の利益を以て將來の危險に備へる必要がある

一、明糖事件以來砂糖消費稅、砂糖關稅徵收方法に就いて一般に疑惑をもたれ現在實施審査中に屬つてゐる位であるから砂糖會社の利益處分は愼重慎重を要すると思ふ

と云ふのである

# 蘭陽米には胴割が多い

## 新竹米は貫乾で成功

新竹米と臺北米との檢査標準米查定會に出席した米穀檢查所の元山技師は語る

兩州とも稻熱病の被害は相當見受けられたが、新竹の方は幾分輕微の樣であつた、殊に新竹州では警察による乾燥方法の改良に熱中してゐるだけあつてその效果は矢張り現物に見えてゐる臺北の蘭陽方面の米は品質は比較的いいが胴割が馬鹿に多く臺北州を代表する標準米として之を採用するのに躊躇した位である、そこで勢ひ臺北平野の產米を標準米とせざるを得なくなつた、蘭陽米に胴割が多いといふのは六月中旬の豪雨により中部米の北送が不能となつた當時臺北、基隆の白米商が殺到して蘭陽米を買つたために之に賣り惡ぜんとして急激に乾燥をなした

# 新竹、臺北の標準米決定

## ……十七日發表……

新竹米及び臺北米の檢查標準米（一期蓬萊米）の查定會は前者は十三日新竹米檢支所で、後者は十六日基隆支所で夫々行はれたが、十七日左の如く決定之を發表した

**新竹米**

| 等級 | 品種 | 產地 |
|---|---|---|
| 一等 | 臺中六五號 | 新竹郡 |
| 二等 | 同 | 桃園街 |
| 三等 | 同 | 新竹市 |
| 四等 | 同 | 同 |
| 五等 | 同 | 同 |
| 等外 | 同 | 同 |

**臺北米**

| 等級 | 品種 | 產地 |
|---|---|---|
| 一等 | 臺中六五號 | 海山郡 |
| 二等 | 同 | 宜蘭郡 |
| 三等 | 同 | 七星郡 |
| 四等 | 同 | 海山郡 |
| 五等 | 同 | 臺北市 |
| 等外 | 同 | 同 |

結果である、尚イモチの被害について平年作と比較して見るに平年作の場合は出穀米のうち完全粒は八八―八九%なるに對し、本年はイモチにより死米混在し完全粒は八二―八三%に過ぎず、又玄米步留も平年作ならば八八―八九%であるものが今年は七一―七二%位のところで調製せねば三等合格に覺束ない程である

# 臺北州農會主催 第二回優良茶品評會

## 十八日より樺山小學校で 一般市民に公開

臺北州農會主催の第二回優良茶品評會出品製茶の審查は七月上旬以來臺北市港町の臺灣茶共同販賣所再製工場に於て審查中のところ全部の審查を終つたので十八日から樺山小學校雨天體操場に陳列し十九日午前十時から臺北州會議室に於て野口知事臨場の下にこれが褒賞授與式を盛大に擧行することに決定した、出品點數は三百六十九點でこの内烏龍茶百九十九點、包種茶七十九點、紅茶七十四點、毛蟹茶十六點、大方茶一點で特等には烏龍茶二點が入選し、一等以下の入賞は烏龍茶五十七點、包種茶二十四點、紅茶二十二點、毛蟹茶五點、計百十點と決定した今回の出品茶は夏茶の最盛期を選んで製造されたものだけに粒揃ひの優良茶ばかりで各郡で行つた二等三等の入賞茶は殆ど選に入らなかつた程で殊に淡水郡阿里磅茶業公司製の茶の如きは義和洋行で一斤十三圓で買取り其他は十圓、八圓といふ高値で買取られた尚樺山小學校に陳列の品評會茶は十九日午後から一般の參觀に供するが當局では市民の參觀を希望してゐる

# 米檢の承認を得て移出米に票箋

## 自信を持つ士林、西螺等 五ケ所が競爭

新竹州の蓬萊種米穀改良組合が嘗ての米穀檢查所の認可を得て總督府米穀檢查所に對し移出米に正規以外の票箋を附することを願ひ出てゐたが、此の程檢查所の承認を受け此の一期蓬萊米から實施することとなつた、右票箋は表は赤地に新竹蓬萊米なる白字を浮出し、裏は白地に赤で蓬萊米の票箋を使用することと認めたものである、此の票箋使用規定に依る

〔illegible〕 計十五萬袋である、而右の如く米穀檢查規則に從つて正規以外の票箋を附すべき出願をなし之を承認せられたものは六月以來今日までに左の五ケ所に上つてゐる

△西螺蓬萊米……西螺米穀改良組合の手になるもの、表面は赤地に西螺蓬萊米の白字、裏面は黃色地に〔illegible〕西螺の仕量、明示し其下に「蓬萊米のトップ」と記す

△士林石蓬萊米……士林信用販賣利用組合の出願にかかり〔illegible〕

△芬園米……之は芬園信用組合の出願にかかり〔illegible〕

△鹿港白、玄米……彰化市商會の販賣の出願、石秋白米、石秋玄米の票箋を使用

△KA無砂白米……加藤商會の票箋は赤地に白でKA無砂白米と浮き出す

# 員林產米の南送分は買付けず

## 產地側が懇談に來北せしも 斷乎既定方針を支持

既報、臺中州下員林郡產米の北送に關しては臺北米穀移出商同業組合の通告により最近大分北送が增加してゐるが、理解なき市場間には商は一袋に付き二錢方運賃が安いのを有利視して依然南送してゐるため移出商の買付には不便を感じ困却してゐる模樣である、而して南送の分は買付けないことを申合せてゐる關係產地としても捨て置けず之が妥協點を見出すべく十六日晩產地側は在北の主要移出商を鐵道ホテルに招き懇談するところあつた產地側としては十時間により ては在來の關係上北送し兼ねるものもあるから南送の分も買付けて欲しいと主張するが移出商としては南北送に分かれてしまへば買付とに決定し同日午後二時から 自動車商會に集合出發し基山倉場では次の通り講演ある由

臺北州における稅制に就て　臺北州稅務課長　杉村〔illegible〕

# 北投窯業會社が倍額增資の計畫

## 優先配當株を公募す

北部臺灣に唯一つの窯業會社として知られる北投窯業株式會社では近年耐火煉瓦、タイル等の需要が激增し現在の生產能力では到底需要を充たし得ざる狀態に至つたので此度變更能力の倍加擴張を企て、之が資金調達法として、資本金十萬圓を倍額增資し、新株は第一回拂込四分一を徵收するが、之には優先配當年八分付として一般より公募することとなつた▲申込期間七月十二日より同末日迄▲申込證據金一株二圓、株金拂込期日八月三十日迄、右につき後宮氏の談が營む專心同社の事業に心從んでゐる者同社長に次の如く語つた

會社に創業既に十七ヶ年、その間事業の消長はあつたが、本年建築材料の動向が耐火煉瓦やタイルをサンと使ひだし、建設した淡水、大學、放送局其他に臺北市中の臺北市公會堂等々完工代用淡耐火煉瓦、タイル等を使用されることになりますので、やがて自社製品を以つて新しい用途を開いて行かうとしてゐる、倍額增資を以て出來る丈け生產の能率を上げて行きたい 投タイル、陶磁器、低溫碍子、耐火煉瓦等の製造能力を倍加せしめ近來認められて來た北投產ものもつと本格的に生產を擴張しようと思ひます、陶磁器市には對岸より輸入されてゐるものもあり、内地からも年百數十萬圓に上ると思ひますが、何とか自給自足の商賣を濫てて遊運するつもりです云々

# 臺北州柑橘同業組合評議員會

臺北州柑橘同業組合では十七日午後一時から州農會議室に於て第一回評議員會を開催、組合長藤元内務部長、高嶺臺北州農會長小河畜產技師、堤事務林業部長氏ら役員十五名出席、先づ第一、第四號議事を報告し〔illegible〕

# 三和銀行第四期總會

## 配當七分据置

三和銀行は本月二十九日午前十時大阪商工會議所にて第四期定時株主總會を開催、次の利益處分案（前期通り年七分配當）と定款變更の件即ち大阪、和歌山、神戸、數島各市に於ける支店各一ヶ所を廢止し兵庫縣武庫郡精道村に支店設置に付定款第六條の變更を附議する由（單位圓）

| 内 | |
|---|---|
| 當期利益金 | 五、三四三、二七〇 |
| 法定準備金 | 一、二七〇、〇〇〇 |
| 株主配當金（年七分） | 二、八五七、〇〇〇 |
| 行員退職慰勞基金 | 三〇〇、〇〇〇 |
| 役員賞與金に交際費 | 一五〇、〇〇〇 |
| 後期繰越金 | 九〇六、二七〇 |

因に上期末現在同行の預金は十億八千二十萬七百餘圓、貸付金勘定

三五會の臨演　臺北三五會は本月例會を草山眾樂園で開催すること

# 日銀調査の小賣物價指數

## 七月は昂騰

【東京十七日發本社特電】日本銀行調査前月八厘方低落せる小賣物價指數は七月一四九、五と前月に比し八厘方騰貴した、尚食料品日用品中騰貴十品低落九品保合八十品にして諸經濟條件の重なるもの次の如し

▲騰貴　内地米は同價相場の騰貴に依る組合の値上げ米、〔illegible〕

# 芭蕉は好調

【神戸十七日發本社特電】神戸バナナ市況は相變らずの好調にて昨日丸の臺灣雨四十四錢は平均四圓三十四年逆りより一圓方の昂騰を示してゐる併し注意すべきは約一割もの腐敗品の出たことにて値段の高きはさることながら荷受品の生產者は誠に氣の毒と云ふ外なくこれが原因は出荷檢査に合格してゐるのであるから輸送上の缺陷が或は研究にて研究をすべきであるとさる

二億六千八百二十八萬五千餘圓、割引手形勘定一億二千六百二十九萬五千餘圓、コールローン九千七百萬圓、手持有價證券五億六百八十六萬餘圓（内國債三億二千二百四十五萬三千餘圓）で預金は一昨年末三行合併直前に比し九千萬圓の增加を示してゐる

# 商況（十七日）

## 臺中米價（十七日）

臺灣米九四七五錢（米中運費込）

## 島内米肥

### 臺米現物相場

〔illegible〕

### 基隆在庫米（十七日現在）

〔illegible〕

### 高雄在庫米（十七日現在）

〔illegible〕

### 正米市況役場

〔illegible〕

### 島内肥料相場

〔illegible〕

## 期米

### 大阪期米後場

〔illegible〕

### 東京期米後場

〔illegible〕

### 神戸期米後場

〔illegible〕

### 堂島前場先限主なる手筋

〔illegible〕

### 堂島前場先限兩建控除主なる手振

〔illegible〕

### 堂島兩建控除倭合

〔illegible〕

### 堂島米況前場

【大阪十七日發】中の谷筋、地場買ひ中東筋乘替と地場利喰賣に三十四圓九十錢と一丁高に寄り三本圍事と保付き利喰賣きすジリ安の八錢と戾し九十三錢と引返し底堅く引けた

### 堂島米況役場

【大阪十七日發】利喰一巡に三十一圓〇二錢と九丁高に寄りその鼻期近筋につれ昨日の新高值に賴合せし朝鮮筋依然に買進み各地高と共に十六錢と新值に進んだが利喰急きに〇四錢と押し止は十一錢と強調を見せて大引

### 堂島雜觀

【大阪十七日發】前場は期物出に買方の圓鞣筋の買ひあり相場は昨日新高值示來後利喰に一鞣下向歩調となり賣方筋田中貞筋の退陣も見られ比喰を急がれた爲買人氣旺盛の反面に案外下語りて高值から二十丁だの下押を見せたのみで後場は利喰一巡で賣方の反撃もあるが依然相場は強調を示し下旬の米穀委員會に追加據下が決定し安値かとの氣分〔illegible〕

## 株式

### 大阪短期役場

〔illegible〕

### 東京短期役場

〔illegible〕

### 東京株況前場

【東京十七日發】新東の百四十圓五十錢を示した〔illegible〕

### 大阪長期後場

〔illegible〕

### 東京長期前場

〔illegible〕

### 大株雜觀

【大阪十七日發】一般人氣は一時より保證以來されてゐるとは云へまだ警戒感濃で反り高値は積極的に買進はぬのみか却つて利有玉は利喰が急がれる商情に東京引際は早くも一頓挫し氣地も引際に新は一段安となり折角盛返した買氣も再び退嬰免かれず買方の手詰急がるる一面反り一巡と見る投機筋の追擊に忽反落を示したが人絹物は製品市價が活潑な反りを示してゐるので賣方の手詰買に存外商強を示し後場引際は日產鋼管その他も賣一巡の振合を呈し早くも小反りを見せた、現に角地合は良い方だし罪なる利喰押にしか過ぎぬので利喰一巡後は再立直りが豫想されてゐる

短期新東は米屋町筋の賣浴せ目立つて百三十七圓七十錢と六十錢安に寄附きアト八圓三十錢まで戾したが買氣薄く大引は七圓四十錢の安値引けた、日產、鋼管も引際軟化し綿絲安に稀材不味で人絹株も製品高いが良り高值一巡で小反落した

## 穀肥

### 大連特產前場

〔illegible〕

【大連十七日發】奧地內地保合軟調張りを入れたので銀安高も利かず特產各品とも強調を呈した、大豆初め奧地の穀物でボンヤリアト邪商と商支筋買で漸騰豆粕豆油閑散ながら強い商狀であつた

## 爲替

### 臺銀建值

〔illegible〕

## 絲況

### 大阪綿絲

〔illegible〕

### 大阪棉花

〔illegible〕

### 大阪人絹

〔illegible〕

### 橫濱生絲

〔illegible〕

## 砂糖

### 大阪淸算

〔illegible〕

## 銀塊

### 大連銀塊況前場

【大連十七日發】當外銀塊保合に連れ百二十五圓八十五錢とボンヤリに寄附安值五圓八十錢を付けたがアト寄金に商ならず上海向けに買物に上海筋の買物は〔illegible〕

沃度含有量昆布の千五百倍

毒素の中和、殺菌、淨血
新陳代謝機能亢進
綜合ホルモンの增殖

上記の如く多量の有機沃度及ヴイタミンA・Dを含有する劃期的沃度劑で從來の沃度劑に比し效果顯著卓越、副作用無し

ネオスA・I

絕對健康

小瓶發賣　壹圓八十五錢

定價　一圓八十五錢　四圓三十錢　八圓　十八圓　三十四圓

全國有名藥店及百貨店にあり

肺結核・カリエス・肋膜炎・氣管支カタル・動脈硬化・高血壓・心臟疾患・糖尿病・喘息・神經衰弱・不眠症・虛弱體質・潛伏黴毒

東京神田　神保町三　アルス藥品部

# ダブリンで逢った エー・イーの風貌

## 書齋には日本刀の鍔と 妙法蓮華經一巻

ラサガア・アベニュウはダブリンの中心ネルソン・ピラーから電車で三十分とかからないところだつた、食料品店、肉屋、煙草屋、ベア、飲食のある電車通りも極めてのんびりした街はづれの感じがするが、一歩そこから折れたラサガア・アベニュウはもつと閑寂な通りだつた、左手に赤煉瓦の二階建の家がすぐみつかつた、古い石の階段がセカンド・フロアについてゐて、そこが玄關のドアで、ドアのわきには蔦がまとはつてゐる可成廣い前庭には色んな樹木が植込まれ、枯葉が一面に散りしいてゐる

その一隅に小さな竹が數株植はつてゐるのが私の目についた、日頃は何でもなくみ過される竹も、かういふところでみると、別して深い感慨を呼び起すものだ、A・Eもきつと竹の持つ高雅な東洋的氣品を愛してゐるに違ひないと私は思つた、私は數株の竹をみただけで、この詩人の詩の或る部分に觸れたやうな氣がした

×　×

私はドアのノッカアを一ツ打つた、それに應じてすぐドアが開いた、A・Eだ、彼はドアを半分開けるか、開けないうちに、もうドアから身體をつき出して私の名をいつてかたく握手してくれた

大きなガッシリした身體、顔の半分を埋める灰色の髭、ニッケル縁の小さな眼鏡、その奥に光る柔和な瞳、黒い古ぼけた服、服の下に隠れてゐる無造作に結んだ褐色のタイ、茶色のスリッパ……これが私の前に立つてゐるA・Eだ

×　×

私はアトリエに招じ入れられた

アトリエは二室ぶつ通しの廣い部屋で、彼の書齋を兼ねてゐるのかも知れないが、ちつとも書齋らしい氣がしない、ただ部屋の片側の低い書棚に書物が少々つまつてゐる位のものだ

繪がすつかりアトリエの壁を埋めつくしてゐる、A・Eの繪はブレークのやうに彼の幻想の世界を描いたものと聖者の繪だ、どの繪もグリーンと紫の色調のかつたものばかりだ、子供たちが森でブランコにのつて遊んでゐるスケッチをみてゐると、森の木間を洩れる月光を浴びて嬉戯する子供の群が如何にも森の仙女でもあるかのやうな印象を受けるのだ、かうして一室に集まつたA・Eの繪をみてゐると私も思はず恍惚として作者の如く「夢想の徘徊」を感じ「エンチャントメント」の世界にあるかのやうな氣がした

私はこの部屋のなかに二つの珍奇なものをみた、一つは壁にかかつてる日本刀の鍔、もう一つは書棚の隅つこにある「妙法蓮華經」と背文字の入つてる書物

さて彼は一緒についてアトリエに飛び込んで來た犬を追ひやつて「寒くはないか」といつて、爐の近くに椅子をすすめてくれた

×　×

私はダブリンは歴史的興味の多い落ちついた町だと思ふといつたらA・Eはダブリンは静かな古い町だが君がもつと時日を持つてゐたら、西の方ドネゴールあたりへ行くといい、山があり、森があり、湖があるいいところだといつた、恐らくここにあるスケッチの大部分もそこで描かれたものだらうと私は思つた

A・Eはジェームズ・スティヴンスやW・Bイエーツに會つてみると役立つことも多いだらうといつて、スティヴンスの作品の傑れてゐることやイエーツが日本の能楽に非常に興味を持つて、その様式を多分にとり入れて、實際にやつてみたことなどを話した、さういつてA・Eは壁の一隅にかかつてゐる彼の描いたスティヴンスの肖像畫とすぐその下のイエーツの若い時代の肖像畫とを私に示してくれた

それから彼はマントルピースの眞上にかかつてゐる農夫の繪を指して、ジャック・Bイエーツの描いたものだといつた、そこにはダンテ・ガブリエル・ロゼッテの聖徒のデッサンも並んでゐた、その繪はまん中に二つの空白の圓が描き殘されてあつたが、ロゼッテは遂にこのデッサンの聖徒を完成しなかつたと説明してくれた

×　×

アングロ・アイリッシュ文學のどういふ點に興味を持つかと訊くので、それはイギリス文學と全然違つた歴史と特色を持つてる點、私は個人的にそれが政治と密しく結びついた點に興味をおぼえるといつたら、彼は全くさうだといつて、話しは政治と文學の問題になつて來た、彼はブレークでもシエリーでも政治に強く動かされてゐるといつて、シエリーの「英國の人々」を、諳し始めた、そしてこれが當時の國歌とまでなつたといふのだ

×　×

A・Eは父一九一六年の復活祭蜂起の指導者であつた三人の詩人、パトリック・ピーアズ、トーマス・マクドナウ、ジョセフ・プランケットの話をし始めた、純情多感の青年トーマス・マクドナウが祖國に對して不思議な魅惑を感じ彼にとつて祖國がいはばアイルランドのシムボルであり、遂に祖國に殉じて彼は生命をささげたことなどA・Eから聴いてゐると、今更のやうに私は若くしてアイルランドの自由のために倒れて行つた詩人に對して哀悼の氣持をそそられずにゐられなかつた、時雨が時々アトリエの窓に打ちつけるので、その氣持を一層深めたのであつたかも知れぬ

A・Eは當時を回想するかのやうにこれらの友の悲しき最期を悼んだ自作の詩を私に語つてくれた、作者自身の口から感動のこもつた詩をかうして聴いてゐると私もそぞろその悲壯な感情に打たれた

私はA・Eに彼の新著「詩歌とその瞑想」に記念のサインを乞ふたら私のためにアイルランド風景のスケッチを扉にしてくれた、それから彼はマクドナウの詩集とジョセフ・キャンベルの詩集に一々署名して私にくれた、話はなかなかつきさうにもないが思はず時を過したので私は詩人のまた會はうといふ言葉を聴いて辭した

一九三二年十一月八日A・Eと爐を囲んで窓外の秋雨に心をやりながら數々の話しに夢を追つたことは私にとつて忘れ難いいい思ひ出を殘んだ

## 文藝消息

▲現代文學講演會　東京市中野なる日本女子高等學院主催にて七月二十八日より五日間赤坂溜池三會館に於て開催　文學心理學（五十嵐力）現代文學各論（本間久雄）教科書中の詩歌（與謝野晶子）その他

# 超傑作の大量生産

## ◇……インチキ日本文壇

江口渙

凡そ文學上の傑作といふものは、どんな天才でも一代に一つか二つせいぜい五つ位しかないものだと聞いてゐる。例へばシエクスピーアの作は「ハムレット」「オセロ」「マクベス」などであり、ゲーテのそれは「ファウスト」であり、トルストイのは「戰爭と平和」と「アンナカレニナ」であるといふように。

ところが當今の日本では毎月の雜誌、ことに大衆雜誌の新聞廣告を見ると、各作家によつて傑作の何とまあ夥しい大量生産がなされることか、それも生まやさしい尋常一様の傑作ではない「大傑作」「大大傑作」から「一代の傑作」「稀代の傑作」さては「曠世の傑作」「驚異的傑作」や「超傑作」まであつて傑作の種類を數へるだけでも並大抵な骨折でない。

しかも、中村武羅夫、加藤武雄、菊池寛、故牧逸馬、三上於菟吉といふような作家がゐて、さういふ各種各様の傑作を毎月十から十五くらゐも書きまくるのだから、これらの作家は天才どころか、大天才、絶世の天才、一代の天才、稀代の天才、さては驚異的天才、超天才といふ夥しいことになるのではあるまいか、まさに傑作日本、天才日本、そして手にとつて讀んで見ると、ひどくつまらない小説ぞろひの日本ではある。

## インチキ・ヨハネの出現

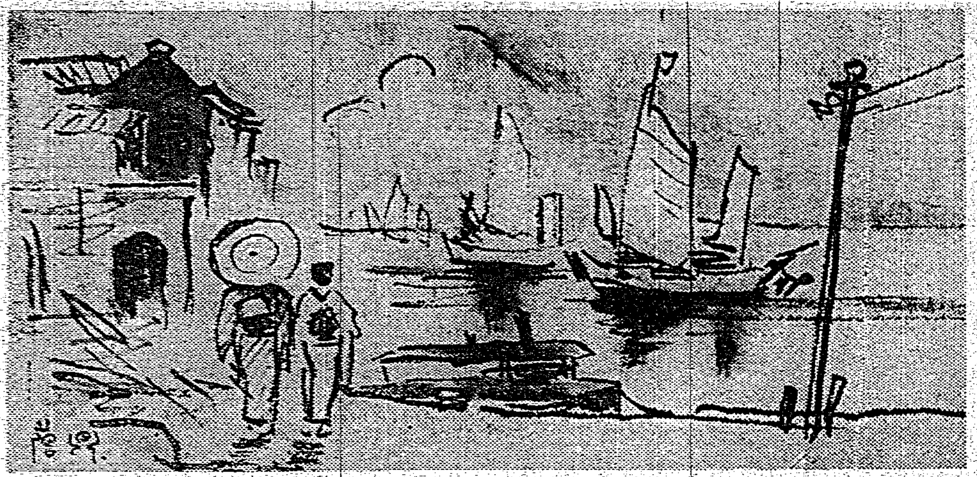
村山知義の小説「白夜」には、かつてプロレタリア演劇運動の指導者だつた主人公が、自分達の指導したが運動の再建は、更に堀も遠れて人知れず仕事を續ける理想のような若い鬪士があつてこそ始めて可能なのだと、ただそれへのみ凡ての期待がかけられてゐる。又、島木健作の「一過程」にも、矢張、福本主義的左翼分裂主義にばかり没頭した農民指導者が一度逮捕されると、おれがゐなくたつて大西のような優れた若い鬪士が現はれた以上後は大丈夫だと安心する場面が描かれてゐる「後に來る者」に、ひたすら待望し、眞實の黎明への希望を、その一點にかけてゐる點でキリストの出現を待ち望んだバプテスマのヨハネに似てゐる。

だが、このヨハネどもは、何とまあ、おびただしくインチキ極まるヨハネではないか。「白夜」のヨハネは、キリストの出現によつて、自分達の果敢なき轉向の合理化と埋合せとが出來たものと思ひ込んで、いともシャアシャアと構へてゐる。「一過程」のヨハネは福本主義的左翼分裂主義が、日本の解放運動にどんな惡どい害毒を與へるかに就いては全く眼を瞑つて、ただ、無條件にキリストの出現を望んでゐる。

どちらも正しい、そして深刻な自己批判の缺乏といふ點で、おびただしくインチキ極まるヨハネである。これでは「我より後れる者わが後に來らん、我はその鞋の紐を解くにも足らない」は當然のことだ。ことに今後の解放運動は一人や二人のヨハネの出現によつて解決されるものではなく、ただ、大衆の巨大な集團力によつてのみそれが可能であるのを思へば、かういふ期待のかけ方は猶更一層間違ひである。

# 夏の畫帖 (2)

藍蔭鼎



◇…戎克船…◇

赤帆の戎克船
青空をバックに倒影美しく
瑠璃色の水面に落れて
一幅の麗しい色彩詩
歩く寄人のゆたか姿まで裝ひ輕く
夏の河岸風景は
平和な諧調に落ちて居る

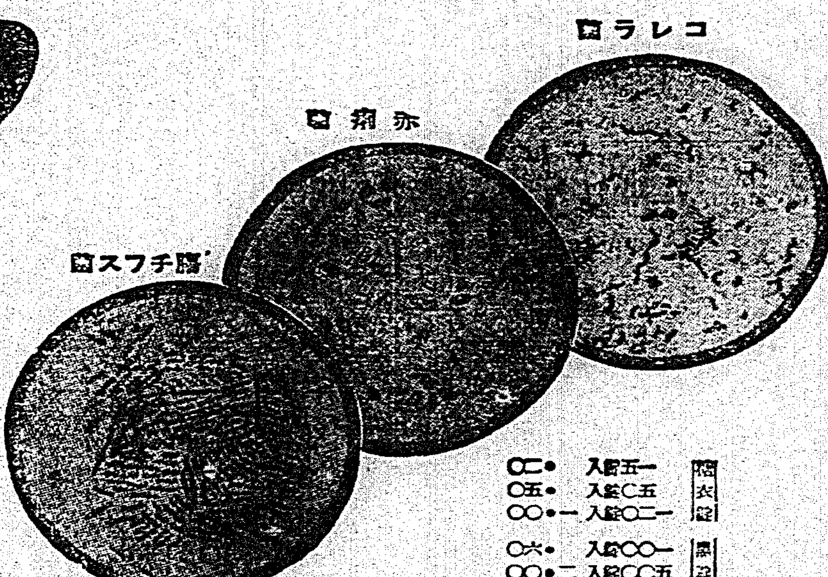
## W・B・イエーツ 生誕七十周年

最近の最も興味ある事件はW・B・イエーツの生誕七十周年を祝してアイルランドのペン倶樂部（P・E・N）が彼を正餐に招待した事だ英國の桂冠詩人ジョン・メースフィールドも「サンデー・タイムス」の批評家デスモンド・マカーシイも參列したさらにロンドン駐剳瑞典大使パルムスティルナ男もノーベル賞をイエーツに授けた瑞典の思ひ出につながる意味で列席した、P・E・Nの總裁ロングフォード伯はダブリンのゲイト座のシーズンに代へてロンドンのウエストミンスター劇場でスウィフトに關する彼の戯曲「ヤフー」並びにデニス・ジョンストンの表現主義風のアイルランド幻想曲「老婦はノーといはず」を上演した

近代的吸著療法　日英米佛專賣特許

アドース錠

恐るべきコレラ赤痢腸チフスに備へよ




糖衣錠　一五錠入 ・二〇　五〇錠入 ・五〇　一二〇錠入 一・〇〇
素錠　一〇〇錠入 ・六〇　五〇〇錠入 二・〇〇

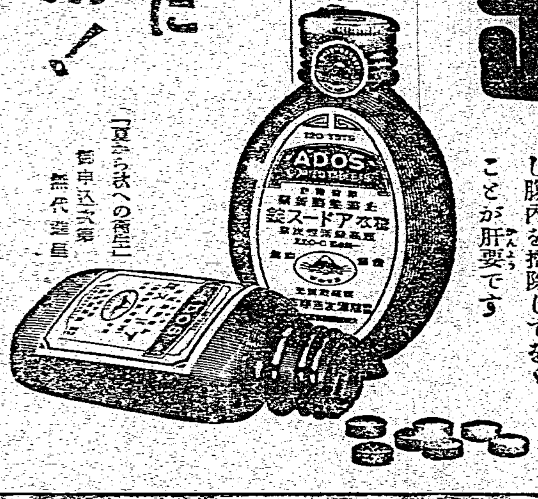
下痢や食傷をピタリと治す

暑さに向ふと　いくら氣を付けてゐても冷めたい物の飲み過ぎや寝冷えの爲に下痢を起したり又は食物の腐敗を識らずに食べて中毒を起したりします

かような際に之を捨て置くと恐るべきコレラ、赤痢、腸チフス等に罹る危險があります

から直ぐにアドース錠を服用して下痢を止め腸内に滯つて中毒の原因となる毒素や粘液黴菌等を獨得の吸著作用で迅速に吸ひとつて無害にし体外に運び出し腸内を掃除しておくことが肝要です

下痢に速効！



「夏から秋への藥屋」　御申込次第　無代進呈

株式會社　藤澤友吉商店　大阪東區道修町

待望の錠劑新發賣

づつう

疲労回復・神經衰弱・めまひ・二日酔

胃腸を強くする　頭のくすり

はれやか

獨逸原名ハイテル

世に誇る　はれやかの特色

「はれやか」は、之迄の副作用の恐ろしい單一頭痛劑と違ひ、胃腸を丈夫に導くはたらきを多分に有するめづらしい併合成劑として代表的のもので頭痛、めまひは勿論、持用すれば疲れを癒し頭腦の調子を好轉せしめます

主効　頭痛、偏頭痛、二日酔、ヒステリー、不眠症、神經衰弱、疲不足、疲勞恢復、過度の勉强勉學による頭痛、胃腸に基因する頭痛

藥價　三十錠 一圓　五十錠 二圓　粉末錠劑共

販賣元　東京銀座　日獨醫化學研究所　振替東京三〇〇四三

ニュース　第二版

## 軍艦基隆に入港

【基隆電話】甫り譲り部國軍艦……四隻は十七日正午基隆に入港、商船桟橋、第一岸壁にそれぞれ繋留したが十三日まで碇泊すべく……

## ガソリンカーの中壢延長

試運轉は好成績

……中壢迄延長の件は來る九月時間改正に實現する模様で十五、六兩日……運轉を行つたが成績は極めて良好なので實現の曉には中壢街民は大いに便利になるので喜ぶであらう

時代に伴ふやう

# 臺大の内容を充實！
# 新に四講座を設く
## 商法、社會學、地質、化學を
## 明年度から増設し

臺北帝大文政、理農兩學部は昭和三年開學以來、累年講座を増充、昭和五年を以て當初の計畫通り兩學部とも二十四講座を整へたが、その講座配置に就ては兎角過不足の非難あるのみならず、その充實を阻害する爲め勢ひ學生の就職にも影響からざる影響を及ぼす事實あるに鑑み、大學當局は取敢ず不足と認めらるる講座増設を明年度に期する爲め文教局の査定を受け約十三萬圓の經費を要求してゐるがこれに依つて實現すべき新講座は文政學部にかては商法と社會學の二講座、理農學部にかては地質及び化學の二講座で、商法及び社會學兩講座は各一講座として現に擔任中の中井、有賀なる中川、岡田兩助教授……に昇格擔當し、地質學は丹助手が助教授となり、早坂、市村兩氏を加へて二講座となり、化學も二講座となる筈で就中地質、化學の増設は熱地と較近本島に於ける諸般の化學工業發達に伴ふものと見られてゐる

# 海人草陸揚げに
# 反對の漁夫を檢束
## 船主と漁夫間軋轢激化

【高雄電話】高雄海人草組合所屬船主對漁夫間の紛爭は刻々に險惡化して行く形勢裡に去る十四日プラタス島より歸航した海生丸を始め七寶丸、寶成丸、振祥丸等各船舶に積載された海人草陸揚に關し睨み合ひの如く相對峙して抗爭を續けてゐるが十七日午後二時半市内苓雅寮海岸に繫留中の市内湊町林文徳所有海生丸より海人草一萬五千斤を船主が陸揚せんとした際漁夫二十數名は極力之を阻止せんとしたので張込警戒中の鈴木高等主任以下三十數名の警察官はこれを制壓し反抗的態度に出た同船乘組漁夫白木、比嘉、大城、島袋大城の五名を強制檢束したので他の者も高雄署前に殺到し我々も檢束してくれと喧騷を極めたので六十餘名の漁夫の集團中より一人を檢束した因に船主側は海人草採取の許可は我々が受けたもので漁夫を傭ひ入れて採取したものだから海人草の所有權は我々にあると主張し又漁夫側は我々が荒波と闘ひ生死を賭して採取した海人草は船主のみの所有物ではなく我々と共同所有のものであると主張して譲らず第三者側の一說には船内にある海人草の占有權は漁夫側にあり應じて船主の手に渡らない中は船主にも所有權はないともいはれ、法律的解釋による所有權が果して漁夫側にあるか船主側にあるかは裁判の決定に俟たざれば斷定し得ないものといはれ事件は頗る複雜化し益々紛糾化するものと見られてゐる

# 蕃地勤めの
# 警察官に福音
## ラヂオを据付く

【臺中電話】蕃地駐在所勤務の警察官は都會の文化に浴する機會が少く蕃人を相手としてゐるので一般と指導的素養を必要とされてゐるが從來適切な方策なく臺中州理蕃課では種々研究の結果今回臺中州警察局の設置されたのを機會に各駐在所にラヂオを据付け警察官をして文化に浴せしめ且つ蕃人をして文化科學の進歩を知らしめるといふ一石二鳥の名案を得たので差當りラヂオを据付けるべく七月放送局と交渉をなし直に蕃地の高低により試驗を行つた後据付けることになつたが右實現の曉は無聊を喞つ山の人々に大きな福音となるだらう

## 鳳梨庖丁で妻を斬る

十三日午前六時頃臺中州彰化郡芬……

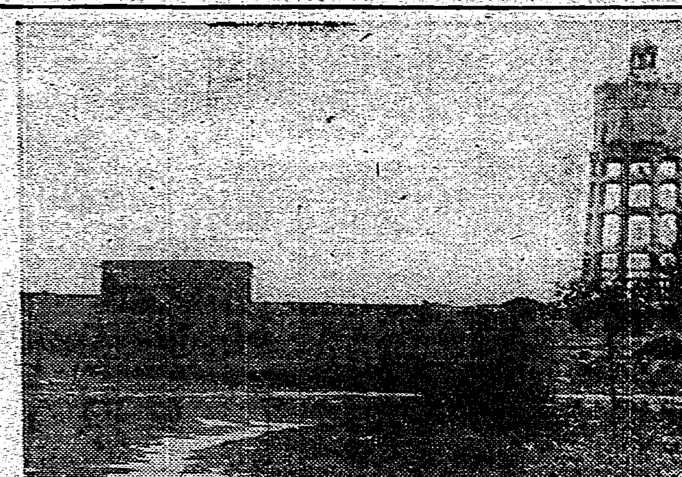
## 臺中梅枝町の有毒の闇の花

【臺中電話】臺中市唯一の歡樂境たる梅ヶ枝町二四に咲いてゐる闇の花は現在百二十名位あり過般警察側の嚴重なる檢黴をなした結果約八十パーセントが有毒となつてゐるので當局も衛生上放任出來ず種々善後策を講じてゐるが何しろ花柳病豫防法の未だ施行されてゐない今日では取締も徹底し難い向もあり結局各自の自覺的豫防に俟つと同時に大同の檢黴に於て未治者に對し重症者より漸次強制治療をなさしめる方針である

……誼氏番五一三號方自宅前に於て血腥い殺害事件があつた……祭氏英(二二)は妻が……の經過が頗る惡く醫者の些細な事より始、とひどく口論中起床した夫は何を思つてか卓上にあつた鋭利な鋏を振つていきなり妻の右肩に斬りつけ約一寸四方の肉をきり落した外右頸部などに治療一ヶ月の重傷を負はせた急報に依り佐藤大河原巡査は現場に到り行兇者を檢擧と同時に加害者を檢擧身柄は彰化郡警察課に引致した

## 張員林街長勇退か

臺中州員林街長張清雲氏は大正九年より現在まで前十五ヶ年餘街長を勤めてゐるが今回の地方制度改正を機に勇退することになり既に其筋に辭意を申出たので當局もそれに同意し近く奏任官待遇に昇進の上街長を辭することになつて居ると傳へられて居るが、其後任には現任助役吉岡益勝氏の昇任は確定的のものと見られてゐる他助役席には庶務係主任張芳鏖氏が榮ふのではないかと一般では豫想して居る



完成した朴子街水源地

# 朴子街の上水道
# 見事完成を告ぐ
## 給水は八月一日から

臺南州朴子街多年の懸案として臺南州當局の非常な努力に依り督府及び州當局の絶大な援助を得て昭和八年十二月より起工された水道工事は二十萬餘圓の巨費を投じ此程竣功を告げたので近く督府衛生課の水質檢査を受けて八月一日より給水開始の準備を整へてゐるが從來當地方の飲料水として使用された井水の多くは鹽分を含み衛生上甚しからぬこと甚しく、しかも旱天續きの際は水道浩渇し飲料水さへ窮乏する場合多く、街民が殊元きに苦みを嘗め或は喜義又は他地方より買水等の窮策を施する有樣は未だ街民の記憶に新しいことで從つて該水道の完成は街民の上にも衛生上にも至大なるものがあらう、而水道は朴子溪に取入井を設置し高さ卅五米の給水塔にポンプで押上げる仕掛であり水質は良好にして目下給水申込三百戸に達し追々増加の見込みである、なほ水道使用料金は左の通り、一、專用給水一ヶ月一圓五十錢、二、共用給水は三戸迄三圓十錢、三、計量給水は二十立方メートル迄一圓八十錢

## 花蓮港少年野球戰

【花蓮港電話】花蓮港少年野球第……

# 音樂と舞踊の指導に
# 山本女史が比島へ
## 夏期休暇を利用して、單身
## 十四日マニラに向ふ

【臺南電話】臺灣と比律賓を音樂と舞踊で結び付けると云ふ聞くだに心地よいニュース——話題のヒロインは去る十四日の便船でマニラに向け鹿島立した臺南第二高女教諭山本千代子(三)女史だ、話の起りは今夏五月ヒリツピンの男女學生が多數臺灣視察に……內地に向つた際一行のリーダー河野氏は現第二高女の石井校長が臺北第二師範時代の學校主事で時代同校の訓導であつた縁故からマニラに來て各地の日本人小學校の先生、生徒に音樂と舞踊を指導して見れる人はないかと尋ねたのが因で話はトンく拍子に進み、マニラ總領事から督府文教局に正式依賴となり白羽の矢が立つたのが前記の千代子女史、女史も勇んで同女史が二十二日間の豫定を以て可成り慶應に大きな使命と抱負を抱いて十四日出帆マニラに於ける音樂、舞踊の講習會に臨む事になつたと云ふ、右に付き武勤校長は次の如く語つた

山本先生は愛媛縣松山市の生れで昭和八年一月當校に奉任された人で、實に明朗な性格の持主で一寸色は黒い様だがまた獨身で、吾等の學生と一緒にもられます今度の招聘は學校としても大變名譽なことであるし延いては日比間の友好上にも影響あるものと喜んでゐる次第です

# 菜刀をふるひ
# 肉身三人を殺傷
## 財産分配が因で兄弟が

【臺南電話】臺南州新營郡下に起つた血で血を洗ふ慘劇——十六日午後十時頃新營郡下安順庄……四六番地陳文芳(二五)同人兄陳朱氏根(三)同長男陳撰(三)は自宅家に住む陳文芳の弟陳作、陳番江(三)同人長男陳裕泰(三)と口論の末遂に菜刀と短刀を揮つて陳裕泰の心臟部及び腹部を突刺し即死せしめ、更に陳番江、陳裕泰の腹部を刺して瀕死の重傷を負はしめ現場より逃走した、急報により新營郡警察課では谷警察課長指揮の下に直ちに郡下の警察官を總動員して非常線を張り必死の搜査の結果十七日午前一時五十分加害者陳文芳を、同六時十五分安順庄安順寮字方付近の甘蔗畑に同様潛伏中の陳根を逮捕、共犯者として自宅から引致し取調べの結果、この肉身間の慘劇の原因は同家財産の配分問題に因するもので兄弟間の確執によれば陳家は數年前に共同で合せて住み兄弟の間であり乍ら財産分配に絡んで十數年前より仲違ひだつたが十六日午後二時頃偶々加害者父子が被害者の庭先を牛車を率いて通つたのを被害者の長男がとがめ更に同夜七時頃被害者前記三名が加害者の家に行き再び兩間の撲鬪を惹起した事から口論喧嘩となり遂に右の慘劇を招いたものであると

# 避暑と療養に
# 好適の金山溫泉
## 遠淺の海水浴場もあり
## 昨今浴客で賑ふ

北部地方に於ける絶好の避暑、靜養地として數年前より島都の紳士淑女から愛用されてゐる臺北州基隆郡金山溫泉は澄み切つた溫かい泉がぶくぶくと湧き出て傍ら淡水溪の海濱近くには水尾、磺港海水浴場もあり遠淺の海底に婦女子の海水浴にも些かの危險なく、その附近には砂湯泉や瀧湯、國聖埔、野柳岬等の名勝舊蹟がある、旅客の便宜を計る爲めに今夏は金山基隆間には發動機船が三艘就航し各船とも一日一往復をし船賃も片道僅かに十錢也で朝の八時に基隆を出航する船に乘れば一時間足らずで金山水尾海水浴場に着き、其處で海水浴場、溫泉、砂風呂を浴びて午後四時の船で歸れば思ふ存分に遊ばれるのみならずグールベー商會の乘合自動車直で金山に行かれるので近頃は浴客が毎日殺到してゐる

## 臺灣美術聯盟で聲明書發表

二日目A組花蓮港小對花蓮港公第二公戰は十六日午後四時から行はれ第一回戰に二對一と見事に雪辱、第三日目A組花小對海公の優勝戰は五A對三で花小大捷本大會の榮冠をなした、引續き午後……三時半よりB組決勝戰が行はれた

臺灣美術聯盟では先頭の臺展機構改革に關する同聯盟の意見書について一部に誤解する向があると去る十六日夜次の如き聲明書を發表した

今回臺展機構改革に關し我聯盟は總意の意見書を平塚總務長官に提出し、その實現を待つて我等の此の熱意を表明して以て臺展のより良き指導と發展を希ひ其の實現を期待しつつある現狀に鑑み、次の提案を時宜に適した再びより良き臺展の提案をした所である、然るに我聯盟の純正なる意見書の内容を曲げて一部に誤解を生じ因るやに思惟せらるるが、現臺展當局の文教局の意を述べ官設制度を大幅に拜す蓋臺展の官僚化を云ひ意するらしきものあるやに思はるるが、然らば一歩譲つて今日臺灣に於て、その實現を期するに臺展を……に純正なる眞の統制が可能であるかを思ふとき疑惑の一端として否定せざるを得ない最も表明すべき點は「統制の強化」にあり、現段階に於て臺展の最も要望すべき點は「統制の強化」にあり凡ゆる藝術の自由性は勿論いふ迄もないが我等の要望する點は「嚴正なる意思」と「組の統制」を斷じて必要なるが故に臺展の文教局移管の必要なる所以を重ねて強調聲明する次第である

# 集つて座談會
## 女流登山家十六人が
## きのふ本社會議室で

臺灣の女流登山家の會が非常に盛んになり近くは本社のキネマ班と共に新高山入山の豫定で……合飲越の壯擧に女性が参加するなど共に歩を加へてゆくが本社ではこの機運を一層導する意味で女流登山家の座談會を十七日午後三時から本社會議室に於て開催した出席者十六名で何れも斯道の練達者のみで、種々の經驗談があり午後五時散會した

（寫眞は座談會）

## 豐田村民代表ら廳長と會見

【花蓮港電話】豐田村開拓の問題に關する村民の反對運動は既報の通りであるが斷に於ては當初の計畫に就いて何等村民に不利を來す理由を認めず久從來村民との懇次の會見に於て一應規定方針の變更をなした譯でもなく斷對村民の關係は全く對時の形であつた七日午前十時半村民代表二十餘名が大擧して政府廳長を訪問したが結局廳は懇切で政府廳長より豐田村として特に如何にすれば滿足を得るやとの要求を具體的に提示せよとの意見を述べ十二時半散會したが廳としては既に規定方針は枉げ得ざる所である事を仄めかした模樣である

## アミ族番用の新酒釀造問題
## 近く方針決定

【花蓮港電話】花蓮港廳下に於けるアミ族蕃人の自家用酒釀造は昭和十一年六月を以て滿期となり其れ以後は絶對に禁止する事になつてゐるが警務局ではこれに伴ひ自家用酒に代るべき蕃人用の新酒を釀造するか又は從來の米酒乃至は酵酒を以てこれに充てるかは未だ確乎たる方針が定まつてゐない様であるが近く專賣局から專門の技師が派遣されて來花の上親しく蕃人の飲酒狀態を調査して愈々確定を見る筈である、何これが準備工作として過般花蓮港支局長は管内に於ける蕃人の飲酒慣習に付き調査する所あつた

## 女中とつた一圓を掏られ……

……まんまと捲き上げ悠々何處にか立ち去つた、同青年は新竹で釣錢詐欺を働いた同人と睨み目下嚴重搜査中である

……にも拘らず今度は同日午後十時頃更にモンペレスカフエーにて同様手段を以て九三錢島より三十錢の仁丹を取寄せ九圓七十錢の釣錢を……

# 僞造小爲替を利用
# ツリ錢を巧に詐取
## 怪青年の行方を臺中署で
## 血眼で目下捜査中

【臺中電話】十六日午前十時頃背廣服に眼鏡をかけた二十四、五歳位の青年が臺中市榮町三ノ二ダルマ食堂で飲食し同店に現はれ……(當店)にて田邊茶店より六十三錢の茶を取寄せ十圓の小爲替券で九圓三十七錢の釣錢を受取つたが店主田邊久太郎氏は一見して僞造小爲替券と看破し臺中署に屆け出たので直に刑事連がダルマ食堂に急行したが右怪青年は既に立去つた後で刑事連が各方面に搜査中

## 樂生院患者にめぐみの手

社會から隔離され新莊郡の樂生院で淋しい日を過してゐる癩患者……

【エハガキ製作は見積書至急】寫眞帖　好文堂へ　東京神田猿樂町ノ五

## 地方近事

### 中壢

△郡教育課では來る二十三日から八月二日迄十二日間毎日午後一時より郡會議室に於て柔劍道の土曜稽古を行ふと

△十六日午前九時より郡會議室に於て郡下警官に對し語學試驗を行つた

### 馬公

△澎湖製氷會社は創業以來漁業家多數營業上困難なる問題ありて先年來澎湖廳の監督の下に經營されてゐるが本年から業績見るべきものありと非常なる好成績を示してきたといふ澎湖唯一の製氷會社のこととてかくの如きは地方民に喜ぶべき事であるからこの當業に大に引下げとなるべく日下五錢に大に引下げとなるべく又この際製氷能率を上げたら……

### 宜蘭

△宜蘭旅行クラブ宜蘭支部發會式は十六日午後五時半から宜蘭公會堂に小島支部長の挨拶に次ぎ佐藤三郎始め宜蘭廳下に於ける郡守の祝辭あつて閉式引續き懇談會に移り午後八時散會した

### 桃園

△桃園信用組合第三回總會は十六日……

### 花蓮港

△十六日午後五時半から公會堂にて行はれた花蓮港廳官民の送別會には廳下各方面より……

△水利組合協議會を開いて一日の清遊を計ることになつてゐる

△郡下大溪庄にある竹園寺水利組合は閉鎖以來毎日大入滿員の盛況である

### 大溪

△新竹州大溪街當局は州の農產物加工專門技術員を招き十五日より向ふ一週間農產物加工講習會を開催し來るが十四日の日曜日には……

△新竹州大溪街の水路場への道路は今まで非常に不便であつたが今回吉田街長が率先垂範して道路を造つたので便利となり一般民が大に喜んでゐる

### 基隆

△基隆市天神町世界館前の架橋は豫て要望者たる南山司會が工費九千圓の三分の一を負擔する條件の下に架橋方を陳情してゐたが寄附金も集まつたので十六日三千圓を市に持參した市土木課にては之を除として直に工事を着手ひに起工事に取りかかると

### 淡水

△淡水街道路擴張第一區の工事は本年三月上旬に着手し五る六月末日竣功すべき筈だつたが該工事請負者と下請者との間に工事費支拂問題を中心に紛議を釀し折角良き天候に惠まれながら工事は遅々として進捗期を經過した今日既成工事は三〇パーセント位の無責任振りである就中下水溝工事の如きは工事着手當時より惡下水溝を取壊した侭未だ完全に工事を施さず下水の排除に支障を來し處々に汚水が溜り此の頃街内の數は俄かに増えたに付き街民の保健上有害のみならず街路は盛上げた上で埋めたため道上安全を期し得いので速かに適切有效の對策を講じて貰ひたいと街民は熱望の愛かかまつて來た

ファッション・スタイル開店

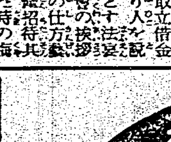
今回臺北市京町三丁目に陳氏杏村女史が瀟洒な婦人服店「ファッション・スタイル」を開業した、同女史は東京白木屋のデザイナー・マス・ケート女史のファッション・スクールを卒業した新進の洋裁家でデザインの美しさと正確な裁縫とで好評を博してゐるが同店では婦人服一般の相談にも應ずる筈である

## 座談の秘訣

### 人を引附ける

▲男も女も心得べき話上手となる一切の秘訣を詳述す

▲男女の交際さては社交に心得て置かねばならぬ事は座談の仕方で座談上手は人を感服させ、人の心をひきつけ人に好かれ立身出世の近道にもなるが座談の下手な人は思ふ事を充分にいへないばかりでなく思はぬ恥をかいて失敗をする本書は青年男女の……



訪問した時　訪問された時　……の仕方……

他一般の喜びから死んだ時の悔み、病氣見舞の口上及び應待の仕方等日々の座談社交一切の秘訣を一々實例を示して詳述したもので何んな話下手な人や口重な人でも不思議に話し上手となる事請合である

▲菊判大型美本三百頁定價金一圓　送料書留廿八錢

▲一圓五十錢の所發賣記念の爲め特價金一圓

▲各種席上挨拶の心得と模範　振替東京六八〇　東京市牛込區入町八　進文館

## 蕾なかだち

求婚一件一圓　其他一同　壹圓七拾錢　名倍額

看護婦至急入用　基隆市日新町　後藤醫院

小林忠太郎　居所知らせ　吉

上女中入用　十七、八歳から二十四歳まで本人來談　北門町十三　木村泰治

下宿　御婦人に限り御世話致します　東門町一二〇　高島

新築　石貫別莊　電三五九〇番

電話賣買と金融　電話賣買　電話賣買

【今日の船】（△印は貨物船）

▲出港

宏山丸　後六時　東京　商船

江蘇丸　後四時　鹿兒島　同

湖南丸　同　西表　同

石見丸　同　花蓮港　同

▲入港

廣安丸　正午　三池　商船

福海丸　午前　門司　同

長野丸　前九時　門司　同

大和丸　後一時　那覇　同

福　丸　同五時　三角　同

綏殿丸　正午　内地　丸一

▲在港

蓬萊丸　第三岸壁　商船

廣東丸　同　同

長沙丸　入渠中　同

綏樂丸　浮標　丸一

（基隆）

臺灣佛教會で施餓鬼法要　臺灣佛教會では來る二十日午前十時から三板橋共葬墓地に於て昨年八月以降本年七月までの殉職者、行旅病人等に無縁佛となつたもの約百三十名の施餓鬼法要を營むことになつた、當日は松岡市尹、古市社會課長以下の係員、市内方面委員ら多數出席の豫定である

……筑元で臺博記念浴衣を賣出し臺北菊元百貨店では今秋開催される始政四十周年記念博覧會用として記念浴衣を賣り出した一般家庭向、料理屋、旅館向きと柄も數種あり、紺白兩地の特製で定價一圓四十錢である、尚五反以上買上げの時は島内内地への送料を同店に於て負擔し又一反毎に博覧會前賣入場券（切手貼付）を添へてある

公認　東京寫眞學校　入學許可　無試驗は技術者になし實力本位　三ヶ月で卒業　東京市品川驛前　日本寫眞藝術協會

腸の危機に　ダイモール

慢性の胃腸病で永年の間種々盡せども一向捗々しくないときにダイモールをお勧めします。

急性の腸カタールで腹痛・下痢の場合には實に頓座的効果を現わします。

其他チフス・赤痢の豫防に、腹部雷鳴の治療に、水あたり、食あたりの常備として是非ダイモールを!!!

株式會社鳥居商店　三共株式會社出張所　臺北市支所

東京市蒲田區　日本飛行學校　操縦科六ヶ月◎機關科二ケ月卒業◎校外生通信教授あり　飛行界に志す人は先づ學則を見よ六ガキで申込次第郵送

香蚊取線香

涼風薫る　裸形は踊る

特約店

病人の食物に乳牛と書籍堂　一元三

北臺　泰美商行

オーキレイになほつたなー！

夏の皮膚病に　デシチン

普通の膏藥ではどうしても癒らないやうな……コチレたキズやオデキには、このヴィタミンAD外用藥が効果的です

癒る經過が非常に早いのが特長で、オデキに繃帶がクッつかず、スラ〱と……カサブタが剥がれキレイになります

おでき・とびひ・たむれ　股ずれ・膿みきづ・水むし

東京一大阪　田邊商店　藥店にあり　一瓶三十錢・六十錢

# 都會化粧 (11)

岸田國士 (禁上演)

田中良畫

## 東京の朝 (四)

照子は汽車を降りてから、この大食堂の隅に腰をおろすまで、たゞもう人間の數に壓倒されたかたちで、何を見てゐるのか自分にもわからないくらゐだつた。父と自分に向つて交る〲話しかける副島の言葉も、半ば上の空で聞いてゐるやうに思はれた。

やがて、三人を乘せたタクシーが、廣場を縫つてお濠端へ出た。宮城上に殿の上へ殺到する異常な風景――副島の説明でいちいちそれとわかりはするが、それは夢とも現ともつかぬ、あまりに美しい幻影であつた。

――あたしは今、ほんとうに東京にゐるのかしら……?

さう思ふと、胸がふるへ、手に握りしめたハンケチが汗でぐしよ〳〵になつた。

青い芝生が切れると、赤い煉瓦が行手に聳え、それを後ろに見送ると、白堊の大殿堂が青空の中に浮かび出る。が、薬樹の並木をくゞつてやや靜かな横町にはいると家並は次第に低く細かく碎けて、くすんだ商店が軒を並べる。

――こんなところもあるのか!

と、彼女はやつと我にかへつた。

「ストップ!」

副島は、腰を浮かした。

車は、ある店先に停つた。

照子は最後に車を降りて、何氣なく副島のはいつて行く店の樣子を窺つた。それは洋服の切地を賣る店に違ひない。眼を奪ふ色彩の波が、薄暗い光線の中で踊つてゐた。

「さあ、おはいりなさい。狹いから轉ばないやうにして下さいよ」

奧で丸味のある豐かな聲が、

「そこではなんですから、どうぞお二階の方へ……」

照子は父に促されて草履をぬいだ。狹い急な階段を手さぐりで上つて行くと、そこは、二間續きの座敷で、一方にはミシンが三臺壁に沿つて置かれてあり、奧の方にはボール箱を積み上げた卓子と、洋服戸棚が床の間を占領してゐた。そして、その前に、色の褪せた座蒲團が二枚、きちんと並べてある。

鏡臺の三招に背をもたせかけるやうにして、三十そこ〳〵と思はれるすつきりした洋裝の女が、豐かに微笑みながら、

「こんなところで失禮でございますけれど、都島がこれつきりなもんで、どうか、御辛抱なすつて……」

一色夫人は、意外だといふ感じをありありと顏に出して、ともかくそこへ尻をおろした。照子も、なんとなく氣が拔けたやうに、父の傍へ座を占めた。

「これが、女房です。加奈子と申します。こちらが一色夫人さんとお孃さんの……。」

副島が少しはしやいでさういふのを加奈子は遮るやうに、

「わかつてますわ、ねえ、照子さん……」

自分の名前を呼ばれて、照子ははつと顏をあげた。男はるやうな眼差しが、こつちを見据ゑてゐた無雜作に束ねた髮、細く引いた眉、薄く目立たぬほどに塗つた唇、片側に深い笑窪を見せながら、凛しく、つつましく傾けた顏全體に、照子は、わけもなく惹きつけられた。

## ラヂオ

### 午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ…臺北觀測所發表

【六・三〇】夏季特別講座(臺北)養生訓講座(第四講)醫學博士山崎薔

【七・〇〇】朝の音樂(レコード演奏)(臺北)第一回、ヴアイオリンとチエロ獨奏△ヴアイオリン獨奏曲(イ)ラ・フオリア(コレリ作曲)エデイ・メニユーイン(ロ)ザパテアード、作品二三ノ六(サラサーテ作曲)ヤツシヤ・ハイフエツ△チエロ獨奏曲(イ)歌劇「タンホイザー」夕星の歌(ヴアーグナー作曲)(ロ)ジョスリンの子守唄(ゴダール作曲)パブロ・カザールス(ハ)夢、作品一五ノ七(シユーマン作曲)エマヌエル・フオイアーマン

### 午後の部

【七・三〇】全國氣象通報(東京)

【八・〇〇】衞生メモ(東京)

【九・三〇】家庭百科問答△便秘に惱む三十五歳の女の方へ△熱呼せぬ一年四ケ月の女兒△食慾のない四歳の女兒

【一〇・一〇】家庭料理獻立(臺北)鄕修女學校高橋ハル子(ルエ子)△知味丸子(肉團子の甘酢かけ)△凉拌肉糸(ターフンの酢物)△夏蜜柑のレモナーデ

【一一・〇〇】日用品小賣値段(各局)職業紹介事項(各局)午後の放送番組紹介(各局)

【一一・五五】野球の中繼(臺北のみ)北商對北二師…臺北市圓山野球場より中繼

【一一・五九】正午の時報、氣象通報…臺北觀測所發表

【〇・一〇】放送局編輯ニユース

【〇・二〇】音樂娛樂時間(レコード演奏)(臺北のみ)野球中繼ある場合は中止△歌謡曲 一、あの灯あの町(西條八十作詞、佐々木俊一作曲)熙山一郎 二、花賣り娘(同上)小林千代子 三、涙のキヤラバン(西條八十作詞、杉山長谷夫作曲)四、君と僕(水上不二男作詞、杉山長谷夫作曲)德山璉 五、泣かせて頂戴(佐伯孝夫作詞三宅幹夫作曲)六、戀の彩法師(水上不二男作詞、塙六郎作曲)小林千代子 七、すすり泣き(西條八十作詞、松平信博作曲)四家文子

【〇・二〇】音樂娛樂時間(レコード演奏)(臺南のみ)

【〇・二〇】音樂娛樂時間(レコード演奏)(臺中のみ)

【〇・五〇】經濟市況に引續き、内臺定期船基隆入港時刻並接續列車時刻のお知らせ…鐵道部運輸課發表

【〇・四〇】全國氣象通報(東京)

【二・五〇】野球中繼(臺北のみ)北一中對北工業…臺北市圓山野球場より中繼

【五・〇〇】子供の時間(東京)合唱…JOAK唱歌隊、ピノア伴奏丹生健夫、指揮吉原規 一、海邊の眺望 二、潮音 三、ベニスの舟唄 四、門邊の小川 五、船路 六、川の面 七、舟遊 八、流水賦

【五・二〇】コドモの新聞(東京)

【五・二五】講演(名古屋)山岡鐵舟の少年時代を語る…富田賢彦

【五・五五】カレント・トピツクス(東京)

### 夜間の部

【六・〇〇】子供の時間(臺北)童話劇「別れの子守唄」(原作脚色大久保哲)おとぎくらぶ

#### 山の夕べ

【六・三〇】趣味講演、東京、大阪

山を語る 一、アルプスの山々(東京)槇有恒 二、山々の話(東京)冠松次郎 三、山の地圖について(東京)園部部 四、ロック・クライミング(大阪)藤木九三

【七・一〇】俚謠 各局より 一、(新潟)「山椒節」「米山甚句」二、(長野)「安曇節」三、(仙臺)唄「木挽唄」四、(金澤)「白山麓踊りの唄」五、(大阪)「炭焼き唄」をどり」六、(松江)「山陰地方の木挽唄」

【七・四〇】山の歌謠曲(東京)中野忠晴、合唱コロンビア・ナカノリズム・ボーイズ、伴奏コロンビア・ジャズ・バンド 一、小さい谷間 二、山・山・山 三、山は招く 四、山の人氣者

【七・五〇】物語(東京)マッターフオーン頂上(石川欣一譯)吉川道子

【八・三〇】時報(東京)

【八・三一】夏季の特別サービス(臺北)講談、宮本武藏其他 一龍齋貞山伯龍


絶對全責任付、不向返金品替自由

大産=大阪=市價の半値

●靴文數記入はがきで御注文下さい代金引替で直發す ●品質耐久絶對保證必ず市價の半値以下五萬足限り大景品付 ●送料は買主負擔 内地三十八錢、滿鮮六十七錢

定價一圓の萬年筆五萬本進呈

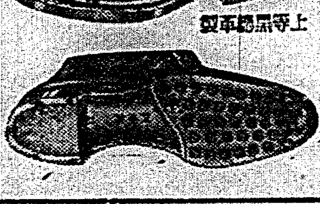
此ノ訓練靴ハ丈夫ナコトハ軍隊用靴モ同様ニテ製法等モ軍隊式ニテ原料ノ甲部ハ極上等ノ牛革デ底ハ極厚牛皮ニテ全鋲數十個ヲ打チ込ミ踵ト爪先ニハ踏鐵金具ヲ打チ込ミアレバ耐久力軍隊靴以上デアリマス

(堅牢無比)青年訓練總革靴

上等黒總革製

(耐久絶對)二ケ年以上

鬼三板底=總革學生靴



此ノ靴ハ本位耐久牛革底ニテ三手ネ位甲上等ニ革甲ハ一ハ牛革ノ丈夫ニ最新式ニテ甲モ尚ホ安イ價格デ耐久的ナリ十文ヨリ十二文迄同値

一足 三圓五十錢

鬼三枚短靴

一足 三圓五十錢

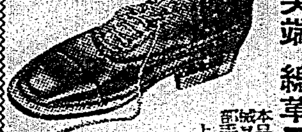
鬼三枚編上靴

一足 三圓九十錢

流行尖端 總革フレンチ型

本品ハ絶對二ケ年使用セズ全部手製ナリ 上等總皮底

フレンチ型編上靴 四圓二十錢



フレンチ型短靴 三圓七十錢

革靴大爆發的大景品付

靴一足に定價一圓の萬年筆一本宛進呈

(最新インキ吸入式、一ケ年以上使用し得る萬年筆)

高級紳士禮服用總革靴

極上等總牛皮底品質保險

高級職人ノ手製ニテ原料等ハ何レモ最良品ヲ特選セリ誂向ナレバ一足十圓以上ノ品十文ヨリ十一文半迄同値

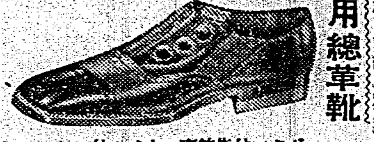
深型靴 五圓五十錢

最高級特ボツクス 總革白錦 ネームナルニ付

短型靴 四圓五十錢

高級品 百靴

甲革ハ最優等牛革ニテ底ハ極上等牛革本底ナリ高級職人ノ手縫ニテ誂ハ必ズ一足十圓以上ノ高級品ナリ



最高級 舶來品 高級 總革本底 白ネンリ ルネンム

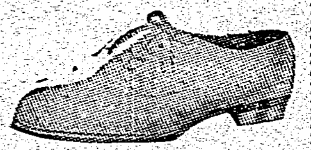
一足 四圓五十錢

一足 三圓二十錢

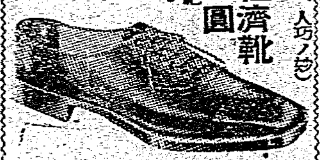
(化學ノ精華、人造ノ粋)

最新發明 晴雨經濟靴

一足 金二圓



晴雨經濟女學生靴



一足 一圓五十錢

革靴一足に萬年筆一本ヅツ進呈

名古屋市東區千種町古井坂電停前

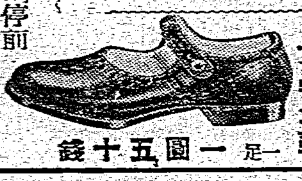
合資會社 金城商會・販賣部

電話東五一一四(振替名古屋一七六)



現代最モ進歩セル特殊免疫元

コクチゲン



特徴

京大鳥潟教授ガ同授發ノ世界的イムペヂン學說ニ基キ特許ノ方法ニヨリ創製セラル。效力優越、副作用皆無、皮下靜脈内注射兩用、有效期間ハ無期限ナルモ一ケ年ト假定ス百度ノ高熱ニモ變質セズ熱帯地方遠地輸送ニ最適トス。

製法專賣特許(京都帝國大學教授 醫學博士 鳥潟隆三先生創製)(煮沸免疫元)

コクチゲン種類

治療用 新發賣 下疳菌

結核菌 百日咳菌 淋菌 連鎖球菌 葡萄狀球菌 大腸菌 腸チフス菌 インフルエンサ菌 肺炎菌 肺炎インフルエンサ混合 パラチフスAB混合

豫防用 チフス混合 腸チフス コレラ菌 赤痢菌

治療用 アンプル(入瓦)一管十錢・二管十錢・二十錢・五十錢 豫防用 二十錢・五十錢

文献贈呈

發賣元 大阪市東區道修町二 福井七商店新藥部

製造所 大阪市住吉區阿部野橋筋 鳥潟免疫研究所



ウテナポマード

―さつと洗へば、さらりと落ちる―

香ひの眞價が

純良、高雅

ウテナの香ひのゆかしいいとしさを、しみ〴〵思ふ綠陰に憩ふ一時

×

ほのかに匂ふ山百合のその淸純な凉味を我も、ウテナの頭髮に誇る

純良植物性

三十錢 五十錢

東京・本郷 久保政吉商店



天下一品

萬

キッコーマン醤油

暑中休暇の健康増進法はキッコーマンで美味しくたべるところとすでとんう

宮内省御用達 野田醤油株式會社

# 最初の一と搖ぎで もろくも粉微塵！

## 一部落が全滅した後龍底

### 震災地を踏査して—松井記者

社命により余(松井記者)と有富撮影班員は十七日早朝自動車を驅つて震害激甚と云はれる新竹州竹南郡公司寮に向つた、途中新竹市に到るまでの縱貫道路沿線の田には勤勉な農夫がせつせと一期米の刈取りに夢中で、彼方の籠には水牛が三々伍々繋がれて居り何處にも震災らしい風景は見當らなかつたが新竹市を過ぎ頭分庄附近にさしかかると道路には幅一寸乃至一寸五分位の龜裂が路面一帶に蜘蛛の巣狀の紋樣を描いて居り

**道行く** 人達の面にも思ひなしか不安が漂つて居るやうであつた、後龍庄に入ると此前の地震で殘つた家屋は根こそぎ倒壞し土臭い惡臭が村全體を包んで居る後龍を右に見て愈々目的の公司寮に向ふ途中の崖が二三ケ所物凄く崩れて居り、間も無く公司寮字後龍底に着いた、全滅の村後龍底は苗栗街道を挾んで左右にならんだ戸數七十戸ばかりの一寒村で全村土角の壁と竹の屋根の家ばかりそれが此前の地震で不思議に倒壞せず附近の後龍、白沙屯部落等の災害を他處に此村ばかりは神の恩寵に感謝して居た所、今度の地震で殘らずやられ、おまけに此前の地震で家屋に罅がはいつて居るのを簡單な修繕ですませて居たためグラつと來た瞬間土角の家屋は粉微塵となり棟木は地に著く有樣で自然死傷者が多數に上つた

**模樣で** ある、既報一家に九人の死者を出した保正黄英君の家では主人の黄君が胸部をうたれて呻吟して居る側には子供や孫の死骸が蓆に包まれてよこたはつて居り、死骸を取まいて遺族がアイヨ〳〵と號泣して居る樣はそぞろに涙を催さしめた、黄英君の弟の話によると、最初南北の水平動に次いで猛烈な上下動がやつて來たと思つた時はもう既に家は倒れて居たさうで、人體に感じた震動は此前の地震よりも一層ひどかつたさうである

## 新竹州下の被害家屋 一千九百戸に達す

### 死傷者二百二十八名

【新竹電話】十七日午後七時迄に判明せる新竹州下被害左の通り

| | 新竹署 | 竹東郡 | 竹南郡 | 苗栗郡 | 大湖郡 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 死 | — | — | 三二 | 一二 | — | 四四 |
| 重傷 | — | — | 三九(内一名死亡) | 三三(内二名死亡) | — | 七二(内三名死亡) |
| 輕傷 | — | — | 五〇 | 六二 | — | 一一二 |
| 住家全壞 | — | — | 一九七 | 一七二 | 七 | 三七六 |
| 同半壞 | — | 一 | 三〇九 | 一八一 | 一 | 四九二 |
| 同大破 | 一 | — | 三七四 | 三一二 | 六 | 六九三 |
| 同小破 | 二 | 一〇 | 一七九 | 二三〇 | — | 四二一 |

尚道路其他の被害狀況は州土木課の野土技師實地調査の結果午後三時迄判明せるもの左の如し

一、縱貫道路後龍溪文湖後龍間橋梁破損四ケ所

二、苗栗公司寮間山崩れの爲め徐行を要する箇所二ケ所

三、公司寮靜道橋梁破損二ケ所、撰崩れ二ケ所

四、苗栗大湖間桂竹林より郡境に至る福興庄第十一號隧道附近土砂崩潰四ケ所、延長二十五間、復舊四日間を要す

## 再度の震災に 兩陛下御軫念

### 中川總督の報告に基き きのふ電話で奏上

【東京十七日發】上京中の中川總督は十七日午後二時三十分宮内省に出頭、大谷次官と會見、今回新竹州下を再度襲つた大地震の被害狀況を公電に基き詳細に報告したが、宮内省では拓務省よりの公電をも綜合して即日電話を以つて葉山御用邸に御滯留中の天皇皇后兩陛下に御奏上の手續きを執つた、兩陛下におかせられては再度に亘る同地方の震災に深く御軫念あらせられたる由にて被害狀況の如何に就ては御下問あらせられるやに洩れ承はる

## 破損箇所復舊し 列車は全部開通

十七日早曉の強震に依り竹南—苗栗間の鐵道不通となつてゐたが鐵道部では直に復舊に著手し極力工事を急いだ結果同日午後三時二十七分苗栗驛發の上り列車より開通を見るに至つた、これで今回の地震に於ける鐵道故障は全部復舊した譯である

## 平塚長官 災害地を視察 今朝南下し

平塚總務長官は新竹州下の震災被害視察のため十八日午前十時五十二分臺北驛發左の如く[illegible]の豫定で出張する

(汽車)午後一時四分新竹驛着、同一時三〇分新竹州廳發(自動車)同二時三〇分後龍庄後龍底着、同三時苗栗街發、同三時三〇分苗栗郡役所着、同四時同發、同五時新竹州廳着、同五時三〇分新竹驛發(汽車)、同七時四〇分臺北驛着

## 王野社會課長も急行

十七日拂曉の新竹州下の震災に對して總督府よりは先づ森田警務部長が同地へ急行したが、續いて王野社會課長も罹災者の救護打合せの爲め午後二時臺北發自動車にて震災地へ急行した

## 總督、公報を一々點檢

### 出張所に詰めて

【東京十七日發】臺灣大地震の報に接した上京中の中川臺灣總督は十七日早朝から總督府出張所にはせつけ次ぎ〳〵に來る公報を一々點檢しては溜息をついてゐる、出張所には早朝來吉田臺灣銀行頭取、堀臺灣製糖會社社長並に安田近海郵船會社專務等の顏觸れが見舞ひに集つて「やあ、どうもとんだことで…」と挨拶の後は唯口をつぐむばかりであつた

## 大きな餘震がありさうだつた

### 那須博士が餘震調査に行かう

【東京十七日發】十七日朝の臺灣の地震に關し去る四月の大地震後渡臺して實地踏査を行つた東大地震研究所の高橋龍太郎助教授は「まだ報告を受けてゐないし新聞電報だけではよく判らないが、去る四月二十一日の地震の餘震の大きい奴だらうと思ふ、大體大地震のあつた後は大小樣々な餘震があつて漸次消滅するのが定石である、四月二十一日の時の震源地は大安附近だつたが、それより卅キロ北と言ふから苗栗附近で、此處は位置から言つても相當大きな餘震がありさうな所だつた、四月に踏查した時には大安から沙鹿へかけてと二つの斷層があり、苗栗の方の斷層は今度の餘震で多少へ延びたかも知れない、四月の調查を完全に行つて居れば恐らく今度の餘震は捕へることが出來たと思ふが、經費や人手の關係で間に合はなかつたのは殘念だ、何れ近い内に研究所の那須信治博士が餘震調查に行くことになら

## 各地の地震

**臺南**【臺南電話】十六日後の地震に關し臺南測候所では次の如く發表した

發震時 午前零時十九分

初期微動繼續時間 二十六秒

震央 臺南の北方百七十粁

**彰化**【彰化電話】十七日午前の地震は彰化地方にも相當の強震を感じ、就寢中の市民はまどかな夢を破られ何れも悲鳴を擧げ戸外に飛出して一時大騒ぎであつた、彰化署及び郡役所では直に警員を非常召集を行ひ夫々管內の被害調查を行つたが幸ひ何等の被害もなかつた、一部本島人間では又例の迷信による種々のデマが飛び交んで居るやうである

## 內臺準備飛行は 片道が十時間位か

### 十月七、八日頃フオツカー機が 臺北に飛來の豫定

【東京廿七日發】國內定期航空路の一部延長であり且國際航空路の一部をなす福岡、臺北間千六百キロの定期航空路開設計畫に就ては福岡、臺北兩飛行場の施設整備、航空標識並にラヂオビーコン施設等着々と準備が進められ來年一月からは遞信省、臺灣總督府の各豫算合計卅六萬圓の補助の下にダグラス大型旅客機を一週一往復に依り一週三往復の豫定となつて居るが之が準備の第一着として遞信省の指導の下に定期就航に對し準備飛行を實施する豫定であり目下日本航空輸送會社の手で準備中であるが、賃金、ダイヤ、飛行方法等の具體的事項に就ては未だ確定するに至つてゐないが大體十月七、八日頃の天候良好の日より十月中旬の間に福岡一臺北間を一日の間でフオツカー三發機で一往復(片道所要時間十時間)の豫定である、賃金は[illegible]

## 米國水上軍 日本に向ふ

### エ大野球團も同道

【ブエノスアイレス十六日發同盟】[illegible]

## ソ聯人二名 滿洲へ潛入

### 捕へたらソ聯側が 逆捻的に抗議提出

【新京十七日發】去る六月十八日東部國境ポグラニチナヤ驛において或重大目的を以て滿洲國領に潛入し來れるソ聯人二名を滿洲國警察隊が逮捕し、嚴重なる訊問をなした所、右はウスリー鐵道廳ポグラニチナヤ驛副長イエリン、ノビヤロスラウエツの二名にて、この兩名はソ聯本國の秘密使命を受け我日國ポグラニチナヤ驛附近滿洲國國境に侵入し、夜陰に乘じ逃走中の滿洲國警察官を殺害して警部補を拉致し去つた事實を目的とした、然るにハルビン・ソ聯總領事スラウツキー氏は外交部特派員關根本氏を通じ右二名の身柄引渡を要求すると共に逆襲的に抗議を提出し來つた、關東軍及び外交部ではソ聯の陰謀に對し極度に憤慨し本事件の解決に最も強硬なる態度と決意を取ることになつた尙拉致された滿洲國警察部補に未だ消息不明である

## 若者が毒藥で自殺を企つ

臺北州新莊郡鶯歌街竹林三二四番地氏代楠夫(二八)は十七日午前十時頃カルモチンを多量に嚥下して自殺を計り吉岡市を發見されたが原因は本年四月頃上級學校の入學試一昨日本遠征の途に上つた[illegible]ル大野球團も同船で日本に向つた

## 伊航空母艦出征

### 空軍二箇中隊を搭載

【ローマ十六日發同盟】東部の戰線卽ちイタリー國境に近き[illegible]伊太利[illegible]に十六日アテネ[illegible]は空軍二箇中隊を搭載、外に水上[illegible]を搭載してゐるが、マサワ軍部隊を輸送する豫定である

## 南方館出演の 京劇請負者決る

### 期待される各種の催し

南方館を特色づけるべく助成會から四千五百圓の補助金を出して招聘する事となつた支那京劇の一手請負をめぐり七月十五日迄の申込〆切り期日迄に劉金鑾、劉鼎基、林新丁、楊文論の四氏が出願したので助成會餘興部では右金を明するため十七日午後一時より委員會を開催した、商業會議の三方面より檢討の結果支那一流の京劇を招聘して來る事を前提として劉金鑾氏に請負はしめる事に決定した、尙京劇の上演期間は三十日、黎姐レヴュー團は七月、女給オンパレードは七月間南方館その他は六月間計五十日間の博覽會期間を通して餘興部としての最適の努力を盡す他藝妲、女給、ダンサー三業聯合の人氣投票、獅舞、ペエリヨンツン(龍船式ボートレース)を擧行全島の人氣を淡水河一帶に集中する筈である

## 比島からは 邦商が出品

### 手筈とゝのふ

マニラに於ける木村總領事から平塚臺灣博覽會會長に宛てた通信によると比律賓としての臺灣博南方館への出品豫想は左の如くである

比島政廳としては種々の事情により臺灣博參加は不可能であり、在留邦人の商工團體としても特設館を出品することは困難である、そこで三井物產、三菱商事、太田興業、古川拓殖、大阪貿易、比律賓木材、日本バザー等が打つて一丸となり「在比島邦人商社合同出品」の名のもとに木材(見本及び寫眞)麻、煙草(葉タバコ、シガー、シガレット)椰子、コプラ、同製品、アルマシガー、眞珠貝、高瀨貝、カポツク、ブンタル、比島產米、玉蜀黍、砂糖、カツチ、マゲー、ゴム等の比島物產を出品する手筈を進めて居り、之等の品物は八月一日マニラ發のシカゴ丸で發送する豫定である。

尙ボルネオのタワオに於ける日本人會からはゴム、椰子その他の邦人企業に關する出品をなす筈で、臺灣としても日產ゴム株式會社に對し極力出品勸誘方につき折衝中である　又南方館の用務を帶びて南洋各地へ出張中の西村山林課長よりの來信によれば馬來半島方面からも數百點以上の出品を得る見込みであると

## 震災地より

1 一家五名の死者を出した劉穩順の家、2 同じく九名の死者があつた黄英保正家の慘狀、3 死體收容所、4 急造の後龍派出所診療所

本社有富寫眞班員撮影

## 北部豫選始まる

全國中等學校優勝野球大會臺灣地方第一次北部豫選は十七日より臺北市圓山球場に於て開催された、出場は臺北一中、臺北工業、臺北商業、臺北二師の四校午前十一時三十分商業、工業、一中、二師の順序にダイヤモンドを一周してメーンスタンド前に整列、國旗掲揚、湘水豫選會委員長の挨拶があつて十一時十六分豫選會の幕は臺北一中對臺北二師の試合に依つて切つておとされた

## 一中勝つ

### 十四A對十三で二師に

開幕試合たる北一中對北二師の試合は午後零時十六分小椋、球、國友、才木、山木(壘)の四氏審判のもとに北二師の先攻で開始

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一中 | 1 | 2 | 6 | 3 | 2 | 0 | 0 | A | | 14A |
| 二師(先) | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 7 | 1 | 2 | | 13 |

一中は一回に二師は二回に共に一死滿塁の好機を得て一點、三回表二師は二死後武田四球、宮川の三塁打、投手暴投で二點、一中は山本、菊地、宮崎の單打に住吉の四球で二點、四點となつたが四回裏一中は二安打一野選五遺失で一挙六點、五回更に坂本、三浦、宮崎の安打で二點、六回にも一點を加へて六回迄に計十四點を入れ十四對三と引はなしたが七回に入り二師は武田、青山、曾根の三つの三塁打を始め白石稲村(二本)の單打計六安打を集中して七點を入れ八回又も青山の三塁打で一點を返して十四對十一と迫り九回無死稲村の投前で三塁に走つてアウトとなつたが白石三塁前に內野安打して走者一、二塁の時三屋の二飛は一塁暴投となつて內山一塁還りなほ走者二、三塁となり白石三塁に還した三屋は武田の二塁內野安打で生還その差一點に迫つたが強打者宮川三振して十四對十三のスコアーで一中勝つ

一中　下本本永西吉池崎　中

松坂山氏三住菊宮島田

[illegible]

二師　石岡田川山邊稲村口山

[illegible]

試合終了午後二時二分試合時間二時間四十六分

三塁打 宮川、武田、曾根、青山二

二塁打 島

ボーク 稲村一

暴投 稲村一

逸球 田邊二

## 商業勝つ

### 四A對三で工業に

臺北商業對臺北工業の試合は引つづいて午後三時三十九分から飯島(球)山口、井野邊、山木(壘)の四氏審判のもとに工業の先攻で開始

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 商業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | A | 4A |
| 工業(先) | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |

工業淺原、商業三宅兩投手の相讓らざる好投は息詰る如き投手戰となつて零對零のまま五回を終つて六回工業茅野二塁右を拔いて二盜、淺原四球で二走者となれば吉岡バントで走者を進め一死走者三二塁、岩崎遊前は間一髮三塁走者茅野の生還となり〇—〇の均衡は始めてやぶられ岩崎二盜、國四球で一死滿塁、高來遊飛失で淺原生還、高島左飛で二死となつたが野村四球で岩崎押出されて計三點を先取した、その裏工業淺原投手は三つの四球をつづけて右翼に退き茅野にリレーしたが柴田の二飛で長坂還り商業一點を報ゆ、七回裏茅野二つの四球をつづけて一死二走者を出し再びプレートを淺原にゆづつて淺原の第一球、三好三塁打を放いて吉江生還、淺原二塁を占め三好も二塁に還り[illegible]淺原〇—一[illegible]して[illegible]長坂四球二盜の後兒丸三振して二死、林四球で滿塁となつたが柴田三振、八、九回工業にチャンスなく商業は九回一死二走者の好機を逸して試合は延長戰に入つた、十回工業は商業の二塁後本の再度の失投に助まれて無點なく商業一死三二塁に走者を置きながら走者の拙に得點なく、十一回工業一死後龍野中越二塁打を飛ばして出れば茅野四球に救援され次打者淺原〇—一後第二球沒くはづれた山なりのウエストボールをスクイズに出で一塁線上小飛球となれば三宅よく追ひついてつかみ龍野を併殺代つて商業攻撃に入り松本先づ四球を利して出で淺原の三塁前バントは一塁低投となつて走者二、三塁にある時、次打者二好高目の直球を一撃すれば中堅手右を抜いて棚に達する殊勳の三塁打となり松本二塁より歸陣生還決勝の一點を上げ午後六時三十三分閉戰

商　吉長兒林柴三吉松本坂丸　田宅江本

[illegible]

工　村野野原岡崎擬　來平島膜

[illegible]

試合時間 二時間五十四分

三塁打 龍野、三好

暴投 淺原

併殺 三宅—松本、茅野小平—吉岡

## 十八日の試合

正午　商業—二師

三時　一中—工業

## 中部野球 嘉農軍大勝す

【嘉義電話】中等野球中部豫選第二日嘉農對嘉中戰は十七日午後二時から木內(球)村上、大場、陳(壘)の四氏審判の下に嘉農先攻にて開始嘉農は無人の境を行くが如く十七點をあげ之に對し嘉中無安打無得點のワンサイドゲームに終つた

バッテリー

嘉中　芳賀、勝田、盆田

嘉農　東、吳、今久留主

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 嘉中 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 嘉農(先) | 2 | 1 | 0 | 0 | 6 | 1 | 7 | 0 | 17 |

## 臺北高商勝つ

【福岡十七日發本社特電】全國高專野球西部豫選大會第一日臺北高商對福岡縣下の覇者九州醫專の第一次戰は十七日午後四時から福岡市香椎球場に於て開始されたが臺北高商は井上の好投とバツクの好守に加へて好打を振ひ六A對五で九州醫專を擊破した、明十九日の第二次戰では大分高商と對戰することとなつた、臺北

## 長江の水害狀況

臺南メエペーは左の如くである

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 口 | 路 | 江 | 岡 | 田 | 上 | 村 | 田 | 園 |
| 川 | 中 | 蛇 | 堵 | 積 | 井 | 西 | 藤 | 本 |
| 3 | 9 | 8 | 6 | 7 | 1 | 5 | 2 | 4 |

【漢口十七日發同盟】漢口海務局調査に依る十五日現在長江地水害狀況左の如し

△漢口市 浸水家屋一萬九千二百七十五戸、罹災者十萬六千五百一名、溺死者二十二名

△武昌及漢陽 浸水家屋一萬八千八十七戸、罹災者十萬三千二百十六名、溺死者二十餘名

## 愛人の指環を 強奪し捕はる

【基隆電話】基隆郡瑞芳庄焿子寮番地不詳遊人陳安(假名)は同地賣藝の姑娘阿卿(假名)とかねて關係があつたが最近男がルンペンになつた爲め阿卿は他へ嫁入りする事になつた、此の由を聞き込んだ男は十六日午前十時頃女を引張り出し嫁れるのなら手切金を出せと強要し女の指に嵌めてゐたエンゲージリング一匁二分價格十四圓を強奪して逃走した、訴へに依り山野部法主任は非常線を張り搜查の結果同夜十時頃金瓜石にて發見逮捕した

## 臨海教育視察

臺北市では七月十日から基隆、淡水の二ケ所に於て小公學校兒童の臨海教育を行つてゐるが樂園助役は十八日午前十時から基隆にかけ臨海教育狀況を視察する

## 海上警報

(午後六時十五分發表)

七百四十二耗の颱風は北緯十八度東經百二十六度卽ちガランビの南東百五十キロの海上にあり北西に進み次第に發達する見込み、この颱風のために本日は本島の南部及び東部の海上は次第に波浪が高まる見込みですから同方面の漁船は警戒を要します

## ふるさとの天氣

△臺北地方　東の和風晴後曇

△北部地方　東の和風晴後曇

△昨日の最高氣溫　九四度五分(午後二時)

(臺北觀測所發表)

特別廣告

內科花柳病　本町一丁目中部通前電話六貳七番　山本醫院

嵐寛壽郎の神技 トーキー オール 七化け大名 右門捕物帖　特別興行 第二芳乃館

京都府防犯聯合募集 サンデー毎日連載 オール讀物 大阪ラヂオ 民衆の太陽 森靜子 田中春男主演 小金井勝 花房錦子 主演 陽炎 芳乃館

松竹映畫 皆樣御期待の 松竹無敵の二大傑作 女の感情 くらやみの丑松 第二世界館

# 新竹州下大地震續報

## 黃保正一家死失九名

### 多在軒下就眠被其壓死

既報新竹州下十七日午前零時二十分。突發强震。竹南郡後龍庄公司寮。死者十九名。後龍庄保正黃英氏。同土角住家全壞。一家十名。除氏本人而外。餘盡被壓死。又同庄自四月以來。對地震危險住家强命其折去。並禁一般居住屋內。故多就寢于軒下土角壁崩落時。有一家三名全滅者云。

### 不聽當局慫慂 致多死傷

今回震災地。以後龍溪流域爲中心。然依去四月中地震體驗。故一般殆無搖動。官廳及罹災民。皆見有統制行動。殊如前番地震。警察當局。視爲危險家屋。雖慫其折去。有不肯者。致今回地震。生出多數之死傷者。爲是州保安課。今後對是等危險住家。欲强制其折去之也。

### 柔道四段巡查 被壓重傷

苗栗郡警察課小野原茂巡查。柔道四段猛者。二月前。由新竹轉勤來栗。因宿舍不足關係。暫住于本島人土角家屋。十七日地震。擧其妻逃走。一刹那間。被土角所傷。小野巡查。脊髓骨折斷。其妻兩手。亦負輕傷云。

## 後龍底村落七十戶

### 殆見潰滅壓死十九名 頭分鄧醫師忙于治療

竹南郡後龍庄字後龍底。去十七日地震。全部落七十戶。殆見潰滅。壓死者十九名。負傷者四十名。稱全被害中之最大者。該地劉温順氏一家。其長男妻女四名。亦被土角壓死。而頭分庄開業醫鄧秀信氏。聞報即馳往現場。治療負傷者。兩後龍庄下。前番地震。被害甚少。庄民非常喜悅。忙于修補家屋。乃綢繆未成。而慘禍橫生。聞者傷之。

## 縱貫鐵道被害 多見沈下

縱貫鐵道山線北勢。苗栗間後龍溪橋。梁第七橋脚。亦見龜裂。列車不能往來竹南、苗栗間線路六處。延長一粁五百米。沈下約三十糎。爲是車。不能運轉。又海岸線方面。一、公司寮後龍間線路沈下六糎。一、大山脚淡水湖間第一苦苓脚溪南岸。及第二苦苓脚滸前後線沈下。外三處亦見沈下。右之被害。一時列車雖見不通。然至同日午前四時四十五分。經告開通云。

## 死者卅四 重輕傷百餘名

新竹州下被害情況。至十七日午前十一時判明如左

| | 竹南郡 | 苗栗郡 | 大湖郡 | 新竹郡 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 死者 | 三二 | 一二 | 〇 | 〇 | 四四 |
| 重傷者 | 三七 | 二八 | 〇 | 〇 | 六五 |
| 輕傷者 | 四一 | 五一 | 〇 | 〇 | 九二 |
| 全壞住家 | 五六 | 九七 | 七 | 〇 | 一六〇 |
| 同半壞 | 七六 | 三九 | 一 | 〇 | 一一六 |
| 同大破損 | 三八 | 九七 | 六 | 一 | 一四二 |

## 以內臺電話 報告總督

關于新竹州下震災。警務局。將由新竹州警務部所報告。逐次打電。與在京中之中川總督。荻原拓務管理局長。午前十時半。更由森田警務課長。以內臺電話。向總督報告八時半現在之被害狀況。及公司寮爲中心。主要災害地之應急救護狀況等云。

## 派特派員 向公司寮

本社。接到十七日未明。新竹州下强震。人畜死傷多數之報。同早急派松井特派員。與有富寫眞班員往同州下。以是。兩特派員。由臺北乘自動車出發。向震災最甚之竹南郡公司寮方面云。

## 森田警務課長 向震災地

總督府森田警務課長。十七日午後一時。乘自動車向苗栗。竹南兩郡下。視察第一地震災害情況云。

## 大湖被害

十七日地震。電信電話不通。新竹州大湖地方。至同日午前十時。通信線復舊。至午前十一時。州保安。接到被害情況。住家全壞七。同半壞一。大破六。人畜無死傷云。

## 岩石崩落

大湖。苗栗間第一第二隧道間一處出礦坑鐵線橋附近二處道路。有大岩崩落。大湖間自動車。交通不能。

## 各地々震

基隆 基隆地方。十七日午前零時二十分。有感動身體之地震。時計中止。

澎湖 澎湖島。十七日午前零時十九分。有相當弱震

## 應急救護敏速

### 現在復興豫算 一部充此番救護費

對于公司寮爲中心之震災地應急救護。因往日災害之時。警察其他準備十分萬般便利。災害地之救助異常敏速。被害小部分地方。警察官。保正等。充爲救護。災害雖甚大。然因往日震災。在復興途上故別不爲追加豫算。適宜施設在之復興豫算。將現在未到之往日震災義捐金滿洲國。內地一部。府縣分約十萬圓。欲充爲此番震災救護費之一部云。

## 內海知事 急遽歸任

內海新竹州知事。爲震災復興委員出府中。一聞十七日地震。急搭午前六時臺北發列車。於同八時歸任地云。

## 基隆珊瑚市 第一日羅出

既報基隆珊瑚市第一日。羅出額。達一萬四千餘圓。然尙未集計。大體小物價格較佳。外國需要之一、二大。價格不良。又被除名之仲買人三名。披瀝誠意。嘆願不若。然欲俟至實資圓滑。及無故障時。乃使之和舊云。

## 英國海運積極活動

### 阻碍我社外船活動 求外務省救濟

東京十七日電。英國皇后陛下親臨、麥利號工事再著手。最近英國海運。積極活動頗著。朝野共爭海運霸權之確立。而破棄國八百年之傳統。來自由主義政策。採補助金制度。更擬妨害從來自國植民地與本國間之貿易。或植民地之貨物。載諸他國船舶。逡巡濠洲英國間之小麥。新嘉坡對中華沿岸之石炭。如我社外船。屢遭廣東之沿岸貿易封鎖。或爲自國貨物。自國船主義採用之犧牲。鬪事頻頻。活動不靈。於是山下汽船外社外船主將諸事情。訴外務省。以求救濟。唯自通商擁護。及國際貸借之見地。當局態度、有堪注目云。

## 餘震大矣

### 高橋助教授談

東京十七日電。十七日朝臺灣地震所關。據去四月大地震直後渡臺查勘。如東大地震研究所高橋龍太郎助教授。有語如左。未接報告。只新聞電報不甚詳悉。思係去四月二十一日地震之餘震之大者。大體大地震後。有大小餘震。漸次消滅一定不易之理。四月二十一日當時之震源地。在大安附近。自是離三十基羅之北方。苗栗附近。餘震相當大。四月調查之時。自大安至苗栗附近有二斷層。苗栗之斷層。爲此次之餘震。多少北進。亦未可知。四月調查。如得完璧。可知此次之餘震。奈爲經費及人員有未濟事何。近日研究所那須信治博士。或往查餘震矣云々。

## 臺北州來年度土木

### 忙于計畫新規事業 小南澳護岸飛行場道路等

臺北州土木課。昭和十一年度新規事業計畫。現由係員調查中事業。即宜蘭濁水溪支流。小南澳岸延長。及補修。並自臺北市圓山道路至七星郡內湖庄所謂透飛行場道路擴大等。其內容如左。前者小南澳護岸。由昭和四年度。內務局興工之宜蘭濁水溪治水工事。不久可得竣功。故現在小南澳堤防。亦甚脆弱。一朝洪水。該地方必陷于危險。故十年度豫算。要築造左岸堤防。尙難期安全。爲是十一年度。計畫再延長千米。並右岸堤防約四千米。再加補强工事。以上所要工費。約十三萬圓。又後者飛行場道路擴大。乃工事中之內湖庄港墘附近基隆河架橋。不久竣功。故來年度豫算五萬圓。將由市內宮前町馬偕醫院邊透內湖庄擬築道路。擴大幅員二倍(十米)。得以廣自動車往來于飛行場。且內湖庄民。欲到臺北市。亦得便利云。

## 烏山受賄案

### 上告開廷 判決來廿四日

臺中州警部烏山多門。年三十七。利用其地位。于珈琲館。料理屋之營業許可。收賄金品。橫領公金。爲警察界之不祥事。關此上告審。十七日午前九時。在高等法院第二法廷。由竹內裁判長係。伊藤檢察官與。山下。田中兩辯護士立會之下開廷。伊藤檢察官。以爲懲役一年。四年間執行猶豫。過于輕刑。提出上告趣意書。而山下。田中兩辯護士。提出答辯書。開廷僅五分間告畢。按來二十四日判決云。

## 朴子街懸案水道

### 敷設略完來月給水 工費投下二十萬餘圓

臺南州東石郡朴子街多年懸案水道敷設。經郡街當局努力。並督府及州當局絕大援助。自昭和八年十二月興工。投下二十萬餘圓巨費。近且竣工。待督府衞生課水質檢查後。豫定八月一日開始給水。該地從來飲料水。使用井水。兩多含鹽分。且有碍衞生。兼之旱天時。井水屢見枯渴。時常乏水。者番水道創成。街民歡聲相應。水道之水源。朴子溪畔取。架設高三十五米給水塔。用喞筒汲上。水質良好。現申入給水者。三百餘戶。水道使用種別。一、專用給水一箇月一圓五十錢。二、共同使用限至三戶限一箇月二圓十錢。三、計量給水每月限百十石一圓八十錢。

## 新教育總監

### 歸京訪陸相 爲傳職記

東京十七日電。新教育總監渡邊錠太郎大將。十七日午前八時。到東京驛歸京。直之陸相官邸。受林陸相。傳達職記。後就部內情勢。種々意見交換。協議今後部內統制方針。共援今回教育總監交迭。如或志起部內不統制之事斷然排擊。八時半辭去云。

## 外交官任用

### 改正原案 樞府會議可決

東京十七日電。樞密院本會議。十七日午前十時開會。村上書記官長。就豫先檢查結果。報告如左。一、外交官及領事官官制中改正之件。一、明治二十九年勅令第百八十二號通譯官。任用爲外交官。或領事官改正之件。一、朝鮮總督府官制中改正之件。一、關東局官制中改正之件。右原案可決。同十時三十分散會云。

## 林陸相與眞崎大將

### 分派抗爭烈矣 陸相決意徹底斷行

東京十七日電。林陸相一大決斷。强化部內統制。罷眞崎教育總監。陸軍部內大爲活動。然部內外。頗有好評。又該大將一派將來有何策動。亦未可知。當此之時。部內統制强化之目的。必欲貫徹。總之決定斷然處分。林陸相。熟慮斷行。或此機會全面發揮。然陸相此英斷處分眞崎大將一派。甚爲憤激。面目。閣此際有甚現役意有切望留者。似未決意。林陸相與眞崎大將派。抗爭或烈。林陸相則謀徹底行之。橋本次官。今井人事局長。亦有援之貫徹目的之意氣。而共鳴者亦多。縱有多少動搖。陸相斷然排難而行云。

## 關東軍對外蒙

### 嚴重抗議 再不誠有決意

新京十七日電。貝拉斯典昂問題。關東軍。外蒙正式回答。極不誠意。關東軍。亦重視之。與滿洲國外交部。決定一兩日中。另行嚴重抗議。外蒙再出不誠意態度。或相當決意臨之云

## 日本不干涉

### 駐意杉村大使 明告繆首相

羅馬十六日電。意國繆首相。對神祕國戰備充實。促進一切手段。連日會駐意列國大公使。專阻反伊傾向。十六日。與法國大使。長時交換意見。而確商務。招杉村日本大使。說明近東神國關係情勢。兩國歷史關係。及意國自身。必要進出其國。決照路既定方針邁進。確聞意國政府方面。杉村大使。照本國政府訓令。現在仍正式言明如左。一、日本與神祕國。無政治的關係。一部流言無根。一、日本以保障東亞平和貢獻世界平和爲念。今日意祕紛爭。現在信以靜觀是矣。

## 臺灣合同鳳梨會社

### 補償金問題內訌 員林泰益與會社對抗

臺灣合同鳳梨株式會社。對島內各鳳梨工場買收補償金。概於六月下旬支完。唯對員林街泰益工場主李諒氏。不照約支給。而李諒氏有相當債權者多向新會社聲明當收支。會社態債權者要求。李氏屢對會社交涉。皆被其所拒。不得已自去十五日。再開始鳳梨罐詰製造。與新會社競爭買收原料。新會社聞及此事。頗形周章。去十六日。由高雄本社。特派稻本工務課長到員林。與泰益工場種種交涉。竝提出和解案。云欲照約的與給補償金。聞泰益。尙未應其要求。仍然製造。問將如何解決。頗惹一般注目也。

## 臺東廳下棉花作

### 鐘紡實查後益深自信 此後將積極的獎勵之

鐘紡營業主任上柳氏。爲視察臺東廳下棉花栽培狀況。日前來臺。由廳後藤技師嚮導。前往東部農事試驗場試作地、及新港沿線棉作地。詳細調查各處。與廳當局種々協議。然現在已脫試驗期。而入實行期。該廳下棉作。由同氏之來臺。大受刺戟。將來益視爲有望。故當局亦將積極獎勵。關此據鐘紡營業係所談如左。世界棉產額。現在約二千五百萬俵(一俵四百至三百磅)。北美合衆國。生產約四成。次印度一成。其他埃及。南美。智利。亞爾然丁。其他等。而我國每年消費原料。三百萬俵三百五十萬俵。而其輸入。由美國及印度。各百五十萬俵。其他由埃及購入五十萬俵。一面我領土內生產額。僅朝鮮四萬俵。其中二百俵。消費于紡績棉花品質。現用原料棉中之最多者。爲海島棉。該品種得以紡出至二百番手。此種現于北美合衆國扶羅利拉州海岸地帶。有出產極少量。埃及棉類似海島棉。主產于埃及地方。普通紡出六十番手以上之高級品。美棉普通四十番手需要最巨。印度棉在二十番手以下。價格較廉。本廳下于四五年前。由宮本勝氏試作之品種。初由高雄船員之手。僅得四五粒試作。故于品種全不明。及漸次栽培後。竟有適合于廳下氣候風土。而品質又向上。昨年請鐘紡鑑定。以爲類似埃及棉中最優良之沙濮拉種。可以紡出百番手。而此次上柳氏實地調查結果。以廳下之氣候風土。酷似海島棉主產地之北美扶羅利拉州。由于東部農事試驗場試作者同地方取來綠受島蘭種。與原產地所產棉花略同。即海島棉及類似之埃及棉。得以完全產出。據上柳氏所談。日本需要最高級之海島棉甚殷。且價格高貴。若以廳下之地理的。其他特殊而言。以現在品種。俗稱臺東沙溪拉。爲獎勵品種。則可紡出八十番手。而價比美棉。百斤獎上二十圓左右。昨年中臺東鐘紡買賣之廳產棉市價。百斤平均七十九圓程度。故認本品種爲最合宜。本年試作。不過二十甲。而將來適作地有約三千甲。每甲收量五百斤。則生產百五十萬斤。價額百二十萬圓。要由今後之指導。誠有十分有望之產業。又廳下事情。排除急進主義。而採漸進主義。欲以堅實而進。然產業之成否。要在買實得以完全爲緊要。鐘紡爲國產獎勵見地。自昨年來。不吝犧牲。又與上柳氏。經其厚意。殊感謝。種々接洽結果。至產出一定量。以後鐘紡引受直接買賣。將爲十分援助。已得諒解。爲是廳及農會。亦計畫與黎獎勵。現在廳下生產棉。于綠綿之際。嚴密選別上中下爲最必要。對此若干收穫期。十分致意。且勿失時期。則其品種。當無不可者。自是益有自信也云々。

## 臺南州 黃麻獎勵

### 收納庫來月成

臺南州。對州下特作物之黃麻。業經大規模獎勵。栽培面積。多至六千甲。自播種以來。晴雨順調。而州農會。投下工費六萬圓。于州下建築二十處之黃麻收納庫。豫定于八月下旬完成。至如昨年之措手不及。一

## 南方館餘興委員會

### 決定京班招聘者 及花選弄獅扒龍船種々

臺灣博南方館餘興部。去十七日午後一時。在奈商公會。開委員會。出席者陳餘興部長外十六名。首就京班招聘中人者四名。愼重審議結果。由信望、資力上。決定正米市場取引員劉金聲氏。(歡迎一般出資參加)。次就餘興日期。內定如左。

京班 三十日間
藝妲舞踊 七日間
女給舞踊 七日間
臺灣新劇 三日間
其他 三日間

並決議于會期中。主催北理花選(藝妓、女給、跳舞女在內)。弄獅。扒龍船其他種々云。

## 員林街長

### 有勇退風說

員林街長張清華氏。自大正九年初次地方制度改正則任街長至今十六年。於員林街政。有相當努力。氏乘二次制度改正。意欲告退。當局亦擬許其勇辭。近將昇進。委任待遇。其後援現助役吉滿發勝氏。而助役則風傳爲庶務主任張芳蘭云。

## 臺中州柑橘仲買組合

### 與生產組合尙難協調 爲補償金双方主張相去尙遠

臺中州柑橘同業組合。欲圖仲買人組合員。與生產者組合員間協調融和。自去二月十五日。設立調查會。欲將仲買人八十四名利權資與生產者一案。如已所報。至三月九日。開第一回調查委員會時。仲買人擧魏錫滸氏爲委員長。黃火在氏副之。而生產者則以武部幸一郎氏爲委員長。張諸標氏副之。以外各選委員數名。兩來皆以秘密。文書往復交涉。或開秘密會議。皆用精神的之折衝。雖正式交涉。達十數回。然尙未見一致。屢次幾陷于破裂。迨至本月。仲買人要求十四萬千五百十九圓六十五錢。生產者。當發表四萬二千六百四十八圓六十五錢。各提出相當有根據之計算法。其間相去約十萬圓。故視爲成立無望。生產者不得已將其案提出于州當局。請其仲裁。然仲買人一邊以差額太甚。若提出于州當局。恐有不利。乃促生產者最後考慮。一面爲欲徵各仲買人意見。去十六日午前十時。於組合事務所。開仲買人總會。八十四名中。出席得五十四名。森臺中州產業主事。豐澤員林郡守等臨席。開會結果。意見不一。其中絕唱不可讓渡者六名。其餘雖贊成。而咸謂補償金。不可再降。議至下午四時閉會。然双方讓步。至于何處。頗惹一般注目。而官廳方面。爲統制及監督上務期從早實現云。

## 基隆青訓所 礎商經營

基隆市青年訓練所。欲基于青年學校令開設。去十六日午後一時。在市會議室。礎商經營方針。有市

青訓。在鄉軍人。同後援會關係者三十餘名。就生徒募集。專任職員之採用豫算追加。女子青年訓練所設置。分所設置。將來諸計畫等。交換意見。又訓練所名稱。決定照舊云

## 花蓮港公會堂 改鄉土館

### 陳列蓄產物產

花蓮港觀光協會。對今秋記念博覽會。計畫設置有意義。乃得永久保存之鄉土館。爰調查具體案。欲將現在公會堂。改造爲鄉土館。將陳列廳下蓄產品及主要物產品等。使觀光客知廳下物產。工費按五千圓。由觀光協會寄附金充之。又同觀光協會。去十六日午後六時。假公會堂。開役員會。有梅野會長外十餘名出席。協議紀念博寄附金一萬圓。決定對廳下官民募集。及公會堂內。設置鄉土館外數件云

## 板橋接雲寺 及土城大墓公

### 杜首選定

海山郡板橋接雲寺。例年慶讚中元之四大柱々首。及土城大墓公主會柱首。每年難於選定。者番由媽主吳炎氏。極力奔走鼓舞。經已選定如左。主會柱首大安寮簡序科呂合發和尙等三氏合辦。主壇柱首柑林坤林德輝氏。主醮柱首後埔徐珍氏。主普柱首及大墓公主會柱首板橋林請富氏。又板橋市場蔬菜商人。自發寄附經壇主。發明齋附者如下。王英氏喜捐鴨蛋一箱。(約四百粒)沈泉黃元協兩氏。各醵出金五圓託媼。主代醮祭品。陳列棚俾諸健兒競奪云。

## 新豐和順寮兩排水

### 晚近堤防漸潰爲害滋甚 擬連名請速修理

臺南州新豐郡安順庄和順寮。接近鹽水溪。曩者當局。爲消除水患。及保全農作物。設有兩排水。初設時。大收效果。爾後堤防。漸次崩壞。久之於風雨時之警戒。亦漸放任。如客年缺潰猶甚。該寮附近之南五塊寮。北五塊寮及五塊寮等。三耕區農產大受其害。諸部落豪雨時浸諸水中。時務當局。出爲救助。住民凡逢雨期。寢食爲之不安。若本月六日之猛雨。兩排水堤防缺潰。較諸去年猶甚。幸爲期不久。然被害之多。有過無不及。爲是該部落住民。欲懇當局如昨年之迅速補修。現擬連名向州當局陳情云。

## 虎尾

### 齋堂議事

虎尾龍華堂。自設立以來。信徒日增。其中有希望將自己之不動產。捐與該堂爲基本財產者。決定十七日午後五時。在該堂內。開管理人會議云。

### 池王爺祭

虎尾街興宮池王爺祭典。依例年舊六月十八九日兩日間。在該廟前。開演梨園。及其他種々餘興。甚然熱鬧。

## 臺南

### 實務練習

臺南商業專修學校。依年例於暑假期中。自去十五日起約三週間。令該校三年生四十名。分赴州廳。市役所。醫院。郵便局。銀行。會社。信組。庄役場。郵便局等處。行實務練習云。

### 登新高山

臺南市明治公學校職員。乘暑假之機。組織新高山登山隊。定二十一朝出發。經嘉義登山。至絕頂後。由臺中州下山。歸游霧社等處。豫定二十六日歸南。

## 詩壇

茅屋賓雨 楊笑儂

茅屋蕭疎近郊。頭日對衡茅。檻有高人佝。門無俗吏敲。洗樽沽野釀。剪韭佐山肴。對此瀟々雨。聯詩寄舊交。

○

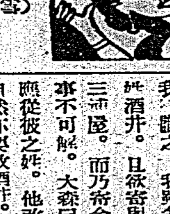
櫻外翠々碧。空濛水一坳。幽人欣對雨。爾屋苦編茅。詩渚搖青髮。肥香酌綠匏。芒鞋綬殺。好待路晴郊。

無題次窮周韶

雲屛霧髮對青樽。燭影搖紅欲斷魂。休笑一肯長絮語。柔情綽綽比春溫。

有贈次鴻涛韻

笑語時看兩頰春。餘薰猶夢憶々々。此身願作菱花鏡。日々粧臺照玉人。




## 假金票案（十四） 封書迪啓 琴子失神

途次。恰好竹下刑事再來。以電報稱底示大森刑事。係由大船郵便局電達下村係長。其文云。後藤小吉假名酒井米吉。現宿巢鴨町巢鴨館。料是與共犯生島來同謀。請速派員援捕。大森刑事曰。君眞老成練達者。既到三浦屋。由主人導入二樓[illegible]一室。[illegible]琴子來。琴子聞主人喚。急自樓下踏梯而上。走至室前。見有氣宇軒昂。面目雄糾。來々相識之。三人坐。主人夫妻並坐其旁。小波老婦坐於三人之次。垂頭喪氣。似大有憂者。琴子頓生畏惧。主人介其入室。坐於小波肩下。指大森刑事曰。他就是琴子。不知有何事問他。大森刑事謂琴子曰。與君交好之情郎後藤小吉。近爲東京某事。不知君有書信給君否。琴子素性聰穎。見問及此。料爲警察官吏來查案。職故不語。默々不語。大森刑事曰。事實雖得假。速將實在情形告我。於君有益。琴子仍呆坐不語。似乎失神。有無地可容之概。竹下刑事曰。爾何故不答。主人亦曰。此三位先生是警視廳警官。有事問爾。爾要平直言之爲好。琴子俯首語曰。後藤雖棄我取職。然自他旅行東京。並無一次寄信與我。我實不知其消息也。大森自袖中取出那封書。投諸琴子面前。曰試看那封是誰寄與爾者。琴子取書一觀。認是後藤筆跡。心中沈吟。自思那封書何得落他之手。甚小波背我。持献官衙耶。急納入懷中。大森曰。那封書非欲與汝。乃是欲使爾親折。將書中所寫情事。念與我之一聞。琴子手足顫動。曰酒井米吉是何人。我。識之。我雖名琴子。然不此酒井。且欲寄與我。何不寄三浦屋。而乃寄金井家耶。此事不可解。大森曰。汝何嫁之懸從彼之姓。他改了酒井。爾自然亦要改酒井。有何難解。寄金井家。豈非爾之計謀耶。速將書信折閱。勿多言。琴子迫。仍不肯閱。竹下刑事曰汝不閱。是不容汝自由。事勢如此。汝豈尙能爲汝情人掩飾耶。小波曰。我已將汝與後藤之關係。詳細告知。位警官。汝速折閱書信。是與不是。總是後藤責任。想不至累於汝。琴子垂淚。自懷中取出那封書信。批破封筒。抽出和紙一枚。係毛筆所寫。遞與大森刑事。


鐵道省・遞信省・陸海軍御指定品

特許 岡田乾電池

台北市北門町十二

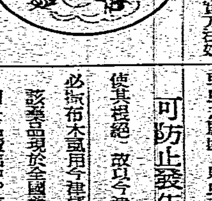
合資會社永淵商會電氣部



木虱及家蝨

宜用今津蠅取粉 今津方香油驅除之

木虱。家蝨。極難驅除。據衛生試驗所試驗結果。最簡單確實方法如下。




吉以消毒器。吹噴今津方香油於虫發生處。而深穴及桂隙亦能浸入。則木虱家蝨自然全滅。更以木虱用今津蠅取粉。撒布墊下接合處。或虫之居處。即虫之移殖。

可防止發生

使其根絕。故以今津方香油驅除後。必撒布木虱用今津蠅取粉。該藥品現於全國藥房者。附五十錢回贈品贈出中。請及早購買。但有無效退貨。新宿定今津。賣藥時請向大阪市大仁本町二丁目今津化學研究所聲明。